

I 日本代表関連事業

寄附行為第4条

六 日本を代表するチームの役員及び選手の選定に関すること

七 国外へのチーム派遣に関すること

八 外国チームの招聘又は外国チームの来征の承認に関すること

十 サッカー競技に関する公式記録の作成及び保存に関すること に基づく事業

1 日本代表

(1) キリンカップサッカー2009

<第1戦>

期日：5月27日(水) 19:35キックオフ

会場：大阪/大阪長居スタジアム

対戦：日本代表 4-0 (2-0) チリ代表

入場者数：45,531人

今回で30回記念を迎えるキリンカップサッカーは、FIFAワールドカップ南米予選で現在3位と好調のチリ代表と日本代表の対戦というカードで幕を開けた。

試合はコンスタントに得点を重ねた日本代表が4-0(前半2-0)でチリ代表に圧勝。大会3連覇に向けて日本代表が初陣を勝利で飾った。試合展開は、前半20分、24分に岡崎選手が立て続けに2ゴールを先取、後半にも52分に阿部選手、終了間際のロスタイムに本田選手が4点目を追加し、日本がチリに勝利した。

今回の大会では、「次世代の育成」というテーマも一つに挙げ、既存のユースプログラムに加え、日本代表バス到着時、選手達を出迎え激励する「JFAウェルカムキッズ」、日本代表マスコットと共に場内を一緒に巡り会場を盛り上げる「JFAマスコットエスコートキッズ」を実施した。また、大阪府近県の4種年代の加盟チーム選手達に大会特製カードを送付した。

コンコースでは、新たな試みとして、審判部が「JFAレフェリーブース」を実施し好評を博した。場外においても、フットボールパーク、ホームタウンブースを実施。ガンバ大阪、セレッソ大阪との協力で、「芝生の種」の配布とキックターゲットイベントを実施し、平日開催にもかかわらず多くの方が来場した。その他、マッチフラッグパレード、選手入場時センターサークルシートと共に両国のチームカラーをあしらったチームフラッグを掲揚。記念すべき30回記念大会に花を添えた。来場者プレゼントとして、JFAオリジナルレジャーシートを配布した。

運営全般については、(社)大阪府サッカー協会及び大阪長居スタジアムを中心とする多くの方々のご尽力により、無事に終えることができた。

<第2戦>

期日：5月29日(金) 19:00キックオフ

会場：千葉/フクダ電子アリーナ

対戦：チリ代表 1-1 (1-1) ベルギー代表

入場者数：6,050人

大会第2戦目は、海外チーム同士の対戦となり、千葉/フクダ電子アリーナにおいて、チリ代表対ベルギー代表の試合が行われた。

試合は、パスを主体に積極的に攻めるチリ代表と、カウンターを主体にチャンスを作り出すベルギー代表が双方譲らない展開となり、結果1-1(前半1-1)にて終了。雨の予報であったが天気も試合時は持ちこたえ、約6,000人の観衆を集めることができた。

この試合においても、ユースプログラム(JFAプレーヤーズエスコートキッズ、ナショナルフラッグベアラー、プレスキッズ、ウェルカムキッズ)を実施。場外ではJEFユナイテッド市原・千葉、柏レイソルのご協力により、ホームタウンブースも実施した。

運営全般については、(社)千葉県サッカー協会及びフクダ電子アリーナを中心とする多くの方々のご尽力により、無事に終えることができた。

<第3戦>

期日：5月31日(日) 19:20 キックオフ
会場：東京/国立競技場
対戦：日本代表 4-0 (2-0) ベルギー代表
入場者数：42,520人

大会最終日の第3戦は、優勝をかけて日本代表とベルギー代表が国立競技場において対戦。第1戦目同様、42,520人と多くの方々にご来場いただいた。

第1戦目に引き続き好調の日本代表は、4-0(前半2-0)でベルギー代表に圧勝。記念すべき30回大会は日本代表の3連覇という形で幕を終えた。展開は日本代表が前半21分長友選手、23分中村憲剛選手による得点で2点を先取。後半に入っても60分に岡崎選手、途中交代で入った矢野選手が4点目を挙げ日本がベルギーに圧勝した。2試合続けて警告がなかった日本代表がフェアプレー賞を獲得した。

場外の明治公園において30回を記念して、「キリンカップフェスタ@明治公園」を実施。メインステージ上では、城彰二氏、小倉隆史氏が大会の歴史を振り返るトークショーを行った他、ファンタジスタステージ20合格者の認定式とパフォーマンス披露、日比野克彦氏によるマッチフラッグ紹介ステージ等を行い、チケット購入者だけでなく、一般の方々も楽しめるようなイベントを実施し多くの方が来場した。また、FC東京、東京ヴェルディと共同でホームタウンブースも実施。大会の歴史を振り返るヒストリーボードの設置や各種売店も開き、来場者の方々が終日記念大会を楽しめるようなイベントとなった。

運営全般においては、大雨という悪天候の中、(財)東京都サッカー協会及び国立競技場を中心とした多くの方々のご尽力により、無事に終えることができた。

(2) キリンチャレンジカップサッカー2009

①期 日：10月10日(土) 19:20 キックオフ
会場：神奈川/日産スタジアム
対戦：日本代表 2-0(0-0) スコットランド代表
入場者数：61,285人

FIFAワールドカップ本大会を8ヶ月後に控え、首都圏では年内最後となる日本代表戦が、日産スタジアムにてスコットランド代表を迎え開催された。

開始早々から猛烈なプレスを掛ける日本代表は終始、試合の主導権を握り優位に進めた。82分には駒野選手が精度の高いクロスボールを上げ、相手のオウンゴールを誘い先取点を獲得すると、90分にも森本選手のシュートのこぼれ球を本田選手が決め2-0とし、試合を決定づけた。試合はそのまま2-0で日本代表が勝利を収めた。

来場者サービスでは、JFAオリジナルミニタオルを配布した。また、ピッチ上にて「JFAフットボールパーク」と「めざせファンタジスタ！」を開催し、JFAアンバサダーの小村徳男氏の指導のもと、多くの子供達にボールと触れ合い楽しんで貰った。

場外では、神奈川をホームタウンとする4つのJクラブのご協力の下、ホームタウンブースを開催し、会場を大いに盛り上げた。

運営全般に関しては、(社)神奈川県サッカー協会及び日産スタジアムを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

②期 日：10月14日(水) 19:30 キックオフ
会場：宮城/宮城スタジアム
対戦：日本代表 5-0(3-0) トーゴ代表
入場者数：32,852人

10日横浜でのスコットランド代表戦に続き、トーゴ代表を迎え、キリンチャレンジカップ2009～ALL FOR 2010!～が宮城スタジアムで開催された。

試合については、前半5分、8分に岡崎選手、11分に森本選手の追加点と序盤で3点を奪った日本代表が有利に試合を運ぶ。後半に入っても日本の勢いは続き、65分に岡崎選手が追加点を奪

い、自身もこの日ハットトリックとなる 3 点目を挙げる。更に終盤の 85 分には本田選手が追加点を重ね、結果日本代表が 5-0 でトーゴ代表から勝利を収める。

当日は来場者サービスとして J F A オリジナルミニタオルを配布。コンコース上ではフェイスペインティングコーナー・記念撮影ボードを設置。試合前のゴール裏スペースで J F A フットボールパークを開催した。ユースプログラムは、ウェルカムキッズ、エスコートキッズ、ナショナルフラッグベアラー、プレスキッズ、ハイタッチキッズ、マスコットエスコートを実施。この試合においては、当初会場として予定していた大分から急遽宮城に変更になり準備期間があまりなかったが、(社)宮城県サッカー協会及び宮城スタジアムを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終わることが出来た。

(3) 2010 F I F A ワールドカップ アジア最終予選

①期日：6月6日(土) 07:05 キックオフ

会場：Pakhtakor Stadium

対戦：ウズベキスタン代表 0-1(0-1) 日本代表

立ち上がり 10 分で先制したものの、試合の流れは防戦一方となった。

完全アウェイの雰囲気ではレフェリーのジャッジも公平には感じられない事が多かった。

本大会出場権獲得のプレッシャーもあったのか、なかなか良い展開には持ち込めなかった。

終了間際に長谷部の退場と監督の退席があったものの、何とか勝ちきり出場権を獲得した。

②期日：6月10日(水) 19:39 キックオフ

会場：神奈川／横浜国際総合競技場

対戦：日本代表 1-1(1-0) カタール代表

出場権を獲得した後 10 時間以上の移動を含む、中 3 日という過酷な日程の中の試合だった。

前の試合での退席により監督がベンチに入れず、出場権獲得後と移動の疲れもあり精彩の欠く試合になった。

③期日：6月17日(水) 20:20 キックオフ

会場：Melbourne Cricket Ground Stadium

対戦：オーストラリア代表 2-1(0-1) 日本代表

最終予選の最終戦で 6 月 3 連戦の 3 試合目。海外組の選手たちのコンディションを考慮し、国内組と松井選手（サンテティエンヌ）で臨んだ試合。オーストラリアはフルメンバーでゲームは守備的になってしまったが良い時間に先制した。しかし、後半に入り地力の差を見せつけられ逆転負けに終わった。

3 次予選から 1 年以上かけて戦ってきた予選の最後で負けたのは残念だが、出場権を獲得することができて本当に良かった。

(4) 国際親善試合

①期日：9月5日(土) 14:00 キックオフ

会場：FC Twente Stadium

対戦：オランダ代表 3-0(0-0) 日本代表

ワールドカップ出場を決めてから数カ月後の試合で、同じく出場を決めている強豪国のオランダとの試合。

立ち上がりから積極的に動いて良い試合だった。後半運動量が落ちてきたところで決定力に差が出て 3 失点して敗れたが、強豪国相手に良い強化試合となった。

②期日：9月9日(水) 12:00 キックオフ

会場：オランダ／ユトレヒト ハルヘンバルト・スタディオン

対 戦：日本代表 4-3(0-1) ガーナ代表
入場者数：2,406人

オランダ・ユトレヒトに、ワールドカップ出場を3日前に決めたガーナ代表を迎え、国際親善試合が行われた。

日本代表は、9月5日に行われたオランダ戦からメンバーを変更し試合に臨んだ。前半開始から日本は優勢に試合を進めるもゴールを奪えない中、31分PKを冷静に決められガーナ代表が先制する。後半2分、ガーナ代表ギャン選手がこの日2点目の得点を決めるも、後半8分中村憲剛選手がゴールを決める。後半11分ガーナ代表が3点目を上げ優位に試合を進める。しかし、ここから日本代表が78分、79分、83分と立て続けにゴールを重ねて4対3で逆転勝ちを収めた。

今大会では、アムステルダムとロッテルダムの日本人学校の生徒の皆さんをご招待し、ユースプログラムに参加していただくとともに試合を観戦していただいた。

運営全般に関しては、オランダサッカー協会及びFCユトレヒトを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(5) 国際親善試合

期 日：2010年2月2日(火) 19:10キックオフ
会 場：大分/九州石油ドーム
対 戦：日本代表 0-0 ベネズエラ代表
入場者数：27,009人

ワールドカップイヤー日本初戦のキリンチャレンジカップ2010が、九州石油ドームで開催された。

ベネズエラ代表は、惜しくも2010 FIFAワールドカップ南アフリカ™の出場は逃しているが、エジプトで開催されたFIFA U-20ワールドカップではベスト16に進出しており、近年急速に力をつけている。

試合は、両チームの組織的な守備の中、攻撃を仕掛けるもゴールを奪えず0-0で折り返す。後半も積極的に攻撃を仕掛けるも両チームともゴールを挙げることはできず、日本代表のワールドカップイヤー国内初戦は引き分けとなった。

来場者サービスでは、SAMURAI BLUEブランケットとSAMURAI BLUE CROWを配布した。また、JFAアンバサダーの名良橋氏に、ユースプログラムやマッチボールプレゼント当選発表などに参加していただいた。

運営全般に関しては、(社)大分県サッカー協会、大分トリニータ及び九州石油ドームを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(6) AFCアジアカップ2011予選

①期 日：10月8日(木) 19:20キックオフ
会 場：静岡/アウトソーシングスタジアム日本平
対 戦：日本代表 6-0(2-0) 香港代表
入場者数：16,028人

AFCアジアカップ2011カタール予選香港代表戦が、日本代表戦初開催となるアウトソーシングスタジアム日本平で行われた。

香港代表は、東アジアサッカー選手権予選において、ワールドカップ南アフリカ大会に出場を決めた朝鮮民主主義人民共和国代表を退けて本大会を決めており、白熱した試合が予想された。

前半18分地元清水エスパルスの岡崎選手がゴールを決めて先制。29分には長友選手が追加点を決めて、2対0で前半を折り返す。後半に入っても日本は攻撃の手を緩めずに得点を重ね、岡崎選手がハットトリックを決めるなど6対0で香港代表に勝利を収めた。

来場者サービスでは、JFAオリジナルミニタオルを配布した。また、JFAアンバサダーの福西氏に、ユースプログラムやマッチボールプレゼント当選発表などに参加していただいた。

運営全般に関しては、台風18号の接近により、一時は開催も危ぶまれたが、(財)静岡県サッカー協会、清水エスパルス及びアウトソーシングスタジアム日本平を中心とする多くの方々のご

尽力もあり、無事に終えることが出来た。

- ②期 日：11月18日(水) 対 香港代表
会 場：香港／香港スタジアム
対 戦：香港代表 0-4(0-1) 日本代表
- ③期 日：2010年1月6日(水) 対 イエメン代表
会 場：イエメン／サヌア
対 戦：イエメン代表 2-3(2-1) 日本代表
- ④期 日：2010年3月3日(水) 対 バーレーン代表
会 場：愛知／豊田スタジアム 19:01キックオフ
対 戦：日本代表 2-0(1-0) バーレーン代表
入場者数：38,042人

AFCアジアカップ2011カタールグループAの最終戦が、豊田スタジアムで開催された。

バーレーン代表はワールドカップ出場をプレーオフで惜しくも逃したが、マチャラ監督が引き続き指揮をとり、アジアカップに向けた強化を進めていた。両国ともアジアカップ本選出場を決めていたが、両国代表のプライドをかけ白熱した試合が繰り広げられた。

試合は、前半36分左サイドの松井選手からのセンタリングを、岡崎選手がヘディングでゴールを決めて先制する。後半に入ってから日本が優勢に試合を進め、後半ロスタイムに内田選手からのセンタリングを、本田選手がヘディングシュートで決め、2-0で日本が勝利した。

来場者サービスでは、SAMURAI BLUEブランケットとSAMURAI BLUE CROWを配布した。また、JFAアンバサダーの本田泰人氏に、ユースプログラムやマッチボールプレゼント当選発表などに参加していただいた。

運営全般に関しては、(財)愛知県サッカー協会、名古屋グランパスエイト及び豊田スタジアムを中心とする多くの方々のご尽力もあり、試合を終えることが出来た。

(7) 東アジアサッカー選手権2010決勝大会

開催期間：2010年2月6日(土)～14日(日)

会 場：東京／国立競技場、味の素スタジアム

出場チーム：日本(ホスト)、中国、香港、韓国

優 勝：中国代表(2005年大会以来2大会ぶり2度目の優勝)

第2位：韓国代表

第3位：日本代表

第4位：香港代表

フェアプレー賞：香港代表

MVP：杜威(中国)

得点王：曲波(中国)、玉田圭司(日本)、イ・スンヨル(韓国)、イ・ドングッ(韓国)

各2ゴール

ベストゴールキーパー：楊智(中国)

ベストディフェンダー：チョ・ヨンヒョン(韓国)

男女同時開催の今大会における来場者サービスでは、日本代表戦において来場者全員にサムライブルーブランケットとSAMURAI BLUE CROW専用折り紙キットを配布した。

新しい試みとして、バレンタイン企画と称し「バレンタインペアシートチケット」購入者に対して「記念撮影LOVEボード」での写真撮影サービス、オリジナルJFAラブラブブランケットやホットチョコレートのプレゼント、大型ビジョンを使用してのメッセージ企画等を実施した。

コンコースでは、SAMURAI BLUE CROW折り紙をその場で折れる特設ブースと応募ボックスを設置し、日本代表への熱い想いを募った。

また、アジアフードフェアを開催し、台湾料理や韓国料理、タイ料理と幅広いジャンルのメニューを用意し好評を博した。

場外では、今大会開催地である東京を拠点とする、FC東京と東京ヴェルディの2クラブの協力の下、ホームタウンブースを開催し会場を大いに盛り上げた。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場及び味の素スタジアムを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(8) トレーニングキャンプ

期間・会場：12月8日(火)～9日(水)

東京都内

期間・会場：2010年1月25日(月)～31日(日)

鹿児島／指宿

(9) 海外遠征

期 日：11月14日(土) 対 南アフリカ代表

会 場：南アフリカ／ポートエリザベス

対 戦：南アフリカ代表 0-0 日本代表

2 U-20 (ロンドンオリンピック 2012) 日本代表

(1) トレーニングキャンプ

期間・会場：4月20日(月)～22日(水)

静岡／御殿場

(2) トレーニングキャンプ (ジャパニーズ・エイト)

期間・会場：5月24日(日)～26日(火)

静岡／御殿場

(3) 海外遠征 (水原国際ユーストーナメント)

期 間：7月30日(木)～8月7日(金)

会 場：韓国／水原

対 戦：8月2日(日) U-21 日本代表 0-1 U-21 エジプト代表

8月4日(火) U-21 日本代表 6-2 U-21 南アフリカ代表

8月6日(木) U-21 日本代表 1-2 U-21 韓国代表

(4) 海外遠征 (アルクディア国際ユーストーナメント)

期 間：8月11日(火)～23日(日)

会 場：スペイン／アルクディア

対 戦：第1戦 8月14日(金) U-21 日本代表 2-1 レバンテ(スペイン)

第2戦 8月16日(日) U-21 日本代表 1-1 ブラジリア州選抜 (ブラジル)

第3戦 8月18日(火) U-21 日本代表 4-1 ビジャレアル(スペイン)

準決勝 8月20日(木) U-21 日本代表 2-3 バレンシア(スペイン)

3位決定戦 8月21日(金) U-21 日本代表 3-2 ビジャレアル(スペイン)

(5) 第5回東アジア競技大会

期 間：11月29日(日)～12月13日(日)

競技期間：12月2日(水)～12日(土)

対 戦：予選リーグ 12月2日(水) U-21 日本代表 2-1(1-0) 朝鮮民主主義人民共和国代表

予選リーグ 12月7日(月) U-21 日本代表 5-0(2-0) マカオ代表

準決勝 12月10日(木) U-21 日本代表 2-1(1-1) 延長 韓国代表

決 勝 12月12日(土) U-21 日本代表 1-1(1-0) PK2-4 香港代表

(6) 国際親善試合

期 日：12月19日(土)
会 場：韓国／チャンウォン
対 戦：U-20 韓国代表 1-2 U-20 日本代表
M V P：山田 直輝 (浦和レッドダイヤモンズ)

3 U-18 (U-20 ワールドカップ 2011) 日本代表

(1) 海外遠征

期 間：4月3日(金)～14日(火)／UAE
対 戦：第1戦 4月8日(水) U-18 日本代表 1-1(0-1) U-18 UAE代表
第2戦 4月10日(金) U-18 日本代表 1-2(0-1) U-18 エジプト代表
第3戦 4月12日(日) U-18 日本代表 1-2(0-2) U-18 ドイツ代表
順 位：優 勝 U-18 エジプト代表
準優勝 U-18 ドイツ代表
第3位 U-18 UAE代表
第4位 U-18 日本代表

(2) トレーニングキャンプ

期間・会場：5月24日(日)～28日(木) 静岡／時之栖
期間・会場：6月15日(月)～18日(木) 滋賀／守山
期間・会場：6月22日(月)～25日(木) 茨城／鹿嶋
期間・会場：7月6日(月)～9日(木) 静岡／Jステップ
期間・会場：9月27日(日)～10月1日(木) 静岡／時之栖

(3) 第33回SBSカップ国際ユースサッカー2009

キャンプ：8月17日(月)～21日(金)
競技期間：8月22日(土)～25日(火)
会 場：静岡／Jステップ、エコパスタジアム
対 戦：第1戦 8月22日(土) U-18 日本代表 6-1(2-0) 静岡選抜
第2戦 8月23日(日) U-18 日本代表 1-1(1-1) PK7-6 U-18 メキシコ代表
第3戦 8月25日(火) U-18 日本代表 1-1(1-1) PK5-4 U-18 フランス代表
順 位：優 勝 U-18 日本代表
準優勝 U-18 メキシコ代表
第3位 U-18 フランス代表
第4位 静岡選抜

(4) 第7回仙台カップ国際ユースサッカー大会 2009

キャンプ：9月5日(土)～8日(火) 宮城／仙台
競技期間：9月9日(水)～13日(日)
対 戦：第1戦 9月9日(水) U-18 日本代表 3-3(1-2) U-18 フランス代表
第2戦 9月12日(土) U-18 日本代表 0-2(0-1) U-17 ブラジル代表
第3戦 9月13日(日) U-18 日本代表 2-3(1-1) U-17 韓国代表
順 位：優 勝 U-17 ブラジル代表
準優勝 U-18 フランス代表
第3位 U-17 韓国代表

第4位 U-18 日本代表

(5) AFC U-19 選手権 2010 予選

キャンプ：10月28日(水)～11月1日(日)

遠征期間：11月2日(月)～18日(水)

競技期間：11月7日(土)～17日(火)

会場：インドネシア/バンドン

<グループリーグF>

- 第1戦 11月7日(土) 18:00 キックオフ Harupat Stadium
U-18 日本代表 4(3-0)0 U-18 チャイニーズ・タイペイ代表
- 第2戦 11月9日(月) 15:00 キックオフ Harupat Stadium
U-18 日本代表 7(3-0)0 U-18 インドネシア代表
- 第3戦 11月12日(木) 21:00 キックオフ Harupat Stadium
U-18 日本代表 3(1-0)0 U-18 香港代表
- 第4戦 11月14日(土) 15:00 キックオフ Harupat Stadium
U-18 日本代表 2(1-0)0 U-18 シンガポール代表
- 第5戦 11月17日(火) 15:00 キックオフ Harupat Stadium
U-18 日本代表 3(0-1)2 U-18 オーストラリア代表

4 U-17 (U-17 ワールドカップ ナイジェリア 2009) 日本代表

(1) トレーニングキャンプ

期間・会場：4月20日(月)～26日(日)

静岡/Jステップ

期間・会場：5月11日(月)～17日(日)

東京

期間・会場：8月29日(土)～9月4日(金)

高知

(2) 海外遠征

期間：6月3日(水)～14日(日)

会場：ブルキナファソ/ワガドゥグ

(3) 海外遠征

遠征期間：8月5日(水)～18日(火)

会場：スペイン

対戦：ビジャレアル国際ユースサッカー大会

第1戦 8月8日(土) U-17 日本代表 0-1(0-0) ACミラン

第2戦 8月9日(日) U-17 日本代表 2-2(1-0) レアルマドリッド

第3戦 8月10日(月) U-17 日本代表 1-2(1-2) セルティック

7・8位決定戦 8月11日(火) U-17 日本代表 5-0(0-0) ビジャレアル
マネルポンズカップ

準決勝 8月15日(土) U-17 日本代表 4-0(2-0) ラピテンカ

決勝 8月16日(日) U-17 日本代表 3-0(2-0) デポルティボ ラ・コルーニャ

(4) 第13回国際ユースサッカー IN新潟

キャンプ：7月14日(火)～17日(金)

新潟

競技期間：7月18日(土)～20日(月・祝)

対戦：第1戦 7月18日(土) U-17 日本代表 3-0(1-0) U-17 スロバキア代表

第2戦 7月19日(日) U-17 日本代表 6-1(1-1) U-17 新潟選抜

第3戦 7月20日(月・祝) U-17 日本代表 1-3(1-2) U-17 メキシコ代表
順位：優勝 U-17 メキシコ代表
準優勝 U-17 日本代表
第3位 U-17 スロバキア代表
第4位 U-17 新潟選抜

(5) F I F A U-17 ワールドカップ ナイジェリア 2009

第1戦 10月24日(土) 19:00 キックオフ Teslim Balogun Stadium
U-17 日本代表 2-3(1-1) U-17 ブラジル代表
第2戦 10月27日(火) 16:00 キックオフ Teslim Balogun Stadium
U-17 日本代表 3-4(2-1) U-17 スイス代表
第3戦 10月30日(金) 19:00 キックオフ Teslim Balogun Stadium
U-17 日本代表 0-2(0-0) U-17 メキシコ代表

5 U-16 (U-20 ワールドカップ 2013) 日本代表

(1) 第10回豊田国際ユースサッカー大会

キャンプ：8月3日(月)～5日(水) 愛知／豊田
競技期間：8月6日(木)～9日(日)
対戦：第1戦 8月6日(木) 対 U-16 韓国代表 2-0(2-0)
第2戦 8月8日(土) 対 U-16 名古屋グランパス・愛知県・豊田市選抜 2-2(2-1)
第3戦 8月9日(日) 対 U-16 メキシコ代表 0-1(0-1)
順位：優勝 U-16 メキシコ代表
準優勝 U-16 日本代表、
第3位 U-16 名古屋グランパス・愛知県・豊田市選抜
第4位 U-16 韓国選抜

(2) 海外遠征 (コパ・チーバス)

遠征期間：2010年1月19日(火)～2月1日(月)
会場：メキシコ／グアダハラ
対戦：第1戦 1月22日(金) U-17 日本代表 1-1(0-0) モンタレー
第2戦 1月23日(土) U-17 日本代表 4-1(3-1) ヒューストンダイナモ
第3戦 1月24日(日) U-17 日本代表 1-2(1-0) モレリア
第4戦 1月26日(火) U-17 日本代表 1-0(1-0) チーバスグアダハラ
第5戦 1月27日(水) U-17 日本代表 2-1(0-1) アメリカ
準々決勝 1月28日(木) U-17 日本代表 1-1(1-0) PK5-3 サプリサ
準決勝 1月29日(金) U-17 日本代表 3-2(2-0) モレリア
決勝 1月30日(土) U-17 日本代表 1-2(1-1) U-18 メキシコ代表

6 U-15 (U-17 ワールドカップ 2011) 日本代表

(1) 海外遠征

遠征期間：4月5日(日)～13日(月)
会場：オーストラリア

(2) 海外遠征

遠征期間：8月26日(水)～9月2日(水)
会場：マレーシア

(3) トレーニングキャンプ

期間・会場：5月30日(土)～6月5日(金) 福島/Jヴィレッジ
期間・会場：6月22日(月)～28日(日) 静岡/時之栖
期間・会場：7月13日(月)～19日(日) 大分

(4) AFC U-16 選手権 2010 予選

キャンプ：9月25日(金)～30日(水) 福島/Jヴィレッジ
遠征期間：10月1日(木)～12日(月) フィリピン/バコロド
競技期間：10月3日(土)～11日(日)
<グループリーグE>
第1戦 10月3日(土) U-15 日本代表 12-0(7-0) U-15 フィリピン代表
第2戦 10月5日(月) U-15 日本代表 6-0(1-0) U-15 バングラディッシュ代表
第3戦 10月7日(水) U-15 日本代表 5-0(2-0) U-15 チャイニーズ・タイペイ代表
第4戦 10月11日(日) U-15 日本代表 3-0(0-0) U-15 インドネシア代表

(5) 第8回サニックスカップ国際ユースサッカー2010

期 間：2010年3月16日(火)～22日(月・祝) 福岡
対 戦：第1戦 3月19日(金) U-16 日本代表 2-1(2-0) U-16 中国代表
第2戦 3月19日(金) U-16 日本代表 1-2(1-2) チャンフン高校(韓国)
第3戦 3月20日(土) U-16 日本代表 6-1(3-1) 南オーストラリアユース
準々決勝 3月21日(日) U-16 日本代表 1-1(1-1) PK3-5 東海大第五高校
順位決定戦 3月21日(日) U-16 日本代表 0-3(0-1) アビスパ福岡U-18
7・8位決定戦 3月22日(月・祝)
U-16 日本代表 1-1(0-1) PK7-6 山梨学院大附属高校

7 なでしこジャパン(日本女子代表)

(1) トレーニングキャンプ

期間・場所：5月19日(火)～24日(日) 福島/Jヴィレッジ
期間・場所：7月22日(水)～25日(土) 静岡/藤枝

(2) 海外遠征

遠征期間：7月26日(日)～8月4日(火) ドイツ、フランス
対 戦：第1戦 7月29日(水) なでしこジャパン 0-0 ドイツ女子代表
第2戦 8月1日(土) なでしこジャパン 4-0(2-0) フランス女子代表
第3戦 8月2日(日) なでしこジャパン 5-1(1-0) フランス女子代表

(3) 海外遠征

遠征期間：2010年1月7日(木)～26日(火) チリ
対 戦：第1戦 1月13日(水) なでしこジャパン 1-0(1-0) デンマーク女子代表
第2戦 1月15日(金) なでしこジャパン 1-1(0-1) チリ女子代表
第3戦 1月21日(木) なでしこジャパン 4-2(3-1) コロンビア女子代表
第4戦 1月23日(土) なでしこジャパン 3-0(2-0) アルゼンチン女子代表

順位：優勝 なでしこジャパン
準優勝 デンマーク女子代表
3位 コロンビア女子代表、チリ女子代表
4位 アルゼンチン女子代表

(4) 国際親善試合

期日：11月14日(土) 13:00 キックオフ
会場：埼玉/さいたま市浦和駒場スタジアム
対戦：なでしこジャパン(日本女子代表) 2-1(1-0) ニュージーランド女子代表
入場者数：2,466人

2008年北京オリンピック後初のなでしこジャパンの国内での試合は、ニュージーランド女子代表を迎え、さいたま市浦和駒場スタジアムで開催された。

試合は、前半43分、宮間選手の得点により日本が均衡を破る先取点を挙げる。後半に入ると、58分に大野選手が追加点を挙げ日本が有利に試合を進める。終盤ロスタイムには直接フリーキックから日本が失点を許すも、そのまま試合は終了し、なでしこジャパンが2-1で勝利を飾った。

当日は来場者サービスとして試合のリーフレット無料配布の他、「女子チームサポート窓口」、「全日本女子サッカー選手権大会」のチラシ配布により女子サッカーの普及活動を行った。運営面においては、JFAのみならず、(財)埼玉県サッカー協会、関係各社の協力を賜り、女性スタッフを中心に試合運営を行った。(財)埼玉県サッカー協会及びさいたま市浦和駒場スタジアムを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(5) 東アジア女子サッカー選手権 2010 決勝大会

開催期間：2010年2月6日(土)~13日(土)
会場：東京/国立競技場、味の素スタジアム
出場チーム：日本(ホスト)、中国、チャイニーズ・タイペイ、韓国
優勝：日本女子代表(2大会連続2度目の優勝)
第2位：中国女子代表
第3位：韓国女子代表
第4位：チャイニーズ・タイペイ女子代表
フェアプレー賞：中国女子代表
MVP：澤穂希(日本)(2大会連続2度目の受賞)
得点王：韓端(中国)、岩渕真奈(日本)、ユ・ヨンア(韓国)、イ・ジャンミ(韓国)
各2ゴール
ベストゴールキーパー：張艶茹(中国)
ベストディフェンダー：岩清水梓(日本)

男女同時開催の今大会における来場者サービスでは、日本代表戦において来場者全員にサムライブルーブランケットとSAMURAI BLUE CROW専用折り紙キットを配布した。

新しい試みとして、バレンタイン企画と称し「バレンタインペアシートチケット」購入者に対して「記念撮影LOVEボード」での写真撮影サービス、オリジナルJFAラブラブブランケットやホットチョコレートのプレゼント、大型ビジョンを使用してのメッセージ企画等を実施した。

コンコースでは、SAMURAI BLUE CROW折り紙をその場で折れる特設ブースと応募ボックスを設置し、日本代表への熱い想いを募った。

また、アジアフードフェアを開催し、台湾料理や韓国料理、タイ料理と幅広いジャンルのメニューを用意し好評を博した。

場外では、今大会開催地である東京を拠点とする、FC東京と東京ヴェルディの2クラブの協力の下、ホームタウンブースを開催し会場を大いに盛り上げた。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会、国立競技場及び味の素スタジアムを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

8 U-19 (U-20 女子ワールドカップ ドイツ 2010) 日本女子代表

(1) トレーニングキャンプ

期間・会場：5月23日(土)～30日(土)

福島/Jヴィレッジ

期間・会場：6月22日(月)～25日(木)

福島/Jヴィレッジ

(2) AFC U-19 女子選手権 2009 決勝大会

キャンプ：7月20日(月)～26日(日)

静岡/藤枝

遠征期間：7月27日(月)～8月13日(木)

中国

競技期間：8月1日(土)～12日(水)

中国

<グループリーグB>

第1戦 8月1日(土) U-19 女子日本代表 1-1(0-0) U-19 女子オーストラリア代表

第2戦 8月3日(月) U-19 女子日本代表 5-0(3-0)

U-19 女子チャイニーズ・タイペイ代表

第3戦 8月5日(水) U-19 女子日本代表 1-1(0-0) U-19 女子中国代表

<決勝トーナメント>

準決勝 U-19 女子日本代表 1-0(0-0) U-19 女子朝鮮民主主義人民共和国代表

決勝 U-19 女子日本代表 2-1(0-0) U-19 女子韓国代表

順位：優勝 U-19 女子日本代表

準優勝 U-19 女子韓国代表

第3位 U-19 女子朝鮮民主主義人民共和国代表

上記3チームがU-20 女子ワールドカップドイツ 2010 への出場権を獲得

9 U-16 (U-17 女子ワールドカップ トリニダード・トバゴ 2010) 日本女子代表

(1) トレーニングキャンプ

期間・場所：5月5日(火)～9日(土)

福島/Jヴィレッジ

期間・場所：6月9日(火)～14日(日)

福島/Jヴィレッジ

(2) 海外遠征

遠征期間：8月24日(月)～9月2日(水)

フランス

対戦：第1戦 8月26日(水) U-16 女子日本代表 2-3(2-2)

U-16 女子フランス代表

第2戦 8月28日(金) U-16 女子日本代表 5-0(3-0)

U-16 女子フランス代表

第3戦 8月30日(日) U-16 女子日本代表 9-0(2-0)

FCF Juvisy

(3) AFC U-16 女子選手権 2009 決勝大会

キャンプ：10月28日(水)～30日(金)

静岡/藤枝

遠征期間：10月31日(土)～11月16日(月)

タイ/バンコク

競技期間：11月4日(水)～15日(日)

タイ/バンコク

<グループリーグB>

第1戦 U-16 女子日本代表 16-0(7-0) U-16 女子チャイニーズ・タイペイ代表

第2戦 U-16 女子日本代表 3-1(1-0) U-16 女子中国代表

第3戦 U-16 女子日本代表 1-3(1-3) U-16 女子オーストラリア代表

<決勝トーナメント>

準決勝 U-16 女子日本代表 0-1(0-1) U-16 女子韓国代表

3位決定戦 U-16 女子日本代表 6-2(2-0) U-16 女子オーストラリア代表

順位：優勝 U-16 女子韓国代表
準優勝 U-16 女子朝鮮民主主義人民共和国代表
第3位 U-16 女子日本代表

上記3チームがU-17女子ワールドカップトリニダード・トバゴ2010への出場権を獲得

10 フットサル日本代表

(1) トレーニングキャンプ

期間・会場：6月2日(火)～5日(金)	静岡／掛川
期間・会場：6月9日(火)～12日(金)	静岡／掛川
期間・会場：6月30日(火)～7月3日(金)	静岡／掛川
期間・会場：9月7日(月)～9日(水)	神奈川／川崎
期間・会場：10月5日(月)～7日(水)	静岡／掛川
期間・会場：10月19日(月)～21日(水)	千葉
期間・会場：12月14日(月)～16日(水)	静岡／掛川
期間・会場：2010年1月18日(月)～20日(水)	千葉
期間・会場：2010年2月1日(月)～3日(水)	静岡／掛川

(2) 国際親善試合

①期 日：9月23日(水・祝) 13:00 キックオフ
会場：愛知／大洋薬品オーシャンアリーナ
対戦：フットサル日本代表 0-0 フットサルイタリア代表
入場者数：2,022人

2008年FIFAフットサルワールドカップ3位の強豪イタリア代表を迎えて、日本代表が大洋薬品オーシャンアリーナにて国際親善試合を行った。

2008年のFIFAフットサルワールドカップでの実績に加え、2年に1回開催されるUEFAフットサルチャンピオンシップでも優勝1回、準優勝1回、3位1回とヨーロッパでも屈指の強豪であるイタリアに対し、日本代表も善戦。日本のシュート数11本に対し、イタリア29本と上回るも、互いに得点を奪えないまま40分間戦い抜き、結果はスコアレスドローに終わった。

来場者サービスとして、大会リーフレットとJFAフットボールデーカレンダーを来場者全員に配布した。コンコース上では記念撮影ボード、フェイスペインティングコーナーを設置。抽選で来場者の中から3名にマッチボールプレゼント企画も実施した。

運営全般に関しては、(財)愛知県サッカー協会及び大洋薬品オーシャンアリーナを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た

②期 日：9月24日(木) 19:00 キックオフ
会場：大阪／大阪府中央体育館
対戦：フットサル日本代表 3-4(2-3) フットサルイタリア代表
入場者数：2,776人

フットサルイタリア代表を迎えての国際親善試合2連戦。2試合目は大阪府中央体育館にて開催された。

スコアレスドローに終わった前日23日の愛知での第1戦とは打って変わり、この試合はお互いが得点を奪い合う激しい展開となった。前半9分に日本が立て続けに2点を先取するも、イタリアも12分、17分、19分とコンスタントに得点を重ね前半のうちに逆転。後半に入ると更に追加点を加えたイタリア代表が有利に試合を運ぶも、日本も36分に1点を返し最後まで接戦となる。最終的には1点のリードを守り切ったイタリア代表が勝利を飾り、日本代表はこの2連戦、1分け1敗という成績で終えた。

前日の愛知での試合同様、来場者全員に大会リーフレットとJFAフットボールデーカレンダーを配布、コンコース上での記念撮影ボード、フェイスペインティングコーナーの設置、マッチ

ボールプレゼントを実施した。ユースプログラムとして、地元のサッカー少年団2チームの子供達が選手エスコートキッズを務めた。

運営全般に関しては、(社)大阪府サッカー協会及び大阪市中央体育館を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(3) 海外遠征

期 間：6月15日(月)～22日(月) 中国
対 戦：第1戦 6月19日(金) フットサル日本代表 4-4 フットサルイラン代表
第2戦 6月20日(土) フットサル日本代表 3-2 フットサルオランダ代表
第3戦 6月21日(日) フットサル日本代表 0-0 フットサル中国代表

(4) 海外遠征

期 間：7月28日(火)～8月3日(月) リビア
対 戦：第1戦 7月31日(金) フットサル日本代表 3-6(1-2) フットサルリビア代表
第2戦 8月1日(土) フットサル日本代表 2-2(1-1) フットサルリビア代表

(5) 第3回アジアインドアゲームス 2009

①フットサル女子日本代表

キャンプ：8月29日(土)～30日(日) 山梨
9月12日(土)～13日(日) 茨城
遠征期間：10月24日(土)～11月8日(日) ベトナム／ハノイ
競技期間：10月29日(木)～11月6日(金)
第1戦 10月29日(木) 14:00 キックオフ TAN BINH
フットサル女子日本代表 5-3(1-2) フットサル女子ウズベキスタン代表
第2戦 11月2日(月) 16:00 キックオフ TAN BINH
フットサル女子日本代表 2-3(2-2) フットサル女子イラン代表
準決勝 11月4日(水) 13:30 キックオフ TAN BINH
フットサル女子日本代表 5-2(1-1) フットサル女子タイ代表
決勝 11月6日(金) 16:00 キックオフ TAN BINH
フットサル女子日本代表 5-0(2-0) フットサル女子ヨルダン代表

②フットサル日本代表

期 間：10月25日(日)～11月9日(月) ベトナム／ハノイ
競技期間：10月29日(木)～11月6日(金)
第1戦 10月29日(木) 14:00 キックオフ PHU THO
フットサル日本代表 2-4(0-1) フットサルタイ代表
第2戦 10月31日(土) 18:00 キックオフ PHU THO
フットサル日本代表 5-2(3-1) フットサルタジキスタン代表
準決勝 11月4日(水) 17:00 キックオフ PHU THO
フットサル日本代表 3-5(1-2) フットサルウズベキスタン代表

(6) E A F F フットサル選手権 2009

期 間：11月22日(日)～30日(月) 中国
対 戦：第1戦 11月24日(火) フットサル日本代表 10-1(6-0) フットサルマカオ代表
第2戦 11月25日(水) フットサル日本代表 8-0(5-0) フットサル香港代表
第3戦 11月26日(木)
フットサル日本代表 4-2(2-1) フットサルチャイニーズタイパイ代表
準決勝 11月28日(土) フットサル日本代表 6-1 フットサル韓国代表
決 勝 11月29日(日) フットサル日本代表 4-5(3-1) フットサル中国代表

11 ビーチサッカー日本代表

(1) トレーニングキャンプ

期間・場所：8月10日(月)～13日(木) 東京
期間・場所：9月14日(月)～16日(水) 東京

(2) F I F Aビーチサッカーワールドカップ ドバイ 2009 アジア予選

<グループリーグ>

11月8日(日) 16:10 キックオフ Jumeriah Beach Putch3, Dubai/UAE
ビーチサッカー日本代表 5-2(1-1、1-0、3-2) ビーチサッカーウズベキスタン代表

11月9日(月) 16:25 キックオフ Jumeriah Beach Putch2, Dubai/UAE
ビーチサッカー日本代表 2-2(1-1、0-0、1-1)PK2-3 ビーチサッカーバーレーン代表

<準決勝>

11月10日(火) 15:00 キックオフ Jumeriah Beach Putch2, Dubai/UAE
ビーチサッカー日本代表 5-3(1-1、2-2、2-0) ビーチサッカーイラン代表

<決勝>

11月11日(水) 15:00 キックオフ Jumeriah Beach Stadium, Dubai/UAE
ビーチサッカー日本代表 4-2(1-0、0-1、3-1) ビーチサッカーバーレーン代表

(3) 海外遠征

期 間：8月20日(木)～25日(火) 中国
対 戦：第1戦 8月22日(土)
ビーチサッカー日本代表 4-0 ビーチサッカー中国代表
第2戦 8月23日(日)
ビーチサッカー日本代表 6-1 ビーチサッカー中国代表
第3戦 8月24日(月)
ビーチサッカー日本代表 7-4 ビーチサッカー中国代表

(4) 海外遠征

期 間：10月6日(火)～13日(火) ポルトガル
対 戦：第1戦 10月9日(金)
ビーチサッカー日本代表 4-3 ビーチサッカーポルトガル代表
第2戦 10月10日(土)
ビーチサッカー日本代表 1-2 ビーチサッカーポルトガル代表

(5) F I F Aビーチサッカーワールドカップ ドバイ 2009

遠征期間：11月12日(木)～23日(月) U A E
競技期間：11月16日(月)～22日(日) U A E

<グループリーグB>

第1戦 11月16日(月)
ビーチサッカー日本代表 5-5 P K 3 - 2 ビーチサッカースペイン代表

第2戦 11月17日(火)
ビーチサッカー日本代表 3-2 ビーチサッカーコートジボワール代表

第3戦 11月18日(水)
ビーチサッカー日本代表 7-2 ビーチサッカーエルサルバドル代表

<決勝トーナメント>

準々決勝 11月20日(金)

ビーチサッカー日本代表 1-2 ビーチサッカーポルトガル代表

II 競技会開催（派遣）事業

寄附行為第4条

五 サッカーの全日本選手権大会その他の競技会の開催に関すること

七 国外へのチーム派遣に関すること

八 外国チームの招聘又は外国チームの来征の承認に関すること

十 サッカー競技に関する公式記録の作成及び保存に関すること に基づく事業

1 国内競技会（主催）

(1) 第89回天皇杯全日本サッカー選手権大会

開催期間：9月19日(土)～1月1日(金・祝)

開催会場：東京／国立競技場 他

決勝：2010年1月1日(金・祝) 国立競技場
ガンバ大阪 4-1 (1-1) 名古屋グランパス

優勝：ガンバ大阪 (J1)

準優勝：名古屋グランパス (J1)

第3位：ベガルタ仙台 (J2)、清水エスパルス (J1)

入場者数：42,140人

第89回を迎えた天皇杯はJ1-18チーム、J2-18チーム、JFL-4チーム、大学-1チームの41のシードチームに、都道府県代表47チームを合わせた合計88チームの参加により開催された。

J2クラブの増加もあるが、従来の1回戦ノックアウト方式による8回戦制トーナメント(1~5回戦+準決勝~決勝)を、5回戦をなくした7回戦制トーナメント(1~4回戦+準決勝~決勝)に改め、且つJ1・J2各クラブの参戦を2回戦からとしたことにより、参加チーム数は昨年度より6チーム増えている。

決勝戦は昨年度の本大会覇者であるガンバ大阪と、10年ぶりの決勝進出となる名古屋グランパスの対決となった。前半早い段階で1点目を入れたガンバ大阪に対し、名古屋グランパスも40分にゴールを決め同点で折り返す。後半に入っても一進一退の時間帯が続いたが、77分・86分・89分と3得点を決めたガンバ大阪が優勝。88回大会に続き天皇杯が授与され、また2008年・2009年に続きAFCチャンピオンズリーグ2010への出場権が与えられた。

なお決勝観客数は42,140人であった。(※88回大会決勝観客数：44,066人)

(2) 2009 Jリーグディビジョン1(J1)

開催日時：ディビジョン1 2009年3月7日(土)～12月5日(土)

会場：全国各地

順位：優勝 鹿島アントラーズ
2位 川崎フロンターレ
3位 ガンバ大阪
4位 サンフレッチェ広島
5位 FC東京
6位 浦和レッドダイヤモンズ
7位 清水エスパルス
8位 アルビレックス新潟
9位 名古屋グランパス
10位 横浜F・マリノス
11位 ジュビロ磐田
12位 京都サンガF.C.
13位 大宮アルディージャ

- 14位 ヴィッセル神戸
- 15位 モンテディオ山形
- 16位 柏レイソル (J2 降格)
- 17位 大分トリニータ (J2 降格)
- 18位 ジェフユナイテッド千葉 (J2 降格)

(3) 2009 J リーグ ディビジョン 2 (J2)

開催日時：ディビジョン 2 2009 年 3 月 7 日 (土)～12 月 5 日 (土)

会場：全国各地

- 順位：優勝 ベガルタ仙台 (J1 昇格)
- 2位 セレッソ大阪 (J1 昇格)
 - 3位 湘南ベルマーレ (J1 昇格)
 - 4位 ヴァンフォーレ甲府
 - 5位 サガン鳥栖
 - 6位 コンサドーレ札幌
 - 7位 東京ヴェルディ
 - 8位 水戸ホーリーホック
 - 9位 徳島ヴォルティス
 - 10位 ザスパ草津
 - 11位 アビスパ福岡
 - 12位 FC岐阜
 - 13位 カターレ富山
 - 14位 ロアッソ熊本
 - 15位 愛媛FC
 - 16位 横浜FC
 - 17位 栃木SC
 - 18位 ファジアーノ岡山

(4) 2009 J リーグ ヤマザキナビスコカップ

開催期間：2009 年 3 月 25 日 (水)～11 月 3 日 (火・祝)

会場：主に各クラブのホームタウンにおける競技場

予選リーグ：2009 年 3 月 25 日 (水)～6 月 13 日 (土)

決勝トーナメント：7 月 15 日 (水)～11 月 3 日 (火・祝)

決勝：11 月 3 日 (火・祝) 13:35 キックオフ 東京／国立競技場

FC東京 2-0 (0-0) 川崎フロンターレ

優勝：FC東京

準優勝：川崎フロンターレ

第3位：清水エスパルス、横浜F・マリノス

(5) FUJI XEROX SUPER CUP 2010

開催日：2010 年 2 月 28 日 (土) 13:35 キックオフ

会場：東京／国立競技場

試合：鹿島アントラーズ 1-1 (PK5-3) ガンバ大阪

入場者数：34,634 人

(6) 第 11 回日本フットボールリーグ

開催日時：2009 年 3 月 15 日 (日)～11 月 29 日 (日)

会場：全国各地

順位：優勝 SAGAWA SHIGA FC

- 2位 横河武蔵野FC
- 3位 ソニー仙台FC
- 4位 ニューウェーブ北九州
- 5位 ガイナーレ鳥取
- 6位 町田ゼルビア
- 7位 Honda FC
- 8位 MIOびわこ草津
- 9位 佐川印刷SC
- 10位 TDK SC
- 11位 V・ファーレン長崎
- 12位 ジェフリザーブズ
- 13位 ホンダロック
- 14位 アルテ高崎
- 15位 流通経済大学
- 16位 FC琉球
- △■17位 FC刈谷
- ※18位 三菱水島FC

(○: J2昇格、■: 地域リーグ(東海)降格、△: 入替戦、※: 脱退→2010年度より岡山県リーグへ)

(7) 2009 J サテライトリーグ

開催期間: 2009年3月~10月

会場: 主に各クラブのホームタウンにおける競技場

J1-18クラブおよびJ2-9クラブをA~Fの6グループに分け、各グループ内で2回戦総当たりのリーグ戦(ホーム&アウェイ)が行われた。

(8) 第45回全国社会人サッカー選手権大会

開催期間: 10月16日(金)~21日(水)

開催会場: 千葉/市原緑地運動公園臨海競技場ほか

決勝戦: 10月21日(水)13:00キックオフ 市原緑地運動公園臨海競技場

松本山雅フットボールクラブ 2-1 (1-0) ツエーゲン金沢

結果: 優勝 松本山雅フットボールクラブ (北信越/長野)

第2位 ツエーゲン金沢 (北信越/石川)

第3位 tonan 前橋 (関東/群馬)

第4位 AC長野パルセイロ (北信越/長野)

フェアプレー賞 該当なし

全国社会人サッカー選手権大会は45回目を迎え、第65回国民体育大会サッカー競技リハーサル大会を兼ねて実施された。

42回から上位チームは全国地域リーグ決勝大会への出場権が与えられており、参加32チームのモチベーションが非常に高く熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は共に初優勝を狙う松本山雅フットボールクラブとツエーゲン金沢の北信越同士の対戦となった。

前半から接戦となり、26分チャンスを活かし松本が先制点を挙げた。後半58分に金沢が1点を入れ同点としたが、65分点を重ねた松本山雅フットボールクラブが初優勝を勝ち取った。

尚、第33回全国地域サッカーリーグ決勝大会への出場権は、松本山雅フットボールクラブとツエーゲン金沢が獲得した。

(9) 第33回全国地域サッカーリーグ決勝大会

開催期間 1次ラウンド 11月21日(土)~23日(月・祝)

	決勝ラウンド	12月4日(金)～6日(日)	
開催会場	1次ラウンド	福島／いわきグリーンフィールド 富山／高岡スポーツコア 高知／県立春野総合運動公園球技場 鳥取／コカ・コーラ ウェストスポーツパーク	
	決勝ラウンド	長野／総合球技場アルウィン	
結果	優勝	松本山雅フットボールクラブ	(社会人大会／長野)
	準優勝	日立栃木ウーヴァスポーツクラブ	(関東／栃木)
	第3位	ツエーゲン金沢	(社会人大会／石川)
	第4位	NPO 横浜スポーツ&カルチャークラブ (Y. S. C. C.)	(関東／神奈川)
	フェアプレー賞	該当なし	

全国地域サッカーリーグ決勝大会は 33 回目を迎え、今回は 1 次ラウンドと決勝ラウンドの間を 2 週あけての開催となり、J F L を目指すチームが参加し熱戦が繰り広げられた。

1 次ラウンドは福島県、富山県、高知県、鳥取県の 4 会場で開催され、各グループは最終戦までもつれ込む混戦となった。

松本市のアルウィンで開催された決勝ラウンドには、社会人大会枠の 2 チームと関東の 2 チームが進出し接戦となった。

2 日目に日立栃木が 2 位以内自動昇格を確定し、他は最終日まででもつれ込んだ。3 日目の第 1 試合で YSCC と金沢が引分けとなった時点で、金沢の 3 位が確定し、PK 戦で YSCC 勝利により松本山雅の 2 位以内自動昇格が確定した。最終戦(日立栃木対松本山雅)が事実上の決勝戦となった。地元松本山雅のサポーターが多く 10,965 人の観客の前で見事松本山雅が勝利し優勝を飾った。

松本山雅フットボールクラブと日立栃木ウーヴァスポーツクラブは、2010 年度 J F L へ自動昇格となる。第 3 位のツエーゲン金沢は、FC 刈谷と 12/13 於石川県・12/19 於愛知県で入替戦が実施される。

(10) 第 58 回全日本大学サッカー選手権大会

開催日時：12月19日(土)～2010年1月6日(水)
 会場：東京／国立競技場他
 決勝：2010年1月6日(水)国立競技場 キックオフ 14：00
 明治大学 2-1 (1-1) 福岡大学
 優勝：明治大学 (関東 3・東京)
 準優勝：福岡大学 (九州 1・福岡)
 第 3 位：関西大学 (関西 2・大阪)、駒澤大学 (関東 4・東京)
 フェアプレー賞：該当なし
 入場者数：6,282 人

2005 年度より決勝戦を全日本大学女子選手権大会決勝と同日同会場の国立競技場で開催している。

決勝戦は、本大会 9 回目の出場の明治大学と 34 回出場の福岡大学との対戦となった。前半 43 分明治大学は相手ドリブルをカットしチャンスに変え先制点を挙げた。数分後ロスタイムに福岡大学は G K のこぼれ球を得点し同点とした。

後半も接戦となり 59 分明治大学は相手 D F こぼれ球から追加点を重ね、51 年ぶり 2 回目の優勝を飾った。

(11) 第 33 回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント

開催日時：8月1日(土)～7日(金)
 会場：大阪／大阪長居スタジアム他
 決勝：8月7日(金)18：00 キックオフ 大阪長居スタジアム
 福岡大学 3-1 (2-1) 高知大学
 優勝：福岡大学 (九州代表・福岡県)

準優勝：高知大学（四国代表・高知県）
第3位：関西大学（関西第1代表・大阪府）
〃 静岡産業大学（東海第1代表・静岡県）
フェアプレー賞：該当なし
入場者数：3,000人

各地域予選を勝ち抜いた16チームが参加し熱戦を繰り広げた。
今回も関東勢が2回戦で姿を消し、決勝戦は初めて関東・関西・東海以外の地域代表同士の対決となった。昨年準決勝のPK戦で3位に甘んじた高知大学と共に初優勝を狙う福岡大学の対戦となった。

試合は、熱戦が繰り広げられた。前半2-1とリードした福岡大学は、後半にもチャンスを活かし追加点をあげた。福岡大学が見事初優勝を飾った。

福岡大学は第89回天皇杯と第58回全日本大学選手権大会への出場権を得ることになった。

(12) 第24回デンソーカップチャレンジサッカー

開催日時：2010年3月5日(金)～7日(日)
会場：宮崎／西都市清水台運動公園多目的広場
決勝：3月7日(日)西都市清水台運動公園多目的広場 キックオフ 13:00
東海・北信越選抜 2-0 (0-0) 中国・四国選抜
優勝：東海・北信越選抜
準優勝：中国・四国選抜
第3位：関西選抜B

24回を迎える本大会は、宮崎県の西都市清水台運動公園多目的広場で開催された。
決勝戦は、東海・北信越と中国・四国の対戦となった。
前半は両チームとも得点はなく、後半79分東海・北信越がコーナーキックからチャンスを活かして先制点をあげ、89分にPKで得点し優勝した。
本大会優秀選手30名の中から選ばれた22名による全日本大学選抜チームは、オーストラリアのブリスベンへ遠征し、「デンソーカップサッカー第7回大学日韓定期戦」
(3月28日(日)13:30キックオフ 於国立競技場)で全韓国大学選抜と対戦する。

(13) デンソーカップ第7回大学日韓(韓日)定期戦

開催日時：2010年3月28日(日)
会場：東京／国立競技場
対戦：2010年3月28日(日)国立競技場 キックオフ 13:30
全日本大学選抜 1-1 (1-0.0-1.0-0.0-0) 全韓国大学選抜
優勝：全韓国大学選抜、全日本大学選抜
入場者数：3,121人

7回を迎える本大会の全日本大学選抜チームは、第24回デンソーカップチャレンジサッカー西都市大会の出場選手から選考され、オーストラリアに強化遠征に行った22名が出場した。
寒波がおとずれ非常に寒い中での試合となった。
試合は、前半31分チャンスを活かした日本が先制点を挙げた。後半58分に韓国に得点され、延長入るも両チーム得点につながらず引き分けとなり、両チーム優勝となった。
韓国との対戦は通算3勝3敗1分となった、共にホームでの負けはない。
来年度の第8回定期戦は、韓国で対戦する。

(14) 高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会

開催期間 9月6日(日)～10月12日(月・祝)
開催会場 埼玉／埼玉スタジアム2002 他

決 勝 10月12日(月・祝)埼玉スタジアム2002
横浜F・マリノスユース 7-1(3-0,4-1) ジュビロ磐田ユース
入場者数 6,399人
優 勝 横浜F・マリノスユース(関東代表・神奈川県)
準優勝 ジュビロ磐田ユース(東海代表・静岡県)
第3位 三菱養和サッカークラブユース(関東代表・東京都)
サンフレッチェ広島F.Cユース(中国代表・広島県)
フェアプレー賞 該当チーム無し
得点王 山本 大稀(米子北高校):7得点

高田宮杯第20回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会は、9地域で行われたプリンスリーグを勝ち抜いた20代表チームと、高校総体およびアディダスカップ(クラブユース選手権)それぞれの優勝・準優勝チームを加えた合計24チームが参加し、高校生年代の日本一を決める大会として熱戦が繰り広げられた。

1次ラウンドから各グループで熱戦が繰り広げられ、関東プリンスリーグ優勝でアディダスカップ準優勝のFC東京U-18、昨年度チャンピオンの浦和レッドダイヤモンズユース、高校総体優勝の前橋育英高校が順当に決勝トーナメント進出を決めた一方で、アディダスカップ優勝のセレッソ大阪が予選ラウンドで敗退する波乱もあった。また、初出場の藤枝明誠高校はグループ1位で決勝トーナメント進出を決め、ベスト8まで勝ち上がる健闘を見せた。

準決勝はクラブチーム同士の戦いとなり、2試合ともPK戦までもつれ込む接戦となったが、横浜F・マリノスユースとジュビロ磐田ユースが、埼玉スタジアム2002で行われる決勝に駒を進めた。

決勝戦は晴天の下で7,000人弱の観客が声援をおくる中行われた。攻撃力が持ち味のマリノスユースが序盤から積極的な攻撃でジュビロユースのゴールを脅かし、前半6分と9分に立て続けに得点を決めた。その後もマリノスユースの勢いは衰えず、小野選手と関原選手の2人がハットトリック達成する活躍で7-1とジュビロユースを圧倒し、14年ぶり2度目の決勝進出で、見事に初優勝を果たした。

大会を通して競技運営をサポートしていただいた主管協会の役員、スポンサー、その他多くの関係者の協力によって、本年度の大会は無事に終了した。

(15) adidas CUP 2009 第33回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

開催日時:7月24日(金)~8月2日(日)
会 場:福島/Jヴィレッジ、神奈川/ニッパツ三ツ沢球技場
決 勝:8月2日(日) ニッパツ三ツ沢球技場
セレッソ大阪U-18 1-0(0-0,0-0,0-0,1-0) FC東京U-18
優 勝:セレッソ大阪U-18(大阪府)
準優勝:FC東京U-18(東京都)
第3位:京都サンガF.C.U-18(京都府)、アルビレックス新潟ユース(新潟県)
フェアプレー賞:該当チームなし
MVP:杉本 健勇(セレッソ大阪U-18)
MIP:平出 涼(FC東京U-18)
得点王:関原 凌河(横浜F・マリノスユース)、松本 翔(横浜F・マリノスユース)

日本のクラブチーム(U-18)の頂点を争う大会として今年で33回目を迎えた日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会は、グループリーグから準々決勝までをJヴィレッジにて開催し、準決勝・決勝戦をニッパツ三ツ沢球技場にて行った。

決勝は、プリンスリーグ2009関東の覇者で2連覇を狙うFC東京U-18と13年ぶりの優勝を狙うセレッソ大阪U-18との対戦となった。

試合は前半お互いに譲らず、チャンスを作るも得点できず。後半に入っても試合は均衡したまま時間がすぎ、ついに延長戦に突入。延長に入ってもお互いに決めきることができず、PK戦に突入かと思われた103分過ぎに相手右サイドからのロングスローがペナルティエリア内に届き、競り合ったFC東京DFの頭にあたりボールがファーサイドのゴールネットへ吸い込まれセレ

ソ大阪が先制。同点に追いつきたいF C東京は猛攻を仕掛けるが、セレッソ大阪が守り切り、ついに13年ぶりの優勝を果たした。

(16) 第88回全国高等学校サッカー選手権大会

開催期間 12月30日(水)～2010年1月11日(月・祝)
決 勝 2010年1月11日(月・祝) 東京/国立競技場
山梨学院大学附属高校 1-0(1-0, 0-0) 青森山田高校
入場者数 43,635人
優 勝 山梨学院大学附属高校 (山梨県)
準優勝 青森山田高校 (青森県)
第3位 矢板中央高校 (栃木県)
関西大学第一高校 (大阪県)
フェアプレー賞 青森山田高校

第88回全国高等学校サッカー選手権大会決勝は、両校とも初優勝を狙う山梨学院と青森山田との対戦となった。

両校からの大応援団を含む4万人を超える観衆が見守る中、前半11分に、本大会初出場が決勝戦まで勝ち上がってきた山梨学院のキャプテン 碓井選手が先制点を挙げる。その後は、お互いに決定機を作れないまま、互角の競り合いのうちに前半が終了する。

後半に入り青森山田も何度もチャンスを作るがゴールを上げることはできず、結局、前半の1点を守り切った山梨学院が初優勝を果たした。

初出場での優勝は、86年度大会での東海大一高が達成して以来、23大会ぶりの快挙となった。本大会は開幕戦から全体的に天候にも恵まれ、多くのスポンサーと運営担当者ほか関係者の協力のおかげで無事に終了した。

(17) 高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会

開催日時 : 12月19日(土)～29日(火)
会 場 : 1次ラウンド 宮城県、愛知県、徳島県、宮崎県
決勝トーナメント 大阪府、東京都
決 勝 : 12月29日(火) 11:30 キックオフ
コンサドーレ札幌ユースU-15 1-2 (0-0, 1-2) ヴィッセル神戸ジュニアユース
優 勝 : ヴィッセル神戸ジュニアユース (兵庫県)
準優勝 : コンサドーレ札幌ユースU-15 (北海道)
第3位 : 東京ヴェルディジュニアユース (東京都)
" 柏レイソルU-15 (千葉県)
フェアプレー賞 : 柏レイソルU-15
得点王 : 下田 康太 (コンサドーレ札幌U-15)、神田 夢実 (コンサドーレ札幌U-15) 8得点
入場者数 : 7,513人

高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)サッカー選手権は、出場32チームを4チームずつ8グループに分け1次ラウンドを行い、各グループ上位1チームが決勝トーナメントに進出する形式で行なわれた。

1次ラウンドではJクラブが強さを発揮し、中学校チームや地域クラブに大量得点で勝利する一方で、岐阜VAMOSやJUVEN FCがJクラブをおさえて決勝トーナメント進出を果たすなど、健闘も見られた。結果的に、決勝トーナメントに進出した8チーム中、6チームがJクラブ、2チームが地域クラブとなり、中学校チームは全て1次ラウンド敗退となった。

決勝トーナメントに入ってからでもJクラブが順当に勝ち進み、中でも1次ラウンド最多得点のコンサドーレ札幌ユースU-15は、勢いそのままに、準々決勝、準決勝でもそれぞれ3点ずつを奪い、決勝に駒を進めた。また、夏のクラブユース選手権との2冠を狙うヴィッセル神戸ジュニアユースも、準決勝で延長戦の末に柏レイソルを破り、決勝進出を果たした。

決勝戦は互いに初優勝を目指すコンサドーレ札幌とヴィッセル神戸の対戦となり、前半は0-0

と互いに譲らぬ展開となった。後半に入っても拮抗した戦いが続いたが、結果的に 2-1 のスコアでヴィッセル神戸が初優勝に輝き、クラブユース選手権との 2 冠を達成した。

3 位となった柏レイソル U-15 がフェアプレー賞を獲得し、得点王にはコンサドーレ札幌ユース U-15 から、下田選手と神田選手の 2 選手が 8 得点で同時受賞した。

本大会はほぼ全日程天候に恵まれ、また、主管都道府県サッカー協会と協賛・協力社のご尽力のもと無事に終了した。

(18) adidas CUP 2009 第 24 回日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会

開催日時：8 月 14 日 (金)～ 23 日 (日)

会 場：福島/J ヴィレッジ

決 勝：8 月 23 日 (日) J ヴィレッジ

ヴィッセル神戸ジュニアユース 3-1 (0-0) 京都サンガ F. C. U-15

優 勝：ヴィッセル神戸ジュニアユース

準 優 勝：京都サンガ F. C. U-15

第 3 位：ACN ジュビロ沼津、名古屋グランパス U15

フェアプレー賞：ヴィッセル神戸ジュニアユース

M V P：岩波 拓也 (ヴィッセル神戸ジュニアユース)

M I P：森口 亮 (京都サンガ F. C. U-15)

得点王：南野 拓実 (セレッソ大阪 U-15)

日本のクラブユース (U-15) の頂点を争う大会として、今年で 24 回目を迎えたクラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会。決勝戦は、昨年の優勝チームである名古屋グランパス U15 を破り初の決勝進出を果たしたヴィッセル神戸ジュニアユースと、ACN ジュビロ沼津を破り 2 年ぶり 3 度目の決勝進出を果たした京都サンガ F. C. U-15 との対決となった。

ヴィッセル神戸が立ち上がりペースを握り試合を優勢に進めるも決定機は迎えられず、前半は 0-0 で終える。後半京都サンガも押し返すが 53 分に左サイドを突破され折り返しを川戸選手に決められヴィッセル神戸が先制する。その後 71 分にも追加点をあげられるが、75 分に京都サンガの森口選手が反撃の口火を切り 2-1 と追い上げる。その後も京都サンガは攻め続けたが逆に前がかりになったところを終了間際にカウンターで失点をしてしまい、合計 3-1 でヴィッセル神戸ジュニアユースが本大会初優勝を果たした。

(19) メニコンカップ 2009 日本クラブユースサッカー東西対抗戦 (U-15)

開 催 日：9 月 13 日 (日)

開催会場：愛知/名古屋市瑞穂球技場

対 戦：オールイースト・東軍 2-0 (0-0) オールウエスト・西軍

入 場 者：8,322 人

M V P：木下 康介 (E A S T / 横浜 F C ジュニアユース)

敢 闘 賞：石毛 秀樹 (W E S T / 清水エスパルスジュニアユース)

宇佐美 康介 (E A S T / 横浜 F ・マリノスジュニアユース)

今回で第 15 回を迎える「メニコンカップ 2009 日本クラブユースサッカー東西対抗戦 (U-15)」は、adidas CUP2008 第 24 回日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会の優秀選手として選出された選手を一同に集めた大会として実施されている。

U-15 年代のオールスター戦にふさわしい拮抗した試合展開となり、引き分けによる PK 戦に突入するかと思われた後半 33 分に東軍の木下選手が先制点をあげる。反撃した西軍の隙をついてロスタイムにも東軍が追加点をあげ、試合が終了し 2-0 で東軍が勝利した。

本年の結果により、通算成績はオールイースト (東軍) 9 勝、オールウエスト (西軍) 6 勝となった。

(20) 全国中学校体育大会／第 40 回全国中学校サッカー大会

開催日時：8 月 19 日(水)～24 日(月)

会 場：長崎／島原市営陸上競技場 他

決 勝：8 月 24 日(月)

島原市立第一中学校（長崎県）0-1（0-0、0-0、延前 0-0、延後 0-1）

静岡学園中学校（静岡県）

優 勝：静岡学園中学校（東海・静岡県）

準 優 勝：島原市立第一中学校（九州・長崎県）

第 3 位：鹿児島育英館中学校（九州・鹿児島県）

〃 浜松開誠館中学校（東海・静岡県）

フェアプレー賞：浜松開誠館中学校（東海・静岡県）

本年度の全中大会は長崎県 雲仙市・島原市の各会場で行われ、どの会場も天候に恵まれ、また、芝生の整備が行き届いた素晴らしいピッチコンディションのもと、32 の出場チームによる熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は静岡学園中と地元の島原第一中の対戦となった。試合は終始、静岡学園中がボールを支配し、島原第一中を圧倒する 26 本のシュートを放ったが、島原の GK 田中選手がファインセーブを連発してしのぎきった。

延長に入り、島原第一中も地元の大声援を受け何度かチャンスを作るも決めきれず、ついに延長後半、ゴール前のフリーキックからのこぼれ球を静岡学園中の米倉選手が押し込んで決勝点を決め、見事に初優勝を果たした。

(21) J F A プレミアカップ 2009 supported by N I K E

開催日時：5 月 3 日（日・祝）～5 日（火・祝）

会 場：福島／J ヴィレッジ

決 勝：5 月 5 日（火・祝）

ガンバ大阪ジュニアユース 1-0（前 0-0、後 1-0）名古屋グランパス U15

優 勝：ガンバ大阪ジュニアユース（関西・大阪）

準 優 勝：名古屋グランパス U15（東海第二・愛知）

第 3 位：J F A アカデミー福島（東北・福島）

清水エスパルスジュニアユース（東海第一・静岡）

フェアプレー賞：J F A アカデミー福島

観 客 数：350 人

本大会は、中学 1・2 年年代のみが出場できる U-14 年代で唯一の全国公式戦で、J ヴィレッジの天然芝ピッチ 6 面を使用して開催された。

1 次ラウンドは 12 チームを 3 グループに分けてリーグ戦を行ない、各グループ 1 位と各グループ 2 位のうち成績上位の 1 チームの計 4 チームで決勝トーナメントを行なった。

1 次ラウンドでは各ピッチに於いて多くの保護者や観戦者の見守る中、熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は約 350 人の観客の声援の中、ガンバ大阪ジュニアユースと名古屋グランパス U15 が世界大会への出場切符をかけて対決した。名古屋は終始ペースを握って攻め続けたものの、ガンバ大阪が厚い守備で守りきり、前半を 0-0 で折り返した。

後半は、立ち上がりこそガンバ大阪ペースであったものの、その後は再び名古屋がボールをキープし続ける展開であったが、試合終了間際にガンバが先制点を挙げ、これがそのまま決勝点となり、ガンバ大阪ジュニアユースが 2 年ぶり 2 度目の優勝を果たした。

優勝したガンバ大阪ジュニアユースには、7 月下旬～8 月にかけてイギリス／マンチェスターで行なわれる世界大会「マンチェスター・ユナイテッド・プレミアカップ・ワールド・ファイナルズ」への出場権が与えられた。

今年は天候にも恵まれ、ピッチコンディションも良く、主管の(財)福島県サッカー協会、協賛社の(株)ナイキジャパン、他関係者のご協力のもと大会は無事終了した。

(22)第33回全日本少年サッカー大会

開催日時：8月1日(土)～8日(土)

会場：福島/Jヴィレッジ、東京/西が丘サッカー場

決勝：8月8日(土)西が丘サッカー場

名古屋グランパスU12 2-0 (0-0、2-0) 新座片山FC少年団

優勝：名古屋グランパスU12(愛知)

準優勝：新座片山FC少年団(埼玉2)

第3位：川崎フロンターレU-12(神奈川)

横河武蔵野フットボールクラブジュニア(東京)

フェアプレー賞：名古屋グランパスU12(愛知)

敢闘賞：新座片山FC少年団(埼玉2)

努力賞：横河武蔵野フットボールクラブジュニア(東京)

グッドマナー賞：川崎フロンターレU-12(神奈川)

1次ラウンドは出場48チームを6チームずつ8グループに分けてリーグ戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントへ進出するリーグ戦方式で行われ、最終日まで決勝トーナメントへの進出チームが分からない白熱した展開となった。

昨年度準優勝の名古屋グランパスU12は、予選ラウンド5試合で20得点、1失点という圧倒的な強さで決勝トーナメント進出を果たし、その後も手堅い試合で決勝まで勝ち進んだ。

また、川崎フロンターレや大宮アルディージャなど関東のJクラブチームも、安定したサッカーを展開した。

決勝は、名古屋グランパスU12(愛知)と新座片山FC少年団(埼玉第2代表)の対戦となり、名古屋グランパスU12が優勝を勝ち取ったと同時に、フェアプレー賞も受賞した。

本大会は、福島県及び東京都サッカー協会役員、ボランティア学生の協力の下、無事終了した。

(23)第64回国民体育大会(サッカー競技)

開催期間：9月27日(日)～10月1日(木)

開催会場：新潟/新発田市、新潟市、聖籠町

<成年男子>

開催期間 9月28日(月)～10月1日(木)

決勝 10月1日(木) 新潟/新発田市五十公野公園陸上競技場

京都府 1-2 新潟県

優勝 新潟県

第2位 京都府

第3位 栃木県

第4位 鹿児島県

<女子>

開催期間 9月27日(日)～30日(水)

決勝 9月30日(水) 新潟/新発田市五十公野公園陸上競技場

新潟県 0-3 岡山県

優勝 岡山県

準優勝 新潟県

第3位 鹿児島県

第4位 北海道

<少年男子>

開催期間 9月27日(日)～10月1日(木)

決勝 10月1日(木) 新潟/東北電力ビッグスワンスタジアム

神奈川県 1-0 大阪府

優勝 神奈川県

第2位 大阪府

- 第 3 位 兵庫県
- 第 4 位 京都府
- <サッカー競技男女総合成績>
- 第 1 位 新潟県
- 第 2 位 京都府
- 第 3 位 鹿児島県
- 第 4 位 神奈川県
- 第 5 位 岡山県
- 第 6 位 大阪府
- 第 7 位 栃木県、兵庫県

第 64 回国民体育大会「トキめき新潟国体」が、第 19 回大会(昭和 39 年)以来に新潟県にて開催された。大会期間中は、時折雨が降るような生憎のお天気の日もあったが、最終日には爽やかな秋晴れが広がった。

各種別熱戦が繰り広げられ一試合一試合が注目される中、特に成年男子および女子では地元新潟県が決勝まで残ったこともあり、多くの観客が競技場に集まった。残念ながら女子は準優勝に終わったものの、新潟県は本大会初の男女総合優勝を収めた。

新潟県サッカー協会役員・開催自治体等のご尽力により、競技運営・表彰式等、大会全てが滞りなく終了した。

(24) 第 16 回全国クラブチームサッカー選手権大会

- 開催期間 10 月 30 日(金)～11 月 4 日(水)
- 開催会場 大分／別府市営実相寺サッカー競技場他
- 決勝戦 11 月 4 日(水)別府市営実相寺サッカー競技場 キックオフ 11 : 00
フットボールクラブ ガンジュ岩手 1-1 (1-1、0-0、0-0、0-0、PK12-11)
HOYO Atletico ELAN
- 結 果 優 勝 フットボールクラブ ガンジュ岩手 (東北／岩手)
- 準優勝 HOYO Atletico ELAN (開催地／大分市)
- 第 3 位 京都伏見蹴友会 (関西／京都)
- 耶馬溪 FC (開催地／中津市)

第 16 回を迎えた本大会は、2008 年度から国体開催の翌年にその開催地で実施のため、大分県別府市と大分市において開催された。

期間中ほぼ好天に恵まれ、主管の(社)大分県サッカー協会と社会人連盟の競技運営もスムーズに実施された。

決勝戦は 2 年ぶり 2 度目の優勝を狙うフットボールクラブ ガンジュ岩手と初優勝を目指す大分市代表の HOYO Atletico ELAN との対戦となった。前半は、ガンジュ岩手が 7 分に先制点を挙げたが、10 分に HOYO がチャンスを活かして得点した。後半に入っても接戦となり、延長でも決まらず PK を制したフットボールクラブ ガンジュ岩手が優勝を勝ち取った。

(25) 第 19 回全国専門学校サッカー選手権大会

- 開催期間 10 月 13 日(火)～17 日(土)
- 開催会場 北海道／札幌アミューズメントパーク競技場
- 決 勝 10 月 17 日(土) 13 : 00 キックオフ 札幌アミューズメントパーク競技場
甲賀健康医療専門学校 7-1(3-1) 履正社医療スポーツ専門学校
- 優 勝 甲賀健康医療専門学校 (関西/滋賀)
- 準 優 勝 履正社医療スポーツ専門学校(関西/大阪)
- 第 3 位 東京福祉保育専門学校(関東/東京)
- 第 4 位 専門学校北海道体育大学校(北海道)

今年で 19 回目を迎えた全国専門学校サッカー選手権大会が、札幌アミューズメントパーク競

技場で開催された。期間中好天に恵まれ、最高気温 19 度で好環境となった。

決勝戦は昨年と同じカードで、前回のリベンジをねらう履正社と、2 年連続 5 度目の優勝を目指す甲賀との対戦となった。

前半接戦で攻守目まぐるしくかわったが、甲賀が 3-1 でリードし、後半甲賀のペースとなって点を重ね、見事優勝を勝ち取った。

(26) 第 42 回全国高等専門学校サッカー選手権大会

開催日時：8 月 21 日(金)～25 日(火)

会場：熊本／県営八代運動公園陸上競技場他

決勝：8 月 25 日(火)10：00 キックオフ 県営八代運動公園陸上競技場
近畿大学工業高等専門学校 4-0 (2-0) 福井工業高等専門学校

優勝：近畿大学工業高等専門学校 (三重県)

準優勝：福井工業高等専門学校 (福井県)

第 3 位：宇部工業高等専門学校 (山口県)

〃 宮城工業高等専門学校 (宮城県)

フェアプレー賞：宮城工業高等専門学校

高等専門学校体育連盟では本年度の大会開催を九州地区が担当し、サッカー競技は熊本県の八代工業高等専門学校が主催校となって運営された。

今大会は快晴に恵まれたが連日 35 度近くの猛暑の中で、熱戦が繰り広げられた。

決勝は本大会 5 回目出場で 2 年連続 4 度目の優勝を目指す近畿大学工業高等専門学校と、6 年ぶり 6 回目の出場で初優勝を狙う福井工業高等専門学校との対戦となった。

前半近畿大学高専が先制点をあげその 7 分後点を重ねた。後半にもチャンスを活かし点を重ね見事優勝を飾った。

(27) 平成 21 年度 全国高等学校総合体育大会(サッカー競技)

開催期間：8 月 1 日(土)～8 日(土)

開催会場：奈良／橿原市

決勝：前橋育英高校 2-0 (1-0、1-0) 米子北高校

優勝：前橋育英高校(群馬県)

準優勝：米子北高校(鳥取県)

第 3 位：大津高校(熊本県)、佐賀東(佐賀県)

フェアプレー賞：大津高校(熊本県)

2009 年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技は、奈良県橿原市にて行われた。

本年度は比較的西のチームが活躍をし、ベスト 8 に九州 3 チーム、関西 2 チーム、中国 2 チームが残った。そのなかで決勝に進出したのは唯一の関東勢で残っていた前橋育英高校と鳥取県の米子北高校。どちらが勝っても初優勝であった。

決勝戦は橿原総合運動公園にてキックオフ。立ち上がりは互いに様子見の状況であったが、開始 4 分で前橋育英の三浦が豪快にボレーを決めて先制。その後は一進一退の攻防が続いた。米子北も反撃に出るが、連戦による疲労なのか運動量が落ち、シュートは放つものの単発に終わり同点にできない。すると後半 11 分にも前橋育英の西澤が得点を挙げ、そのまま米子北を振り切り逃げ切った。

この結果、前橋育英高校は本大会初優勝を飾った。

(28) 第 9 回全国シニア(60 歳以上)サッカー大会

開催日時：5 月 30 日(土)～31 日(日)

会場：広島／コカ・コーラウエスト広島スタジアム他

結果：グループ優勝(シニア 60 大会)：

静岡県選抜、千葉四十雀サッカークラブ 60、茨城シニア 60、愛知県選抜

今回は、広島市において期間中天候に恵まれ連日 28℃と暑い中各ゲームとも熱戦が繰り広げられた。

今年で 3 回目となるシニア（70 歳以上）サッカーフェスティバルは昨年より 2 チーム増え 16 チームの参加となった。各チームとも順位を決めず 1 日 1 試合であるが、2 ゲームを熱くかつサッカーを楽しんでいた。

シニア 60 大会は、回を重ねるごとにレベルが向上し、地域差も縮まってきたため各試合とも接戦のゲームが増えた。各グループの優勝は、静岡県選抜、千葉四十雀サッカークラブ 60、茨城シニア 60、愛知県選抜となった。

レセプションも盛大にかつ和やかに開催され各チームとも親交を温めていた。

(財)広島県サッカー協会の競技運営は滞りなくスムーズであった。選手に大きな怪我もなく無事に終了出来た。

(29) 第 8 回全国シニア (50 歳以上) サッカー大会

開催期間：6 月 26 日 (金)～28 日 (日)

開催地：岩手／遠野運動公園陸上競技場他

決勝：6 月 28 日 (日) 12：30 キックオフ 遠野運動公園陸上競技場

兵庫県シニア選抜 (50) 2-0 (1-0) 東京シニア高麗サッカークラブ 50

観客数：100 名

優勝：兵庫県シニア選抜 (50) (関西／兵庫)

準優勝：東京シニア高麗サッカークラブ 50 (関東 1／東京)

第 3 位：日立 F C 50 (関東 2／茨城)

第 3 位：愛知県選抜 (東海 2／愛知)

全国シニア (50 歳以上) サッカー大会は今年で 8 回となり、岩手県の遠野市と花巻市で開催された。

1 次ラウンドは、各地域を勝ち抜いてきた 16 チームだけに各試合とも接戦が繰り広げられた。

決勝戦は、共に接戦の準決勝を勝ち抜いた、大会 2 連覇の兵庫県シニア選抜 (50) と、東京シニア高麗サッカークラブ 50 の戦いとなり、終始チーム力が落ちず堅実なプレーの兵庫県シニア選抜 (50) が見事優勝し 3 連覇を成し遂げた。

大会期間中、連日 30 度を超す暑さとなったが、岩手県サッカー協会のスムーズな競技運営により、無事大会が終了した。

(30) 日本スポーツマスターズ 2009 (サッカー競技)

開催期間 9 月 18 日 (金)～22 日 (火・祝)

開催会場 静岡／藤枝総合運動公園サッカー場他

決勝戦 9 月 22 日 (火・祝) キックオフ 13：00 藤枝総合運動公園サッカー場

広島フォーティーズ 0-1 (0-0) 静岡県選抜

結果 優勝 静岡県選抜 (静岡県)

準優勝 広島フォーティーズ (広島県)

第 3 位 大洲 40 F C (愛媛県)

兵庫県シニア 40 選抜 (兵庫県)

今回で 9 回目を迎える「日本スポーツマスターズ 2009 富士山静岡大会 サッカー競技」は、台風 14 号の影響で危ぶまれたが、連日 30 度の暑さの中、熱中症の発症者もなく無事終了した。

18 日の開会式 (前夜祭) はホテルセンチュリー静岡において 700 名の参加により盛大に開催された。

本大会のシンボルメンバーである北澤豪氏のサッカー教室には小学生 200 名が参加し会を盛り上げた。

40 歳以上のシニア年代とはいえ競技性を重視した大会のため、熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は、昨年と同じカードの 2 年連続 4 度目の優勝をかけた静岡県選抜と初優勝を目指す広

島フォーティーズの対戦となった。

前半は共に接戦で得点がなかったが後半に静岡が先制点を挙げ、これを守り抜き見事優勝を飾った。

(31) 第 22 回全国スポーツ・レクリエーション祭 壮年サッカー

開催期間：10月17日(土)～20日(火)

開催会場：宮崎／西都市清水台総合公園多目的広場他

決勝戦：各グループリーグのみ実施（同位の場合は抽選）

結果：優勝：宮崎県選抜A、愛知県選抜、せんとくんSC、兵庫県シニア選抜、滋賀県選抜、清水クラブOB、埼玉シニアFC、米子レッドスターズ

スポレクみやざき 2009 壮年サッカー大会は、「皆来んね 笑顔まんかい 神話の国で」のスローガンのもと日韓スポーツ交流事業で来日した韓国チームを含め、全国各地から 49 チームが参加し接戦が繰り返された。会場は西都市会場（西都市清水台総合公園多目的広場）・綾町会場（錦原サッカー場他）に分かれて開催された。好天に恵まれ、チーム間・大会ボランティアとの交流も盛んに行われた。

(32) PUMA CUP2010 第 15 回全日本フットサル選手権大会

開催日時：2010年3月5日(金)～7日(日) 1次ラウンド

3月12日(金)～14日(日) 決勝トーナメント

会場：1次ラウンド 大阪／中央体育館
兵庫／グリーンアリーナ

決勝トーナメント 東京／国立代々木競技場第一体育館

決勝：2010年3月14日(日)キックオフ 14:30 国立代々木競技場第一体育館

湘南ベルマーレ 0-4 (0-1) シュライカー大阪

優勝：シュライカー大阪

準優勝：湘南ベルマーレ

第3位：デウソン神戸

MIP：イゴール／シュライカー大阪

フェアプレー賞：デウソン神戸

15回目となる本大会は、1次ラウンドを大阪と神戸、決勝トーナメントを東京にて開催された。今年は東京での決勝トーナメントに進んだ8チームの全てがFリーグのチームで、その中から決勝戦は湘南ベルマーレとシュライカー大阪の対戦となった。決勝戦は、前半にFKから先制したシュライカー大阪が、後半にも3点を追加し優勝した。

(33) Fリーグ 2009

開催期間 8月23日(日)～2010年2月28日(日)

開催会場 セントラル：東京／国立代々木競技場第一体育館、静岡／浜松アリーナ

ホーム&アウェイ：全国各地

順位	1位	名古屋オーシャンズ	勝点 69 点
	2位	ペスカドーラ町田	勝点 51 点
	3位	シュライカー大阪	勝点 47 点
	4位	エスポラーダ北海道	勝点 40 点
	5位	バサジィ大分	勝点 39 点
	6位	バルドラール浦安	勝点 37 点
	7位	デウソン神戸	勝点 34 点
	8位	湘南ベルマーレ	勝点 25 点
	9位	ステラミーゴいわて花巻	勝点 17 点
	10位	府中アスレティックFC	勝点 16 点
入場者数	総入場者数	215,327 名	(1 試合平均 1,595 名)

ホーム開催	160,539名	(1試合平均 1,338名)
セントラル開催	54,788名	(1試合平均 3,653名)
最優秀選手賞	イゴール	(シュライカー大阪/GK)
ベストファイブ	イゴール	(シュライカー大阪/GK)
	水上 玄太	(エスポラーダ北海道/FP)
	藤井 健太	(ペスカドーラ町田/FP)
	ボラ	(湘南ベルマーレ/FP)
	木暮 賢一郎	(名古屋オーシャンズ/FP)
得点王	ボラ	(湘南ベルマーレ/FP)
新人賞	西谷 良介	(デウソン神戸/FP)
優秀審判員賞	延本 泰一	
フェアプレー賞	該当チームなし	
特別表彰	エスポラーダ北海道	(フェアプレー奨励賞)

Fリーグ2009は、8月23日(日)から2010年2月28日(日)にかけて開催された。新たにエスポラーダ北海道、府中アスレティックフットボールクラブの2クラブを加え、開催形式を10チーム3回戦総当たり全27節135試合という、前年度までの全84試合を大きく上回るリーグ戦へと変更した。また同時に、これまでリーグ戦日程の1/3を占めていたセントラル開催を、7節から3節へと削減し、ホーム&アウェイ開催の節数を、14節から24節へと増加させた。さらに大会登録の面では、1チームあたりの登録人数上限を20名から14名へと減らし、U-23年代の選手に限り、1名以上14名以下の登録を義務付けることとするU-23選手枠制度を設け、若手選手の育成を図った。これら幾つかの制度面の変更を行ない、3年目のFリーグ戦が開幕した。

開幕から1巡目の第9節終了までは、過去2年連続優勝の名古屋オーシャンズ、バルドラール浦安、ペスカドーラ町田、シュライカー大阪、バサジィ大分の5チームが激しい上位争いを展開した。若手選手主体の新興チームであるバサジィ大分が第6節で一時首位に立つなど、10チーム間の戦力差がほとんど感じられない白熱したリーグの様相を呈した。2巡目に入ると、2年連続で名古屋と首位を争ってきた浦安が失速、代わって新規参入チームのエスポラーダ北海道が上位争いに加わった。リーグ戦の折り返しである第14節時点で、1位・町田、2位・名古屋、3位・北海道という順位となった。

リーグ戦も後半に差し掛かると、チーム力維持のため、U-23選手枠を有効に活用するチームも現れた。バルドラール浦安の新造邦明選手(22歳)やシュライカー大阪の永井義文選手(22歳)、バサジィ大分の吉川智貴選手(21歳)などが、登録1年目ながら徐々に出場機会を増やしていった。また湘南ベルマーレは、Jリーグ湘南ベルマーレ選手である菅野哲也選手(当時・湘南ベルマーレ、現・ツエーゲン金沢)と、米USL1部リーグのシーズンオフ期間中の西村卓朗選手(当時・ポートランド・ティンバーズ、現・クリスタルパレス・ボルチモア)を登録。サッカーのトップ選手がFリーグ公式戦に出場したことにより、大きな話題を呼んだ。

3巡目に入ると、名古屋オーシャンズが地力の差を見せ始め、第14節から第27節まで14連勝するなど、徐々に2位以下のチームとの勝点差を広げていった。最後まで優勝の可能性を争ったのは、ペスカドーラ町田とシュライカー大阪であったが、2010年1月31日(日)に行なわれた第23節において、名古屋は4節を残して3季連続3度目の優勝を決めた。

優勝の決定時期は昨年度より早まったものの、これまでFリーグの下位に沈んでいたチームが強化を重ね、Fリーグ全体のレベルは向上の兆しを見せている。また、2チームの新規参入により取り組んだ試合数の増加では、総入場者数を昨年度に比べて約6万人増やし、多くのファンにFリーグを観戦いただく機会を作る結果となった。ホームゲーム数の増加と併せて、本年度は、各Fクラブが地域により根付いていくための、重要なスタート年だったといえる。

(34) Fリーグ大洋薬品オーシャンアリーナカップ2009

開催期間	8月6日(木)~9日(日)
開催会場	愛知/大洋薬品オーシャンアリーナ
決勝	8月9日(日)
	名古屋オーシャンズ 2-2 (2-1) 4PK5 シュライカー大阪
入場者数	1,665人

優 勝 シュライカー大阪
準 優 勝 名古屋オーシャンズ
第 3 位 デウソン神戸

Fリーグ初のリーグカップ戦、「Fリーグ大洋薬品オーシャンアリーナカップ 2009」が、6日から9日まで愛知県名古屋市の大洋薬品オーシャンアリーナで開催された。

本大会は、Fリーグの全10クラブが一堂に会し、集中開催のノックアウト方式で行われた。初日は、今シーズン新規参入した“エスポラーダ北海道”と“府中アスレティックFC”がFリーグ公式試合に初見参となり、シーズンの到来を告げる大会であるとともに、今シーズンの各チームの戦力を占う意味においても注目される大会となった。

決勝戦は地元の名古屋オーシャンズとシュライカー大阪の対戦なり、規定時間内で決着がつかず、PK戦の結果、シュライカー大阪が初代王者となった。

また、大会期間中、名古屋オーシャンズの選手、スタッフによる小学生を対象にしたフットサルクリニックを開催する等夏休みのこどもたち参加型のイベントを行った。

本大会の開催にあたっては、特別協賛をいただいた大洋薬品工業(株)をはじめ、主管となっていたいただいた(財)愛知県サッカー協会等多くの関係者により、大会運営は円滑に進められた。

(35)全日本大学フットサル大会 2009

開催期間：8月27日(木)～29日(土)

開催会場：大阪／舞洲アリーナ

決 勝：順天堂大学 GAZIL 1-2 (1-2) 神戸大学フットサル部

結 果：優 勝 神戸大学フットサル部 (関西地域第2代表/兵庫県)

準優勝 順天堂大学 GAZIL (関東地域第1代表/千葉県)

第3位 同志社フットサルクラブ (関西地域第1代表/京都府)

川崎医療福祉大学フットサル部 (中国地域代表/岡山県)

フェアプレー賞：神戸大学フットサル部

各地域より12チームが出場し、1グループ4チームの3グループにて1次ラウンドを行い、各グループの1位とグループ2位チームのうち成績上位1チームの4チームにて決勝トーナメントを行った。

決勝戦は順天堂大学 GAZIL 対 神戸大学フットサル部の対戦となった。

試合は、前半のリードを守り切った神戸大学フットサル部が見事2年連続2度目の優勝。

全般に関しては、(社)大阪府サッカー協会を中心とするたくさんの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(36)第15回全日本ユース(U-15)フットサル大会

《第15回全日本ユース(U-15)フットサル大会》

開催期間：2010年1月9日(土)～11日(月・祝)

開催会場：福岡／北九州市立総合体育館

決 勝：2010年1月11日(月・祝)

アスペガスフットボールクラブ 9-8 (4-4) 長岡 JYFC

優 勝：アスペガスフットボールクラブ (関西地域代表・奈良県)

準 優 勝：長岡 JYFC (北信越地域第1代表・新潟県)

第 3 位：セイザンFC U-15 (中国地域代表・山口県)

上松中学校サッカー部 (北信越地域第3代表・長野県)

フェアプレー賞：上松中学校サッカー部

《全日本女子ユース(U-15)フットサル大会(プレ大会)》

開催期間：2010年1月10日(日)～11日(月・祝)

開催会場：福岡／北九州市立総合体育館

決 勝：2010年1月11日(月・祝)

クラブフィールズ・リンダ 7 - 4 (1 -4) 板野プリマヴェーラ LFC
優勝 勝：クラブフィールズ・リンダ (北海道地域代表・北海道)
準優勝 勝：板野プリマヴェーラ LFC (四国地域代表・徳島県)
第 3 位：秋田 L.F.C ユース (東北地域代表・秋田県)
名古屋 FC レディース (東海地域代表・愛知県)
フェアプレー賞：名古屋 FC レディース

今年で 15 回目の開催となる U-15 フットサル大会と、今回プレ大会として開催される全日本女子ユース (U-15) フットサル大会が北九州にて開催された。

大会を通じてレベルの高いプレーが随所に見られ、フットサルの競技レベルが上がってきていることが感じられた。

決勝戦は男女ともに白熱した試合となり、特に全日本ユース (U-15) フットサル大会のアスペガスフットボールクラブ対長岡 JYFC は日本一を決める試合としてふさわしい一進一退の展開となり、アスペガスフットボールクラブが見事優勝を果たした。

運営全般に関しては、(社)福岡県サッカー協会に主管していただき、無事に終えることが出来た。

(37) バーモントカップ第 19 回全日本少年フットサル大会

開催期間 2010 年 1 月 4 日(月)～6 日(水)
開催会場 東京/駒沢体育館
決勝 勝 2010 年 1 月 6 日(水) 駒沢体育館
柏レイソル U-12 7-0(4-0、3-0) 大分トリニータジュニア
優勝 勝 柏レイソル U-12 (千葉県)
準優勝 勝 大分トリニータジュニア(大分県)
第 3 位 鹿島アントラーズジュニア (茨城県)
東京ヴェルディジュニア ユース S (東京都)
フェアプレー賞 大分トリニータジュニア(大分県)

本年度も全国 48 チームの代表により本大会が開催された。

決勝戦は、柏レイソル U-12 対大分トリニータジュニアの対戦となり、柏レイソル U-12 が見事優勝を飾った。

今年も 2 日目の試合終了後に元フットサル日本代表監督マリーニョ氏をはじめ、元サッカー日本代表の北澤豪氏、福西崇氏、ペスカドーラ町田の現役 F リーガー藤井健太氏によるエキジビションが行なわれ、非常に盛況であった。

今大会のベスト 4 が全て J クラブのチームとなり、フットサルのチームである津ラピド FC が優勝した昨年とは対照的な大会となった。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(38) 第 6 回全日本女子フットサル選手権大会

開催期間 11 月 27 日(金)～29 日(日)
開催会場 パークアリーナ小牧
決勝 11 月 29 日(日)
FUN フットサルクラブ Ladies 2-1 (2-0、0-1) Bardral URAYASU F.S. Las Bonitas
優勝 勝 FUN フットサルクラブ Ladies (関東地域第 1 代表・東京都)
準優勝 勝 Bardral URAYASU F.S. Las Bonitas (関東地域第 2 代表・千葉県)
第 3 位 CAFURINGBOYS 東久留米 (関東地域第 3 代表・東京都)
arco-iris (関西地域第 2 代表・兵庫県)
フェアプレー賞 FUN フットサルクラブ Ladies

決勝戦は大会 5 連覇を狙う FUN フットサルクラブ Ladies 対 Bardral URAYASU F.S. Las Bonitas という関東大会の決勝と同じ対戦となった。日本一を決める試合として白熱した試合展

開となったが、FUN フットサルクラブ Ladies が Bardral URAYASU F.S. Las Bonitas を破り、見事大会 5 連覇を果たした。

運営全般に関しては、(財)愛知県サッカー協会を中心とするたくさんの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(39) 第 31 回全日本女子サッカー選手権大会

開催日時：12月6日(日)～2010年1月1日(金・祝)

会場：東京/国立競技場 他

決勝：2010年1月1日(金・祝) 10:30 キックオフ 国立競技場
浦和レッドダイヤモンドレディース 0-2 (0-0) 日テレ・ベレーザ

優勝：日テレ・ベレーザ (ディビジョン1/東京)

準優勝：浦和レッドダイヤモンドレディース (ディビジョン1/埼玉)

第3位：INAC神戸レオネッサ (ディビジョン1/兵庫)

〃 東京電力女子サッカー部マリーゼ (ディビジョン1/福島)

フェアプレー賞：浦和レッドダイヤモンドレディース

入場者数：12,648人

なでしこリーグ所属 16 チームに地域代表の 16 チームを加えた 32 チームが参加し、3 回戦からなでしこリーグディビジョン1の8チームが出場する形式にて実施。

12月6日(日)に開幕し、1回戦は静岡・三重・島根・鹿児島、2回戦は宮城・京都・島根・福岡、3回戦は宮城・福島・岡山・広島、準々決勝を福島・広島、準決勝と決勝戦は東京で開催した。

決勝戦は、晴天の下、絶好のサッカー日和となった元旦に、国立競技場で1万以上の観客が見守る中、今季なでしこリーグ(D1)覇者の浦和レッドダイヤモンドレディースと、2位の日テレ・ベレーザとの対戦となった。

日テレ・ベレーザが何度もシュートを放つもゴールに繋がらず、前半を0-0で折り返した。後半に入り、49分に日テレ・ベレーザが先制点をあげると、77分にも得点を重ねた。浦和レッドダイヤモンドレディースは追いつくことが出来ず、日テレ・ベレーザが3年連続10度目の全日本女子サッカー選手権大会の優勝を飾った。

(40) プレナスなでしこリーグ 2009 ディビジョン1

開催期間 4月11日(土)～11月1日(日)

開催会場 全国各地

結果 優勝 浦和レッドダイヤモンドレディース
2位 日テレ・ベレーザ
3位 東京電力女子サッカー部マリーゼ
4位 INAC神戸レオネッサ
5位 ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
6位 岡山湯郷 Belle
7位 アルビレックス新潟レディース
8位 スペランツァ F.C. 高槻

観客数 89,663人 (1試合平均1,076人)

21回目となるリーグ戦。また次年度からはリーグが大きく変わる(なでしこリーグとチャレンジリーグ) 節目の年のリーグ戦となった。

優勝した浦和は、序盤から抜け出し、他上位チームが黒星を喫する中順調に勝利を重ね、3節を残し第18節で優勝が決定。ベレーザの5連覇を阻み、悲願の初優勝を手にした。また、マリーゼが去年の6位からチーム最高位の3位に大躍進をした。8位のFC高槻は去年再度の昇格を果たしたが、入替戦を戦うことになった。

(41) プレナスなでしこリーグ 2009 ディビジョン2

開催期間 4月11日(土)～11月1日(日)
開催会場 全国各地
結果 優勝 AS エルフェン狭山 FC
2位 伊賀フットボールクラブくノ一
3位 福岡 J・アンクラス
4位 清水第八プレアデス
5位 大原学園 JaSRA 女子サッカークラブ
6位 バニーズ京都 SC
7位 ジュ ブリーレ 鹿児島
8位 ルネサンス熊本フットボールクラブ
観客数 27,228人 (1試合平均 324人)

次年度からはリーグが大きく変わる(なでしこリーグとチャレンジリーグ) 節目の年のリーグ戦。上位2チームは次年度・なでしこリーグへの自動昇格が決定、3位は入替戦を戦うことになり、3枠を目指した激しい戦いが展開された。

上位3位チームは、AS 狭山、伊賀 FC、福岡 AN の争い。リーグ初めは伊賀 FC が首位をキープしていたが、第10節に敗戦すると他2チームとの差が縮まり、昇格争いは最終節までもつれ込んだ。結果、優勝・AS 狭山、2位・伊賀 FC となり2チームの自動昇格が決定。福岡 AN はディビジョン1・8位の FC 高槻との入替戦に臨むことになった。

(42) なでしこリーグオールスター2009

期 日 8月30日(日) 17時キックオフ
会 場 東京・西が丘サッカー場
試合結果 なでしこ CINZA 2-0 なでしこ ROSA
JAL・MVP賞 山郷のぞみ (CINZA・浦和)
入場者数 3,233人

なでしこリーグの「夏の祭典」であるオールスター戦。西が丘サッカー場での開催も3回目となり、地元・東京都北区の後援を得て実施している「なでしこ縁日」も恒例行事となってきた。今回も前回同様に15時からエキシビジョンマッチ「JリーグOB・なでしこリーグOG 対 JFAアカデミー福島女子チーム」を開催。また「なでしこ縁日」ではディビジョン1チームの出店のみならず、ディビジョン2もチーム紹介ブースを出店、またフットボールパークも開設した。オールスター戦は、試合終盤には雨が降り出す中、なでしこ CINZA が2-0で勝利、ゴールキーパーとして初めて山郷選手が MVP を獲得した。

(43) 2010 日韓女子リーグチャンピオンシップ Presented by Plenus

期 日 2010年3月27日(土) 13:00キックオフ
会 場 埼玉/駒場スタジアム
対 戦 浦和レッドダイヤモンズレディース
4-2(1-2) 高陽大教ヌンノピ女子サッカー団
入場者数 1,823人

本大会開催の目的は、アジアの女子サッカーリーグを代表する日本と韓国の女子サッカーリーグチャンピオン同士の試合を通じて、アジアの女子サッカーを牽引していく大会とし、近い将来この大会が多くのアジア諸国が参加するACL女子版へと発展していくこと。日本、韓国のクラブチーム同士の大会は、今大会が初の試みとなった。試合は、序盤、高陽大教のFWプレチナの2ゴールで先制されるも、慌てない浦和は徐々にペースを掴み、荒川のゴールで1点を返し後半へ折り返す。後半、圧倒的にボールを支配した浦和が中央、両サイドを揺さぶり85分に庭田の同点ゴール、86分に後藤のゴールで逆転。ロスタイムにも後藤のダメ押しゴールにて、浦和が初代チャンピオンに輝いた。集客に関しては浦和レッドダイヤモンズサポーターが多く来場、熱心

な応援で場内の雰囲気盛り上げた。来年は韓国での開催を予定。

(44) なでしこリーグ 2009 1部 2部入替戦

開催期間 第1戦 11月8日(日)
第2戦 11月15日(日)
開催会場 第1戦 大阪／高槻市萩谷総合運動公園サッカー場
第2戦 福岡／小郡市陸上競技場
結果 第1戦 スペランツァ F.C. 高槻 0-3 福岡 J・アンクラス
第2戦 福岡 J・アンクラス 0-1 スペランツァ F.C. 高槻

※この結果、福岡 AN が次年度・なでしこリーグに昇格。FC 高槻はチャレンジリーグへ

次年度・2010年なでしこリーグ昇格をかけた入替戦はホーム&アウェイにて行われた。

第1戦、シュート数が上回る FC 高槻が再三福岡 AN ゴールを脅かすが、ネットを揺らすことができず、逆に福岡 AN は 34 分に正手選手が先制点をあげると、44 分には追加点、また終了間際の 89 分に 3 点目をあげ、3-0 で勝利。アウェイで大きな 3 得点を得て 2 戦目のホームに臨んだ。第2戦目はこの試合で 3 点差以上の勝利を目指す FC 高槻の必死の攻めを見せるが、福岡 AN・GK のミスをついた 1 点のみで、1-0 で試合終了。結果、福岡 AN が初の昇格を決定し、なでしこリーグ 10 番目の椅子を獲得した。

この結果次年度・2010年なでしこリーグは以下の 10 チームが決定した。

浦和レッドダイヤモンドレディース、日テレ・ベレーザ、東京電力女子サッカー部マリーゼ、INAC 神戸レオネッサ、ジェフユナイテッド市原・千葉レディース、岡山湯郷 Belle、アルビレックス新潟レディース、AS エルフェン狭山 FC、伊賀フットボールクラブくノ一、福岡 J・アンクラス

(45) 2009 チャレンジリーグ参入決定戦

開催期間 11月21日(土)～23日(月・祝)
開催会場 静岡／時之栖スポーツセンター 裾野グラウンド
結果 [A グループ] 1位 日本体育大学学友会女子サッカー部 (神奈川県)
2位 J F A アカデミー福島 (福島県)
3位 静岡産業大学女子サッカー部 (静岡県)
4位 HOYO スカラブ FC (大分県)
[B グループ] 1位 常盤木学園高等学校サッカー部 (宮城県)
2位 FOOTBALL CLUB AGUILAS (兵庫県)
3位 ASC adooma (北海道)
4位 イカイ FC レディース (静岡県)

※この結果、各グループ上位 3 位合計 6 チームが次年度・2010年チャレンジリーグに加盟が内定した。(順不同)

日本体育大学学友会女子サッカー部 (神奈川県) / J F A アカデミー福島 (福島県)
静岡産業大学女子サッカー部 (静岡県) / 常盤木学園高等学校サッカー部 (宮城県)
FOOTBALL CLUB AGUILAS (兵庫県) / ASC adooma (北海道)

次年度・2010年「チャレンジリーグ」に新たに加盟する 6 チームを決定する「2009 チャレンジリーグ参入決定戦」が 11 月 21 日から 23 日まで、静岡県／時之栖スポーツセンター・裾野グラウンドにて開催された。

新加盟チームの募集は 4 月から開始、6 月末に締切、その後申請のあったチームの書類審査、ヒヤリング、現地調査を行い、加盟審査委員会により加盟相当と認められた 8 チームにより今回の大会が行われることになった。8 チームを 4 チームずつ 2 グループに分け、1 回戦総当たりリーグ戦を戦った。

A グループは日体大とアカデミーが早くも 2 勝をあげて決定。最終日に 0 勝同士の静産大とスカラブが対戦、1-1 の引き分けであったが得失点差で上回った静産大が 3 位になった。また、B

グループも同じように常盤木と AGUILAS が 2 勝をあげ、adooma とイカイが最終日に 3 位争いを行い、4-1 で勝利した adooma が北海道で初めてのリーグ入りを決めた。

この結果、次年度 2010 年チャレンジリーグは別紙のと通りのチームとなった。

2010 年 チャレンジリーグ EAST

- 1 清水第八プレアデス
- 2 大原学園 JaSRA 女子サッカークラブ(長野パルセイロレディース)
- 3 日本体育大学学友会女子サッカー部
- 4 常盤木学園高等学校サッカー部
- 5 J F A アカデミー福島
- 6 ASC adooma

2010 年 チャレンジリーグ WEST

- 1 スペランツァ F.C. 高槻
- 2 バニーズ京都 SC
- 3 ジュ ブリーレ 鹿児島
- 4 ルネサンス熊本フットボールクラブ
- 5 FOOTBALL CLUB AGUILAS
- 6 静岡産業大学女子サッカー部

(46) 第 18 回全日本大学女子サッカー選手権大会

開催日時：11 月 28 日(土)～30 日(月)、2010 年 1 月 4 日(月)・1 月 6 日(水)

会 場：福島/J ヴィレッジ、東京/西が丘サッカー場、国立競技場

決 勝：2010 年 1 月 6 日(水)キックオフ 11:30 国立競技場

神奈川大学 1-2 (0-2) 早稲田大学

優 勝：早稲田大学 (関東 2・東京)

準 優 勝：神奈川大学 (関東 1・神奈川)

第 3 位：関東学園大学 (関東 4・群馬)、大阪体育大学 (関西 1・大阪)

フェアプレー賞：関東学園大学

入場者数：3,200 人

各地域代表 16 チームが参加する 1 次ラウンドを 11 月に J ヴィレッジで、決勝ラウンドは年明けの 1 月に準決勝を西が丘サッカー場、決勝戦を全日本大学選手権大会決勝と同日同会場の国立競技場で開催した。

決勝戦は、初優勝を目指す神奈川大学と、4 年ぶり 2 度目の優勝を目指す早稲田大学との対戦となった。

前半は早稲田大学が優勢に試合を進め、26 分、40 分と 2 点を先制し前半を折り返した。後半、神奈川大学が勢いを取り戻し果敢に早稲田ゴールに攻め上がり 73 分に 1 点を返した。しかしその後追加点をあげることが出来ずそのまま試合は終了し、早稲田大学が 4 年ぶり 2 度目の優勝を飾った。

表彰式は男子の決勝後に合同で行い、優勝の早稲田大学はもちろんのこと、準優勝の神奈川大学も笑顔で参加し、清々しい雰囲気の中でのセレモニーとなった。

(47) 第 18 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

開催日時：7 月 25 日(土)～8 月 1 日(土)

会 場：静岡/スポーツ交流の里ゆめりあ、ヤマハスタジアム他

決 勝：8 月 1 日(土)キックオフ 10:00 ヤマハスタジアム

常盤木学園高等学校 3-1 (1-1、2-0) 神村学園高等部

優 勝：常盤木学園高等学校 (東北 1・宮 城)

準 優 勝：神村学園高等部 (九州 1・鹿児島)

第 3 位：十文字中学高等学校 (関東 2・東 京)

〃 日本航空高等学校 (関東 3・山 梨)

フェアプレー賞：日本航空高等学校

入場者数：1,010人

磐田市での開催は6年目となり、総務省からスポーツ拠点作り開催地として認可されてからは5回目を迎えた。各地域を勝ち抜いた32チームのトーナメント方式にて実施された。

決勝戦は、2年連続3度目の優勝を狙う常盤木学園高校と4年ぶり3度目の優勝を目指す神村学園高等部との対戦となった。

前半は神村学園が果敢に攻めるもなかなか得点にならず、29分に常盤木学園が先制点を挙げた。前半終了間際には神村学園が同点に持ち込み1-1で前半を折り返した。後半は常盤木学園がフリーキックを2度直接ゴールへたたき込み神村学園を突き放し、3-1で優勝を飾った。

(48) JOCジュニアオリンピックカップ 第13回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会

開催日時：2010年1月3日(日)～8日(金)

会場：大分／大分スポーツ公園サッカーラグビー場他

決勝：2010年1月8日(金)大分スポーツ公園サッカーラグビー場Aコート

キックオフ 11:00

常盤木学園高等学校 0-1 (0-1)

浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディース

優勝：浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディース (関東1・埼玉)

準優勝：常盤木学園高等学校 (高校1・宮城)

第3位：日テレ・メニーナ (関東2・東京)

第3位：藤枝順心高等学校 (東海1・静岡)

フェアプレー賞：日テレ・メニーナ、藤枝順心高等学校

入場者数：200人

毎年、国体の後年開催として実施され、本年度は大分県での開催となった。出場16チームを4チームずつ4グループに分け1次ラウンドを行い、各グループ上位1チームが決勝トーナメントに進出する形式で行なわれた。

決勝戦は昨年と同様の顔合わせとなり、4連覇を目指す常盤木学園と初優勝を狙う浦和レッドダイヤモンズとの対戦となった。

前半30分に浦和レッドダイヤモンズが先制点を奪うと、その後は一進一退の攻防が続いた。最後まで気の抜けない熱戦を繰り広げ、浦和レッドダイヤモンズが常盤木学園の4連覇を阻止し初優勝を飾った。

(49) 第14回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

開催日時：8月6日(木)～11日(火)

会場：福島／Jヴィレッジ

決勝：8月11日(火) キックオフ：12:00

浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディース 5-2 (0-1、1-0、2-0、2-1)

神村学園中等部

優勝：浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディース (関東1・埼玉)

準優勝：神村学園中等部 (九州1・鹿児島)

第3位：NPO スフィアダ世田谷フットボールクラブ (関東3・東京)

〃 ジェフユナイテッド市原・千葉レディース U-15 (関東2・千葉)

フェアプレー賞：浦和レッドダイヤモンズジュニアユースレディース

入場者数：100人

単独チームのみが参加できる大会に変更して5回目となった。1次ラウンドは出場16チームを4グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位が決勝トーナメントへ進出するリーグ戦方式で行われた。

準決勝は、荒天の為開始時間を繰り下げて2試合同時キックオフで行った。2試合とも延長戦

までもつれ込む熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は2連覇を狙う浦和レッドダイヤモンドジュニアユースレディースと、鹿児島県選抜の時も含め9年連続決勝戦進出の神村学園中等部との対戦と、昨年と同じ顔合わせとなった。前日の試合開始時間繰り下げに伴い、決勝も開始時間を2時間繰り下げ行った。準決勝とは打って変わって晴れ気温が高い中での試合となった。前日に引き続き延長戦までもつれ込む戦いを制した浦和レッドダイヤモンドジュニアユースレディースが見事2年連続優勝を飾った。また、フェアプレー賞も同チームが受賞した。

(50)第21回全国レディースサッカー大会

開催日時：11月21日(土)～23日(月・祝)

会場：静岡/Jステップ他

決勝：11月23日(月・祝) Jステップ

アジュール兵庫 1-1 (0-1, 1-0, 0-0, 0-0) PK5-3 LFC TOYOTA

優勝：アジュール兵庫 (兵庫)

準優勝：LFC TOYOTA (愛知)

第3位：USED FC高槻スペランツァ (大阪)

フェアプレー賞：アジュール兵庫

MVP：田中 真由美 (アジュール兵庫)

入場者数：100人

レディース大会は、従来のママさん大会から現在の形式に変わって6回目となり、16チームが参加して開催された。毎年、元日本女子代表選手や元Lリーガーが参加し、年々チームのレベルが向上して競技性が高くなっている。

決勝戦は、アジュール兵庫とLFC TOYOTAの対戦となった。白熱した戦いとなり、PK戦までもつれ込んだがアジュール兵庫が見事2年連続の優勝を勝ち取った。

レディースエイト大会は24チームが各グループ毎のリーグ戦を行った。3日間の日程を無事に終了し、各グループ毎の優勝を決定した。

(51)第21回全国レディースサッカー大会 レディース・エイト(40歳以上)オープン大会

開催日時：11月21日(土)～23日(月・祝)

会場：静岡/清水総合運動場陸上競技場

優勝：横須賀シーガルズレディース (神奈川)、FCビクトリー青梅 (東京)、
FC習志野SPARROWS (千葉)、清水かつぼれ (静岡)、館ルナジェイナ (宮城)、
千葉・ベイサワーズ (千葉)

フェアプレー賞：甲賀忍 (滋賀)

入場者数：100人

レディースエイト大会は24チームが各グループ毎のリーグ戦を行った。3日間の日程を無事に終了し、各グループ毎の優勝を決定した。

(52)全国ビーチサッカー大会 2009

開催期間：10月24日(土)～25日(日)

開催会場：沖縄/宜野湾市トロピカルビーチ

結果：台風による荒天により、25日開催予定だった決勝トーナメント中止。

準決勝対戦カード

ソーマプライア (開催地枠) vs. 沖縄レキオス BS (九州地域第1代表)

東京レキオス BS (関東地域代表) vs. PELE/SPORVA21 (九州地域第3代表)

大会初日、12チームが3グループに分かれ、リーグ方式で一次ラウンドを戦った。試合を重ねるごとに拮抗した熱戦が各グループで繰り広げられ、結果、上記4チームが決勝トーナメント進

出を果たした。

しかし、翌 25 日は、進路が変わり沖縄へ接近してきた台風 20 号の影響による降雨・強風により、中止となった。

2 国内競技会（後援）

(1) 第 39 回全国自治体職員サッカー選手権大会

開催期間	7月24日(金)～29日(水)		
開催会場	群馬／前橋総合運動公園陸上競技・サッカー場ほか		
決勝戦	7月29日(水)前橋総合運動公園陸上競技・サッカー場 キックオフ 10:00 藤枝市役所 2-3 (0-2) 東京消防庁		
結果	優勝	東京消防庁	(東京都)
	準優勝	藤枝市役所	(静岡県)
	第3位	釧路市役所	(北海道)
	第3位	中津市役所	(大分県)

今回は群馬県前橋市にて開催された。大会期間中は連日暑い中で熱戦が繰り広げられた。

大会直前の山口県防府市・山口市の豪雨災害のため、山口市役所が辞退し 31 チームでの開催となった。

決勝戦は 4 年連続して同じカードで、3 年間準優勝に甘んじ優勝奪取を狙う東京消防庁と 25 回優勝経験のある藤枝市役所との強豪同士の対戦となった。

前半からゲームは接戦であった、チャンスを活かした東京消防庁が先制点を挙げ点を重ねた。後半藤枝市役所は追いついて同点に追いついたが、試合終了間際、東京消防庁が得点し 4 年ぶりの 2 回目の優勝を飾った。

来年度は、40 回記念として 48 チームに増やし、愛媛県松山市での開催となる。

(2) 第 43 回全国自衛隊サッカー大会

開催日時	: 4月19日(日)～29日(水・祝)		
会場	: 東京／西が丘サッカー場他		
決勝	: 4月29日(水・祝) 西が丘サッカー場 13:00 キックオフ 海自 厚木なかよし 1-1(0-0、0-0、1-0、0-1、PK4-2) 海自 大村航空基地・FC		
結果	: 優勝	海自 A. N. F. C (厚木なかよし)	(関東／神奈川)
	第2位	海自 大村航空基地・FC	(九州／長崎)
	第3位	空自 第3補給処サッカー部	(関東／埼玉)
	第4位	陸自 別府駐屯地サッカー部	(九州／大分)
入場者数	: 200 人		

今回は西が丘サッカー場で、開会式、決勝戦及び閉会式が実施された。期間中天候に恵まれ各ゲームとも熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は好天の中、共に初優勝を目指す海自厚木なかよしと海自大村航空基地との対戦となった。試合は接戦となり前半後半ともに 0 対 0 であった。

延長前半チャンスを活かした海自厚木なかよしが先制点を入れたが、延長後半海自大村航空基地が得点し PK 戦となった。PK は 4 対 2 で海自厚木なかよしが勝利を収めた。

(3) 第 25 回全国選抜フットサル大会

開催期間	7月17日(金)～19日(日)		
開催会場	石川／いしかわ総合スポーツセンター		
決勝	7月19日(日) 13:45 キックオフ		

東京都選抜 6-0 (3-0) 広島県選抜
入場者数 450人
優勝 東京都選抜
準優勝 広島県選抜
第3位 大阪府選抜、福岡県選抜

日本フットサル連盟主催大会を全国の地域での輪番制開催にして3年目。石川県では初めてのフットサルの全国大会となることから、(社)石川県サッカー協会、石川県フットサル連盟のほか、北信越サッカー協会、北信越フットサル連盟の皆様のご協力も得ながら、大会運営の準備を進めていただいた。

大会は、全国から12チームが集い、都道府県の選抜チームによる1次ラウンド+決勝ラウンドの試合で行われた。本大会にはFリーグチームの選手の出場資格はないため、地域フットサルリーグ、都道府県フットサルリーグで活動する選手を中心にチーム編成がされて、フットサルの普及と競技力の向上の両面を兼ね備えた大会となっている。

決勝戦は、東京都選抜と広島県選抜のカードとなった。東京都選抜は、FUGA TOKYOのメンバーを中心に個人の実力とチーム戦術に優れ、終始安定した力を出して、ワイルドカードで決勝ラウンドを勝ち上がってきた広島県選抜に対して、危なげない試合振りで勝利し、優勝を飾った。

(4) 第10回FUTSAL地域チャンピオンズリーグ

開催期間 2010年3月20日(土)~22日(月・振休)
開催会場 大阪/舞洲アリーナ
決勝 2010年3月22日(月・振休)
FUGA TOKYO 8-1 (3-1) 高槻松原F. C
入場者数 400人
優勝 FUGA TOKYO (関東リーグ1位/東京都)
準優勝 高槻松原F. C (関西リーグ2位/大阪府)
第3位 K'ntetsu Futsal Club (関西リーグ1位/大阪府)
VEEX KIMURA FUTSAL CLUB (北信越リーグ1位/石川県)
最優秀選手 星龍太 (FUGA TOKYO)
得点王 中西卓也 (高槻松原F. C)、大坪直樹 (SPORVA21)

第10回FUTSAL地域チャンピオンズリーグが大阪府・舞洲アリーナにて開催された。

本大会は全国各地域のフットサルリーグ上位12チームによる大会であり、前人未達の関東リーグ三連覇を達成したFUGA TOKYO(関東リーグ1位)を筆頭に、年々レベルアップが顕著な完成度の高いチームが各地域から出揃った。

決勝戦は圧倒的な攻撃力と存在感で1次ラウンド無敗通過したFUGA TOKYOと、1次ラウンドで対戦した高槻松原F. Cが再び顔を合わせた。

試合開始早々、相手選手のペナルティーエリア内でのハンドによるPKで難なく先制したFUGA TOKYOは、一旦は大会得点王となった高槻松原F. C中西選手の得点により同点に追い付かれるも、太見選手や星選手といったフィジカルに優れる選手のパワーで相手を圧倒し、前半終了時点でスコアを3-1とした。

後半も試合の流れは変わらず、FUGA TOKYOがそのポテンシャルの高さと多彩な攻撃力、FP関選手を中心とした体を張った懸命のディフェンスがスタンドで観戦する人々の視線を釘付けにし、最終的には8-1というスコアで勝利した。

なお、最優秀選手賞は星龍太選手(FUGA TOKYO)、得点王は中西卓也選手(高槻松原F. C)、大坪直樹選手(SPORVA21)が共に8得点という結果を残し、それぞれ栄冠に輝いた。

(5) トリムカップ2010 第2回全国女子選抜フットサル大会

開催期間 2010年3月26日(金)~28日(日)
開催会場 高知/県立県民体育館

決 勝 2010年3月28日(日) 東京都選抜 2-1 (1-0) 兵庫県選抜
入場者数 500人
優 勝 東京都選抜(関東地域代表)
準優勝 兵庫県選抜(関西地域A代表)
第3位 静岡県選抜(東海地域A代表)
三重県選抜(東海地域B代表)

トリムカップ2010第2回全国女子選抜フットサル大会が、昨年と同じ高知県立県民体育館にて開催された。

地域予選を勝ち抜いた9チームに加え、開催地枠の高知県選抜、チーム登録数1位、2位の東海、関西地域からさらに各1チーム、総勢12チームが集結し、3日間にわたる熱戦が繰り広げられた。

1次ラウンド初戦で昨年度優勝の兵庫県選抜と対戦した高知県選抜は、0-1の劣勢からGKのクリアランスに素早く反応した江澤選手が、走り込みながら目の覚めるようなハーフボレーシュートを叩き込み同点に追い付き、ディフェンディングチャンピオンから貴重な勝ち点1を獲得した。

大会前に積極的なチーム強化に努めた高知県選抜は、随所で成長した姿をみせ、その逞しい戦いぶりに会場を訪れた地元の人々から惜しめない拍手を浴びていた。

決勝戦は1次ラウンドの3試合で10得点1失点と安定した強さを遺憾なく発揮した東京都選抜と、ワイルドカードで決勝ラウンドに勝ち上がった兵庫県選抜が再び決勝のピッチで顔を合わせた。

テレビ中継や芸能人のエキシビジョンマッチが行われるなど、会場の雰囲気に変化したことがどちらに転ぶか注目されたが、互いの長所・短所を知り尽くしているチーム同士の戦いの中で、勝敗を決したのは東京都選抜の決定力であった。

後半、相手の反撃に遭い2-1の状況となっても、東京都選抜は冷静さを保ち、終了間際のピンチを乗り越え、見事昨年のリベンジを果たす結果となった。

(6) 第22回全国健康福祉祭サッカー交流大会(ねんりんピック北海道・札幌2009)

開催期間 9月5日(土)~7日(月)

開催会場 北海道/札幌ドーム、札幌サッカーアミューズメントパーク他

競技形式 グループリーグのみ実施

結 果 優勝 静岡県選抜(静岡県)、パルスFC(さいたま市)、千葉四十雀SC(千葉県)、
静岡市選抜(静岡市)、えひめ四十雀FC(愛媛県)、和歌山毬遊倶楽部(和歌山県)
岐阜県選抜(岐阜県)、愛知選抜(愛知県)、浜松怪童クラブ(浜松市)、
滋賀県選抜(滋賀県)、神戸市シニア選抜(神戸市)、広島市四十雀SC(広島市)、
大阪市選抜(大阪府)、京都市(京都市)

第22回を迎えた本大会は、「ねんりに 夢を大志を 青春を」をテーマに従来より1ヶ月早く、56チーム参加のもと札幌市で開催された。

天候は曇りで涼しく、絶好のサッカー日和となった。競技運営は(財)北海道サッカー協会によりスムーズに実施された。

60歳以上の選手が参加する本大会は、期間中ピッチの内外で積極的に交流が図られ、各チームとも親睦が深まり充実した大会となった。今回の最高齢者は92歳の選手の参加があった。

(7) 第19回全国高等学校定時制通信制サッカー大会

開催期間 8月7日(金)~11日(火)

開催会場 静岡/アウトソーシングスタジアム日本平ほか

決勝戦 8月11日(火)於 アウトソーシングスタジアム日本平 キックオフ18:00

参加校数 33チーム

決勝戦 秀英 3-0 (0-0) 神奈川工業

結 果 優 勝 秀英高等学校 (神奈川県代表)

準優勝 神奈川工業高等学校 (神奈川県代表)
第3位 伊勢崎工業高等学校 (群馬県代表)
宇都宮工業高等学校 (栃木県代表)
最優秀選手 岩原一広 (秀英)

第19回全国高等学校定時制通信制サッカー大会が、猛暑のなか静岡市の各会場で開催され、熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は、神奈川県代表校同士の戦いとなり、前半を両チーム無得点で折り返す緊迫した展開となった。

結果的には、後半に得点を重ねた秀英が3-0で神奈川工業を下して優勝を獲得したが、閉会式では両校の選手とも笑顔でメダルを受け取る清々しい姿が印象的であった。

(8) J A全農杯チビリンピック 小学生選抜8人制サッカー大会

開催期間：5月4日(月・祝)～5日(火・祝)

開催会場：神奈川/日産スタジアム、日産フィールド小机

決勝：5月5日(火・祝)日産スタジアム 13:15キックオフ

川崎フロンターレU-12 5-1(2-1、2-0、1-0) セレッソ大阪U-12

優勝：川崎フロンターレU-12 (関東・神奈川)

準優勝：セレッソ大阪U-12 (関西・大阪)

第3位：コンサドーレ札幌ユースU-12 (北海道)

山形FCジュニア (東北・山形)

チビリンピックは31回を迎え、全国大会として8人制を導入して以来7度目の開催となった。本大会は地域予選を勝ち抜いた9チームが参加し、2日間の熱戦を繰り広げた。

大会規程に3ピリオド制を導入して5回目となり、8人制の戦術がチームに定着し、試合レベルも更に向上してきた。

決勝戦は川崎フロンターレとグループリーグでのリベンジを狙うセレッソ大阪の白熱した展開となったが、各ピリオドで点を重ねた川崎フロンターレU-12が見事初優勝を獲得した。

なお、優勝した川崎フロンターレU-12は2010年3月に開催される「2002 F I F Aワールドカップ記念 第3回日韓ユース親善フェスティバル」に出場する。

(9) J F A地域ガールズ・エイト(U-12)大会

北海道

開催日時：9月26日(土)～27日(日)

会場：北海道/芦別市なまこ山総合運動公園芝生広場

参加：13チーム

東北

開催日時：10月24日(土)～25日(日)

会場：岩手/ふれあいの丘公園多目的運動広場

参加：16チーム

関東

開催日時：8月22日(土)～23日(日)

会場：群馬/草津町営総合運動場

参加：29チーム

北信越

開催日時：9月22日(火・祝)～23日(水・祝)

会場：長野/松本平広域公園球技場、松本市営サッカー場

参加：20チーム

東海

開催日時：2010年1月16日(土)～17日(日)

会場：三重/県営鈴鹿スポーツガーデン

- 参加：12 チーム
関西
開催日時：8月8日(土)～9日(日)
会場：和歌山／紀三井寺運動公園陸上競技場・球技場
参加：16 チーム
中国
開催日時：11月28日(土)～29日(日)
会場：島根／松江市営陸上競技場・補助競技場
参加：19 チーム
四国
開催日時：11月21日(土)～22日(日)
会場：香川／U-VILLAGE ドリームフィールド
参加：12 チーム
九州
開催日時：12月5日(土)～6日(日)
会場：鹿児島／薩摩川内市樋脇町丸山自然公園サッカー場
参加：16 チーム

3 国際競技会（国内開催、派遣）

(1) AFCチャンピオンズリーグ 2009

グループステージ

グループE：名古屋グランパス

【M1】3月10日(火) vs. 蔚山現代（韓国）

開催日時：3月10日(火)19:30

会場：韓国／蔚山ワールドカップスタジアム

対戦：名古屋グランパス 3-1 蔚山現代（韓国）

入場者数：3,156人

【M2】3月17日(火) vs. 北京国安（中国）

開催日時：3月17日(火)19:00

会場：愛知／名古屋市瑞穂陸上競技場

対戦：名古屋グランパス 0-0 北京国安（中国）

入場者数：7,374人

【M3】4月7日(火) vs. ニューカッスル・ジェッツ（オーストラリア）

開催日時：4月7日(火)19:00

会場：愛知／名古屋市瑞穂陸上競技場

対戦：名古屋グランパス 1-1 ニューカッスル・ジェッツ（オーストラリア）

入場者数：7,198人

【M4】4月22日(水) vs. ニューカッスル・ジェッツ（オーストラリア）

開催日時：4月22日(水)20:00

会場：オーストラリア／ニューカッスルスタジアム

対戦：名古屋グランパス 1-0 ニューカッスル・ジェッツ（オーストラリア）

入場者数：8,492人

【M5】5月6日(水・振休) vs. 蔚山現代（韓国）

開催日時：5月6日(水・振休)15:00

会場：愛知／名古屋市瑞穂陸上競技場

対戦：名古屋グランパス 4-1 蔚山現代（韓国）

入場者数：9,049人

【M6】5月20日(水) vs. 北京国安（中国）

開催日時：5月20日(水)19:00

会 場：中国／北京工人体育場
対 戦：名古屋グランパス 1-1 北京国安（中国）
入場者数：14,080人

グループF：ガンバ大阪（日本）

【M1】3月10日（火） vs. 山東魯能（中国）

開催日時：3月10日（火）19：00

会 場：大阪／万博記念競技場

対 戦：ガンバ大阪 3-0 山東魯能（中国）

入場者数：10,312人

【M2】3月17日（火） vs. FCソウル（韓国）

開催日時：3月17日（火）20：00

会 場：韓国／ソウルワールドカップスタジアム

対 戦：ガンバ大阪 4-2 FCソウル（韓国）

入場者数：11,197人

【M3】4月8日（水） vs. スリウィジャヤ（インドネシア）

開催日時：4月8日（水）19：00

会 場：大阪／万博記念競技場

対 戦：ガンバ大阪 5-0 スリウィジャヤ（インドネシア）

入場者数：10,249人

【M4】4月21日（火） vs. スリウィジャヤ（インドネシア）

開催日時：4月21日（火）19：00

会 場：インドネシア／ジャカ・バリンスタジアム

対 戦：ガンバ大阪 3-0 スリウィジャヤ（インドネシア）

入場者数：9,000人

【M5】5月6日（水・振休） vs. 山東魯能（中国）

開催日時：5月6日（水・振休）19：30

会 場：中国／山東ルーネンスタジアム

対 戦：ガンバ大阪 1-0 山東魯能（中国）

入場者数：20,132人

【M6】5月20日（水） vs. FCソウル（韓国）

開催日時：5月20日（水）19：00

会 場：大阪／万博記念競技場

対 戦：ガンバ大阪 1-2 FCソウル（韓国）

入場者数：6,861人

グループG：鹿島アントラーズ（日本）

【M1】3月11日（水） vs. 水原三星ブルーウイングス（韓国）

開催日時：3月11日（水）20：00

会 場：韓国／水原ワールドカップスタジアム

対 戦：鹿島アントラーズ 1-4 水原三星ブルーウイングス（韓国）

入場者数：14,126人

【M2】3月18日（水） vs. 上海申花（中国）

開催日時：3月18日（水）19：00

会 場：茨城／県立カシマサッカースタジアム

対 戦：鹿島アントラーズ 2-0 上海申花（中国）

入場者数：6,375人

【M3】4月7日（火） vs. アームド・フォーシズFC（シンガポール）

開催日時：4月7日（火）19：30

会 場：シンガポール／ジャラン ベサル スタジアム

対 戦：鹿島アントラーズ 4-1 アームド・フォーシズFC（シンガポール）

入場者数：4,406人

【M4】4月22日（水） vs. アームド・フォーシズFC（シンガポール）

開催日時：4月22日(水)19:00
会場：茨城／県立カシマサッカースタジアム
対戦：鹿島アントラーズ 5-0 アームド・フォーシズFC (シンガポール)
入場者数：6,027人

【M5】5月5日(火・祝) vs. 水原三星ブルーウイングス (韓国)

開催日時：5月5日(火・祝)15:00
会場：茨城／県立カシマサッカースタジアム
対戦：鹿島アントラーズ 3-0 水原三星ブルーウイングス (韓国)
入場者数：19,500人

【M6】5月19日(火) vs. 上海申花 (中国)

開催日時：5月19日(火)20:00
会場：中国／蛇口体育场
対戦：鹿島アントラーズ 1-1 上海申花 (中国)
入場者数：15,000人

グループH：川崎フロンターレ (日本)

【M1】3月11日(水) vs. 天津泰達 (中国)

開催日時：3月11日(水)19:00
会場：神奈川／等々力陸上競技場
対戦：川崎フロンターレ (日本) 1-0 天津泰達 (中国)
入場者数：12,125人

【M2】3月18日(水) vs. 浦項スティーラーズ (韓国)

開催日時：3月18日(水)19:30
会場：韓国／浦項スティーラヤード
対戦：川崎フロンターレ (日本) 1-1 浦項スティーラーズ (韓国)
入場者数：7,335人

【M3】4月8日(水) vs. セントラルコースト・マリナーズ(オーストラリア)

開催日時：4月8日(水)20:00
会場：オーストラリア／セントラルコースト・マリナーズスタジアム
対戦：川崎フロンターレ (日本) 5-0 セントラルコースト・マリナーズ(オーストラリア)
入場者数：9,419人

【M4】4月21日(火) vs. セントラルコースト・マリナーズ(オーストラリア)

開催日時：4月21日(火)19:00
会場：神奈川／等々力陸上競技場
対戦：川崎フロンターレ (日本) 2-1 セントラルコースト・マリナーズ(オーストラリア)
入場者数：8,419人

【M5】5月5日(火・祝) vs. 天津泰達 (中国)

開催日時：5月5日(火・祝)19:30
会場：中国／天津泰達球場
対戦：川崎フロンターレ (日本) 1-3 天津泰達 (中国)
入場者数：15,717人

【M6】5月19日(火) vs. 浦項スティーラーズ (韓国)

開催日時：5月19日(火)19:00
会場：神奈川／等々力陸上競技場
対戦：川崎フロンターレ (日本) 0-2 浦項スティーラーズ (韓国)
入場者数：13,633人

ラウンド16

開催日時：5月26日(火)20:55

会場：サウジアラビア／キングファハドインターナショナルスタジアム
対戦：アルヒラル (サウジアラビア) 0-0 (PK 3-4) ウム・サラル (カタール)
入場者数：17,000人

開催日時：5月27日(水)17:00
会場：イラン／アザディスタジアム
対戦：ピルズィアスレチック（イラン） 0-1 ブニョドコル（ウズベキスタン）
入場者数：95,225人

開催日時：5月27日(水)20:30
会場：サウジアラビア／プリンス・モハメド・ビン・ファハド スタジアム
対戦：イティファク（サウジアラビア） 1-2 パフタコル（ウズベキスタン）
入場者数：6,527人

開催日時：5月27日(水)20:55
会場：サウジアラビア／プリンス・アブドゥラ・アルファイサル スタジアム
対戦：アルイテハド（サウジアラビア） 2-1 アルシャバブ（サウジアラビア）
入場者数：18,000人

開催日時：6月24日(水)19:00
会場：愛知／名古屋市瑞穂陸上競技場
対戦：名古屋グランパス 2-1 水原三星ブルーウイングス（韓国）
入場者数：6,859人

開催日時：6月24日(水)19:00
会場：大阪／万博記念競技場
対戦：ガンバ大阪 2-3 川崎フロンターレ
入場者数：14,128人

開催日時：6月24日(水)19:00
会場：茨城／県立カシマサッカースタジアム
対戦：鹿島アントラーズ 2-2 (PK 4-5) FCソウル（韓国）
入場者数：8,069人

開催日時：6月24日(水)19:30
会場：韓国／スティーラーヤード
対戦：浦項スティーラーズ（韓国） 6-0 ニューカッスル・ジェッツ（オーストラリア）
入場者数：15,253人

準々決勝

【第1戦】9月23日（水・祝）または24日（木）
開催日時：9月23日(水・祝)18:45
会場：カタール／カタールスポーツクラブ
対戦：ウム・サラル（カタール） 3-2 FCソウル（韓国）
入場者数：7,139人

開催日時：9月23日（水・祝）15:00
会場：東京／国立競技場
対戦：川崎フロンターレ（日本） 2-1 名古屋グランパス（日本）
入場者数：17,939人

開催日時：9月23日（水・祝）17:00
会場：ウズベキスタン／JARスタジアム
対戦：ブニョドコル（ウズベキスタン） 3-1 浦項スティーラーズ（韓国）
入場者数：8,350人

開催日時：9月24日(木)18:30
会場：ウズベキスタン／パフタコールスタジアム
対戦：パフタコール（ウズベキスタン） 1-1 アルイテハド（サウジアラビア）
入場者数：14,000人

【第2戦】9月30日(水)

開催日時：9月30日(水)20:30
会場：韓国／ソウルワールドカップスタジアム
対戦：FCソウル（韓国） 1-1 ウム・サラル（カタール）
入場者数：15,348人

開催日時：9月30日(水)19:00
会場：愛知／名古屋市瑞穂陸上競技場
対戦：名古屋グランパス（日本） 3-1 川崎フロンターレ（日本）
入場者数：8,796人

開催日時：9月30日(水)20:10
会場：サウジアラビア／プリンス・アブドゥラ・アルファイサル スタジアム
対戦：アルイテハド（サウジアラビア） 4-0 パフタコール（ウズベキスタン）
入場者数：18,753人

開催日時：9月30日(水)18:30
会場：韓国／スティーラヤード
対戦：浦項スティーラズ（韓国） 4-1 ブニョドコル（ウズベキスタン）
入場者数：16,252人

準決勝

【第1戦】10月21日(水)

開催日時：10月21日(水)19:50
会場：サウジアラビア／プリンス・アブドゥラ・アルファイサル スタジアム
対戦：アルイテハド（サウジアラビア） 6-2 名古屋グランパス（日本）
入場者数：18,265人

開催日時：10月21日(水)19:30
会場：韓国／スティーラヤード
対戦：浦項スティーラズ（韓国） 2-0 ウム・サラル（カタール）
入場者数：15,635人

【第2戦】10月28日(水)

開催日時：10月28日(水)19:00
会場：愛知／名古屋市瑞穂陸上競技場
対戦：名古屋グランパス（日本） 1-2 アルイテハド（サウジアラビア）
入場者数：11,046人

開催日時：10月28日(水)18:00
会場：カタール／カタールスポーツクラブ
対戦：ウム・サラル（カタール） 1-2 浦項スティーラズ（韓国）
入場者数：9,200人

決勝

開催日時：11月7日(土)19:00 キックオフ
 会場：東京/国立競技場
 対戦：アルイテハド(サウジアラビア)1-2(0-0) 浦項スティーラーズ(韓国)
 入場者数：25,473人

セントラル開催となり初めてのアジアチャンピオンズリーグ決勝が、東京/国立競技場にて開催された。残念ながら日本のJクラブの進出は無かったが、準決勝で名古屋グランパスを破ったサウジアラビアのアルイテハドと韓国の浦項スティーラーズとの熱戦が繰り広げられた。

開始早々から一進一退の攻防が続く両チームは、前半を0-0で折り返した。後半に入ると浦項スティーラーズは、57分にノ・ビョンジン選手が、続く82分に韓国代表としてもプレーするキム・ヒョンイル選手がゴールを決め、試合を優位に進めた。アルイテハドも、74分にモハメド・ヌール選手が一矢報いたが、試合はそのまま2-1で浦項スティーラーズが勝利し、12月にUAEにて開催されるFIFAクラブワールドカップへの切符を手にした。

運営全般に関しては、(財)東京都サッカー協会及び国立競技場を中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終えることが出来た。

(2) 第25回ユニバーシアード競技大会(2009/ベオグラード)

(男子)

キャンプ	：6月15日(月)～6月21日(日)	オーストラリア
遠征期間	：6月24日(水)～7月12日(日)	セルビア
競技期間	：6月30日(火)～7月10日(金)	セルビア
対戦	：第1戦 6月30日(火) 日本代表 2-1(0-0) フランス代表	
	第2戦 7月2日(木) 日本代表 4-1(0-0) ブラジル代表	
	第3戦 7月4日(土) 日本代表 5-0(2-0) タイ代表	
	準々決勝 7月6日(月) 日本代表 0-0 PK3-2 セルビア代表	
	準決勝 7月8日(水) 日本代表 1-2(1-1) イタリア代表	
	3位決定戦 7月10日(金) 日本代表 1-0(1-0) イギリス代表	

(女子)

キャンプ	：6月20日(土)～23日(火)	静岡/Jステップ
遠征期間	：6月24日(水)～7月12日(日)	セルビア
競技期間	：6月30日(火)～7月10日(金)	セルビア
対戦	：第1戦 6月30日(火) 日本代表 3-0(0-0) アイルランド代表	
	第2戦 7月2日(木) 日本代表 0-0 フランス代表	
	第3戦 7月4日(土) 日本代表 1-1(1-1) ハンガリー代表	
	準々決勝 7月6日(月) 日本代表 1-0 中国代表	
	準決勝 7月8日(水) 日本代表 1-1(1-0) PK6-5 イギリス代表	
	決勝 7月10日(金) 日本代表 1-4(0-2) 韓国代表	

(3) 第17回日・韓・中ジュニア交流競技会

開催期間 8月22日(土)～29日(土)
 開催会場 韓国/木浦市 木浦国際サッカーセンター
 参加国 日本・韓国・中国・全南道選抜(開催地)
 (コンサドーレ札幌ユースU-18/北海道・プリンスリーグ北海道2009優勝チーム)

<対戦結果>

第1戦	：8月24日(月)コンサドーレ札幌ユース 3-0 (1-0) 韓国代表
第2戦	：8月26日(水)コンサドーレ札幌ユース 0-1 (0-1) 中国代表
第3戦	：8月27日(木)コンサドーレ札幌ユース 2-0 (1-0) 千葉市代表

(4) 日本高校選抜欧州遠征2009

開催期間：2010年3月27日(土)～4月7日(水)

場 所：スイス／ベリンツォーナ

チー ム：日本高校選抜

結 果：予選リーグ第1戦 1-2 vs スパルタ・プラハ (チェコ)
予選リーグ第2戦 1-2 vs FC バーゼル (スイス)
予選リーグ第3戦 1-4 vs スポルティンク・リスボン (ポルトガル)
7, 8位決定戦 2-1 vs ディナモ・ザグレブ (クロアチア)

順 位：優勝 Team Ticino (スイス)
2位 Sporting Lisbona (ポルトガル)
3位 Sparta Praga (チェコ)
4位 Gremio (ブラジル)
5位 FC Basel (スイス)
6位 Fulham (イングランド)
7位 日本高校選抜
8位 Dinamo Zagabria (クロアチア)

第88回全国高校サッカー選手権大会から選出された16名の選手がスイス・ベリンツォーナで開催された第70回ベリンツォーナ国際ユースサッカー大会に参加した。遠征に先立ち、日本国内で選考合宿・強化合宿・直前合宿を行い、ヨーロッパに入ってからドイツ・デュッセルドルフで調整合宿を張り万全の体制で臨んだ。予選リーグでは常に相手に先制を許す形での試合が続く順位決定戦のほうにまわったが、最終戦では攻撃的な姿勢を貫き勝利をし、最終的に7位で大会を終え無事に遠征を終え帰国した。

(5) 高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 優勝・準優勝チーム海外遠征

①ダラスカップ (優勝チーム)

開催期間 4月3日(金)～14日(火)

場 所 アメリカ／ダラス

チー ム 浦和レッドダイヤモンズユース

結 果 予選リーグ第1戦 1-6 vs フランクフルト (ドイツ)
予選リーグ第2戦 0-1 vs サンパウロ (ブラジル)
予選リーグ第3戦 3-1 vs ダラス・テキサnz (アメリカ)

高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会の優勝チームとして、アメリカ／ダラスにて開催された第30回ダラスカップに参加した。予選リーグ初戦を1勝2敗という成績で決勝トーナメントには出場できなかったが、現地のコーディネーターにより3試合の親善試合を行いホームステイによる滞在という貴重な経験をして無事帰国の途についた。

②SBCカップ (準優勝チーム)

開催期間 4月6日(月)～15日(水)

場 所 ドイツ／ラオプハイム

チー ム 名古屋グランパスU18

結 果 予選リーグ第1戦 1-0 vs イエテボリ (スウェーデン)
予選リーグ第2戦 0-1 vs ラオプハイム (ドイツ)
予選リーグ第3戦 1-3 vs ボーフム (ドイツ)
7, 8位決定戦 0-3 vs ベルン (スイス)

高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会の準優勝チームとして、ドイツ／ラオプハイムにて開催された第46回SBCカップに参加した。予選リーグ初戦を1-0と勝利した名古屋グランパスだが、第2, 3戦と敗れてしまい、順位決定戦にまわることとなった。順位決定戦では0-3と敗退し、8位という成績を収めて帰国した。

(6) マンチェスター・ユナイテッド・プレミアカップ
(J F Aプレミアカップ 2009 優勝チーム)

大会名：マンチェスターユナイテッドプレミアカップ 2009
期 間：8月2日(日)～10日(月)
開催地：イギリス/マンチェスター
参加チーム：ガンバ大阪ジュニアユース (J F Aプレミアカップ 2009 優勝)
ルール：試合時間 40分 (20×2)

【対戦結果】

<予選グループ結果>

ガンバ大阪ジュニアユース 1-1 Alta Loma Arsenal SC (アメリカ)
ガンバ大阪ジュニアユース 2-5 Sao Paulo (ブラジル)
ガンバ大阪ジュニアユース 0-3 Paris Saint Germain (フランス)
ガンバ大阪ジュニアユース 0-2 Manchester United (イギリス)
この結果、グループリーグ1分3敗によりCグループ5位となった。

<順位決定戦>

第1戦：ガンバ大阪ジュニアユース 2-2 (PK 3-4) MARCONI STALLIONS (オーストラリア)
第2戦：ガンバ大阪ジュニアユース 11-0 SALGAOCAR SC (インド)
この結果、20チーム中、19位となった。

(7) 2002 F I F Aワールドカップ記念 第3回日韓ユース親善フェスティバル

韓国国内で2009年より開始された育成年代におけるリーグ戦の影響で、参加チームのスケジュールの調整がつかず、当初3月に予定されていた本フェスティバルは、開催が見送られることとなった。

(8) スルガ銀行チャンピオンシップ 2009 OITA

期 日：8月5日(水) 19:00キックオフ
会 場：大分/九州石油ドーム
対 戦：大分トリニータ 1-2 (0-0) SC インテルナシオナル (ブラジル)
入場者数：16,505人

南米のコパ・スダメリカーナの勝者とナビスコカップの勝者が戦う「スルガ銀行チャンピオンシップ」の第2回大会が大分・九州石油ドームにて開催された。

クラブ創立100年の歴史を持ち、2006年には日本で開催されたF I F AクラブワールドカップでFCバルセロナ(スペイン)を破り世界一に輝いた実績を持つ強豪SC インテルナシオナルを迎え撃つ大分トリニータは、序盤から積極的に攻撃を仕掛けていったが、徐々に主導権を握られ、試合を優位に進められた。後半に入り、50分にアレックスandro選手、59分にはアンドレジーニョ選手に得点を決められた大分トリニータは、60分に東慶悟選手が1点を取り返し、その後も怒涛の攻撃を見せた。しかし、SC インテルナシオナルが最後まで守り抜き優勝トロフィーをブラジルへ持ち帰った。

来場者サービスとして、大会リーフレット・特製うちわを来場者全員に配布した。コンコース上ではプレゼンティングスポンサーであるスルガ銀行のキャンペーンブースを出展し好評を博した。また、特別協賛であるヤマザキナビスコ社の「ナビスコお菓子」、「ナビスコ特製ナップザック」を先着7,500名にそれぞれ配布した。運営全般に関しては、(社)大分県サッカー協会及び九州石油ドームを中心とする多くの方々のご尽力もあり、無事に終わることが出来た。

Ⅲ 指導普及事業

寄附行為第4条

- 一 サッカー技術の研究及び指導に関すること
 - 二 サッカー競技規則に関すること
 - 三 審判技術の研究及び審判員の養成並びに登録に関すること
 - 四 地域社会におけるサッカーグループの育成強化に関すること
 - 九 アマチュア規定の制定並びに役員及び選手のアマチュア資格の認定に関すること
 - 十 サッカー競技に関する公式記録の作成及び保存に関すること
 - 十三 サッカーに関する指導資料等の刊行に関すること
- に基づく事業

(1) ナショナルトレセンU-12 [9 地域開催]

[北海道] 期 間：10月23日(金)～26日(月)

場 所：北海道／札幌サッカーアミューズメントパーク

参加者：選手39名、指導者講習会受講者22名

[東北] 期 間：7月18日(土)～20日(月・祝)

場 所：岩手／安比高原 ASPAサッカー場

参加者：選手201名

期 間：9月19日(土)～21日(月・祝)

場 所：岩手／安比高原 ASPAサッカー場

参加者：選手120名、指導者講習会受講者38名

期 間：10月9日(金)～12日(月・祝)

場 所：青森／岩木青少年スポーツセンター

参加者：選手76名

[関東] 期 間：9月5日(土)～6日(日)

場 所：茨城／鹿島ハイツ

参加者：選手80名

期 間：12月26日(土)～29日(火)

場 所：茨城／鹿島ハイツ

参加者：選手86名、指導者講習会受講者115名

[北信越] 期 間：10月9日(金)～12日(月・祝)

場 所：長野／松本平広域公園アルウィン

参加者：選手44名、指導者講習会受講者29名

[東海] 期 間：10月9日(金)～12日(月・祝)

場 所：静岡／ヤマハリゾートつま恋

参加者：選手64名、指導者講習会受講者41名

[関西] 期 間：8月25日(火)～27日(木)

場 所：和歌山／上富田スポーツセンター

参加者：選手114名

期 間：12月25日(金)～28日(月)

場 所：滋賀／ビッグレイク
参加者：選手 66 名、指導者講習会受講者 39 名

[中国] 期 間：12 月 25 日(金)～28 日(月)
場 所：広島／ビッグアーチ
参加者：選手 45 名、指導者講習会受講者 52 名

[四国] 期 間：12 月 19 日(土)～21 日(月)
場 所：高知／春野総合運動公園
参加者：選手 44 名、指導者講習会受講者 45 名

期 間：2010 年 3 月 20 日(土)～22 日(月・振休)
場 所：愛媛／野外活動センター
参加者：選手 44 名、指導者講習会受講者 23 名

[九州] 期 間：10 月 10 日(土)～12 日(月・祝)
場 所：大分／由布市湯布院スポーツセンター
参加者：選手 54 名

期 間：12 月 26 日(土)～29 日(火)
場 所：熊本／大津町運動公園
参加者：選手 58 名、指導者講習会受講者 39 名

(2) ナショナルトレセンU-14 [3 地域開催／同時開催]

前期 [東日本]

期 間：5 月 20 日(水)～24 日(日)
場 所：福島／J ヴィレッジ
参加者：選手 57 名

[中日本]

期 間：5 月 20 日(水)～24 日(日)
場 所：長野／松本平広域公園アルウィン
参加者：選手 50 名

[西日本]

期 間：5 月 20 日(水)～24 日(日)
場 所：大分／大分スポーツ公園
参加者：選手 56 名

後期 [東日本]

期 間：11 月 19 日(木)～23 日(月・祝)
場 所：福島／J ヴィレッジ
参加者：選手 61 名、指導者講習会受講者 15 名

[中日本]

期 間：11 月 19 日(木)～23 日(月・祝)
場 所：静岡／時之栖スポーツセンター
参加者：選手 60 名、指導者講習会受講者 13 名

[西日本]

期 間：11 月 19 日(木)～23 日(月・祝)
場 所：熊本／大津町運動公園
参加者：選手 58 名

(3) ナショナルトレーニングキャンプU-16 [東西開催／同時開催]

- 前期 [東日本]
期 間：8月26日(水)～30日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：選手40名
- [西日本]
期 間：8月26日(水)～30日(日)
場 所：大分/スポーツ公園
参加者：選手39名
- 後期 [東日本]
期 間：11月19日(木)～23日(月・祝)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：選手41名、指導者講習会受講者16名
- [西日本]
期 間：11月19日(木)～23日(月・祝)
場 所：兵庫/アスコザパーク TANBA
参加者：選手40名、指導者講習会受講者11名

(4) U-17 地域対抗戦

[地域トレーニングキャンプ]

[北海道]

期 間：9月8日(火)～10日(木)
場 所：北海道/札幌サッカーアミューズメントパーク
参加者：20名

期 間：11月7日(土)～8日(日)
場 所：北海道/札幌サッカーアミューズメントパーク
参加者：20名

期 間：12月11日(金)～12日(土)
場 所：静岡/時之栖スポーツセンター
参加者：18名

[東 北]

期 間：8月29日(土)～30日(日)
場 所：青森/岩木山総合公園
参加者：26名

期 間：11月13日(金)～15日(日)
場 所：福島/JFAアカデミー福島
参加者：17名

[関 東]

期 間：9月21日(月・祝)～23日(水・祝)
場 所：茨城/鹿島ハイツ
参加者：26名

期 間：12月11日(金)～12日(土)
場 所：静岡/時之栖スポーツセンター
参加者：20名

[北信越]

期 間：7月15日(水)～16日(木)

場 所：新潟／アルビレッジ

参加者：19名

期 間：12月11日(金)～12日(土)

場 所：静岡／時之栖スポーツセンター

参加者：20名

期 間：2010年3月21日(日・祝)～22日(月・振休)

場 所：新潟／アルビレッジ

参加者：20名

[東 海]

期 間：12月5日(土)～6日(日)

場 所：静岡／藤枝明誠高校

参加者：選手24名

期 間：12月11日(金)～12日(土)

場 所：静岡／時之栖スポーツセンター

参加者：20名

[関 西]

期 間：7月23日(木)～24日(金)

場 所：大阪／関西大学

参加者：24名

期 間：11月14日(土)～15日(日)

場 所：大阪／関西大学

参加者：30名

期 間：12月11日(金)～12日(土)

場 所：静岡／時之栖スポーツセンター

参加者：20名

[中 国]

期 間：8月13日(木)～14日(金)

場 所：広島／千代田運動公園

参加者：25名

期 間：11月28日(土)～29日(日)

場 所：広島／千代田運動公園

参加者：26名

[四 国]

期 間：9月12日(土)～13日(日)

場 所：徳島／鳴門工業高校

参加者：39名

期 間：12月11日(金)～12日(土)

場 所：静岡／時之栖スポーツセンター
参加者：20名

[九州]

期 間：6月22日(月)～24日(水)
場 所：大分／大分スポーツ公園
参加者：30名

期 間：11月14日(土)～15日(日)
場 所：大分／鯛生スポーツセンター
参加者：20名

[U-17 地域対抗戦 2009]

期 間：12月12日(土)～14日(月)
場 所：静岡／時之栖スポーツセンター
参加者：176名

[U-17 地域対抗戦 選抜 沖縄高校招待サッカー]

期 間：2010年3月25日(木)～28日(日)
場 所：沖縄／うるま市運動公園陸上競技場
参加者：19名

(5) ナショナルトレセン女子U-15

期 間：12月19日(土)～22日(火)
場 所：福島／Jヴィレッジ
参加者：選手162名(北海道14名／東北14名／関東22名／北信越14名／東海18名／関西18名／中国14名／四国14名／九州18名／JFAアカデミー福島16名)
指導者講習会受講者：50名

(6) ナショナルトレセンコーチ研修会

JFAのトレセン活動や指導者養成事業に関わる指導者のレベルアップを目的に、様々なテーマの実技・指導実践・講義を実施した。

期 間：4月20日(月)～23日(木)
場 所：静岡／時之栖スポーツセンター
参加者：40名

期 間：9月14日(月)～16日(水)
場 所：静岡／時之栖スポーツセンター
参加者：41名

(7) 都道府県トレセンスタッフ研修会

都道府県のトレセン活動に関わる指導者のレベルアップを目的に、ナショナルトレセンメニューの落とし込み、講義や指導実践を内容とした9地域毎の研修会を実施した。

(8) 47FAユースダイレクター研修会

JFA 47FAユースダイレクター研修①

期 間：5月29日(金)～31日(日)
場 所：JFAハウス、千葉／日本エアロビクスセンター

内 容：主にリーグ戦をテーマにした研修、講義、ディスカッション等
参加者：41名

J F A 47 F A コースダイレクター研修②

期 間：2010年2月5日(金)～7日(日)

場 所：静岡／時之栖スポーツセンター

内 容：主にリーグ戦をテーマにした研修、講義、ディスカッション等

参加者：42名

(9) U-12 モデル地区トレセン

生活圏内でのU-12地区トレセンにおいて、地区トレセンの向上・充実、地域全体のレベルアップ、周囲への発信拠点を目的として、17地区で実施した。

(10) 地域トレセン支援

強化育成資金	9地域・47都道府県に各100万円
U16地区トレセンリーグ	11都道府県FA(継続5年目)
U16地域リーグ	8地域FA(継続5年目)
9地域トレセンスタッフ研修会	9地域FA(継続5年目)
9地域GKキャンプ	8地域FA(継続3年目)

(11) 地域女子トレセンコーチ研修会

期 間：6月5日(金)～7日(日)

場 所：静岡／時之栖スポーツセンター

参加者：27名

(12) 地域トレセン(トレーニングセンター)

9地域で各地域技術委員会・女子委員会を運営主体として、ナショナルトレセンコーチと協力の上、選手の発掘・育成、強化指導指針に基づいた選手の一貫指導、指導者養成、情報伝達、他の年代との交流等の活動を中心にトレセンを開設、運営した。

(13) 都道府県トレセン(トレーニングセンター)

47都道府県で各地域技術委員会・女子委員会を運営主体として、ナショナルトレセンコーチと協力の上、選手の発掘・育成、強化指導指針に基づいた選手の一貫指導、指導者養成、情報伝達、他の年代との交流等の活動を中心にトレセンを開設、運営した。

(14) なでしこチャレンジプロジェクト

期間：10月12日(月)～15日(木)

福島／Jヴィレッジ

期間：11月10日(火)～14日(土)

福島／Jヴィレッジ

(15) U-18/U-15 GKキャンプ

期 間：10月16日(金)～18日(日)

場 所：福島／Jヴィレッジ

参加者：U-18 10名/U-15 10名

(16) スーパー少女プロジェクト

[セレクションキャンプ]

期 間：5月22日(金)～24日(日)

場 所：福島／Jヴィレッジ

参加者：GK 28名

[トレーニングキャンプ]

期 間：7月22日(水)～24日(金)
場 所：新潟／アルビレツジ
参加者：G K 15名

期 間：9月21日(月・祝)～23日(水・祝)
場 所：茨城／鹿島ハイツ スポーツプラザ
参加者：G K 13名

期 間：2010年1月18日(月)～20日(水)
場 所：岡山／岡山県総合グラウンド
参加者：G K 16名

期 間：2010年2月5日(金)～7日(日)
場 所：大分／野口原総合運動場
参加者：G K 15名

期 間：2010年3月5日(金)～7日(日)
場 所：静岡／Jステップ
参加者：G K 20名

(17) J F A エリートプログラム

U-14 トレーニングキャンプ

期 間：9月23日(水・祝)～27日(日)
場 所：青森／岩木青少年スポーツセンター
参加者：22名

U-14 韓国遠征(J O C 日韓競技力向上スポーツ交流事業)

期 間：12月16日(水)～21日(月)
場 所：韓国／坡州(パジュ) ナショナルフットボールセンター
参加者：20名

U-13 トレーニングキャンプ(J O C 日韓競技力向上スポーツ交流事業)

期 間：7月1日(水)～5日(日)
場 所：福島／J ヴィレツジ
参加者：20名

U-13 トレーニングキャンプ・ジュビロカップ

期 間：12月27日(日)～30日(水)
場 所：静岡／ヤマハリゾートつま恋
参加者：22名

(18) J F A エリートプログラム [女子]

U-14/13 韓国遠征(J O C 日韓競技力向上スポーツ交流事業)

期 間：10月16日(金)～21日(水)
場 所：韓国／坡州(パジュ) ナショナルフットボールセンター
参加者：20名

U-14/13 トレーニングキャンプ(J O C 日韓競技力向上スポーツ交流事業)

期 間：9月19日(土)～23日(水・祝)

場 所：福島/J ヴィレッジ

参加者：21名

(19) U-13 日本選抜 AFC Asia Youth U-13 Festival of Football

遠征期間：4月21日(火)～28日(火)

競技期間：4月23日(木)～27日(月)

場 所：中国/北京

参加者：22名

(20) U-14/13 日本女子選抜 AFC Girls U-14 Festival

遠征期間：6月23日(火)～7月1日(水)

競技期間：6月26日(金)～30日(火)

場 所：ベトナム/ホーチミン

参加者：21名

(21) J F A アカデミー福島

男子は1期生(高校1年)15名、2期生(中学3年)15名、3期生(中学2年)15名、4期生(中学1年)15名、合計60名が在籍。

女子は1期生(高校3年/5名、高校2年/5名、高校1年8名)18名、2期生(中学3年)5名、3期生(中学2年)5名、4期生(中学1年)6名、合計34名が在籍。年間を通じて、大会やリーグ戦参加、トレーニング、J F Aプログラム等をおこなった。

(22) J F A アカデミー熊本宇城

男子1期生(中学1年)18名が在籍。年間を通じて、トレーニングやJ F Aプログラム等をおこなった。

(23) J F A アカデミー福島 2010年度入学者選抜試験

【男子】志願者：512名

1次	8月25日(火)	東京/東京ヴェルディ
	8月26日(水)	東京/東京ヴェルディ
	8月28日(金)	滋賀/ビッグレイク 野洲川歴史公園サッカー場
	8月29日(土)	福島/J F A アカデミー福島 広野グラウンド

※1次選考試験合格者：248名

2次	9月12日(土)	東京/東京ヴェルディ
	9月13日(日)	東京/東京ヴェルディ
	9月22日(火・祝)	福岡/福岡フットボールセンター
	9月23日(水・祝)	福島/J F A アカデミー福島 広野グラウンド

※2次選考試験合格者：64名

3次	10月17日(土)～18日(日)	東京/味の素ナショナルトレーニングセンター
----	------------------	-----------------------

※3次選考試験合格者：32名

最終	11月6日(金)～8日(日)	福島/J ヴィレッジ
----	----------------	------------

※最終選考試験合格者：15名

【女子】志願者：136名

1次	8月22日(土)	滋賀/ビッグレイク 野洲川歴史公園サッカー場
	8月29日(土)	東京/東京ヴェルディ
	8月30日(日)	福島/J ヴィレッジ

※1次選考試験合格者：43名

2次	10月2日(金)～4日(日)	福島/J ヴィレッジ
----	----------------	------------

※2次選考試験合格者：25名
最終 11月7日(土)～9日(月) 福島/Jヴィレッジ
※最終選考試験合格者：6名

(24) J F A アカデミー熊本宇城 2010年度入学者選抜試験

志願者：70名

1次 8月22日(土) 熊本/宇城市立ふれあいスポーツセンター
8月29日(土) 熊本/宇城市立ふれあいスポーツセンター
8月30日(日) 熊本/宇城市立ふれあいスポーツセンター

※1次選考試験合格者：44名

2次 9月12日(土)～13日(日) 熊本/宇城市立ふれあいスポーツセンター
9月19日(土)～20日(日) 熊本/宇城市立ふれあいスポーツセンター

※2次選考試験合格者：30名

最終 10月23日(金)～25日(日) 熊本/宇城市立ふれあいスポーツセンター

※最終選考試験合格者：17名

(25) 特別指定選手制度

以下の16名が認定され、活動した。

①高橋 秀人 (東京学芸大学蹴球部)	受入先：F C 東京
②岡根 尚哉 (早稲田大学ア式蹴球部)	受入先：清水エスパルス
③河井 陽介 (慶応義塾大学体育会サッカー部)	受入先：清水エスパルス
④河田 晃兵 (福岡大学サッカー部)	受入先：サガン鳥栖
⑤永井 謙佑 (福岡大学サッカー部)	受入先：アビスパ福岡
⑥宮路 洋輔 (福岡大学サッカー部)	受入先：アビスパ福岡
⑦ハウバート・ダン (愛知学院大学サッカー部)	受入先：京都サンガF. C
⑧楠神 順平 (同志社大学体育会サッカー部)	受入先：川崎フロンターレ
⑨本城 宏紀 (福岡教育大学サッカー部)	受入先：サガン鳥栖
⑩奥野 博亮 (仙台大学サッカー部)	受入先：ベガルタ仙台
⑪田中 順也 (順天堂大学蹴球部)	受入先：柏レイソル
⑫中野 圭 (高知大学体育会サッカー部)	受入先：愛媛F C
⑬山内 智裕 (東海学園大学サッカー部)	受入先：F C 岐阜
⑭宇賀神 友弥 (流通経済大学体育局サッカー部)	受入先：浦和レッドダイヤモンズ
⑮三平 和司 (神奈川大学体育会サッカー部)	受入先：湘南ベルマーレ
⑯松本 拓也 (順天堂大学蹴球部)	受入先：湘南ベルマーレ

(26) 女子特別指定選手制度

以下の2名が認定され、活動した。

①小山 季絵 (早稲田大学ア式蹴球部)	受入先：東京電力女子サッカー部マリーゼ
②浜田 遥 (J F A アカデミー福島)	受入先：大原学園 JaSRA 女子サッカー部

(27) 全国技術委員長会議

期 日：2010年2月20日(土)～21日(日)

場 所：J F A ハウス

参加者：47名

(28) 公認S級コーチ養成講習会 (23名)

短期講習会①	8月22日(土)～27日(木)	福島/Jヴィレッジ
集中講習会①	8月31日(月)～9月3日(木)	三菱養和・NTC・J F A
集中講習会②	9月7日(月)～10日(木)	三菱養和・NTC・J F A
集中講習会③	9月14日(月)～17日(木)	三菱養和・NTC・J F A

集中講習会④	9月24日(木)～25日(金)	三菱養和・NTC・JFA
集中講習会⑤	9月28日(月)～10月1日(木)	三菱養和・NTC・JFA
短期講習会②	10月5日(月)～8日(木)	福島/Jヴィレッジ
集中講習会⑥	10月13日(火)～15日(木)	三菱養和・NTC・JFA
集中講習会⑦	10月19日(月)～22日(木)	三菱養和・NTC・JFA
集中講習会⑧	10月26日(月)～29日(木)	三菱養和・NTC・JFA
集中講習会⑨	11月4日(水)～5日(木)	三菱養和・NTC・JFA
集中講習会⑩	11月9日(月)～12日(木)	三菱養和・NTC・JFA
集中講習会⑪	11月16日(月)～19日(木)	三菱養和・NTC・JFA
最終試験	11月24日(火)～27日(金)	福島/Jヴィレッジ
インターシップ	12月1日(火)～2010年3月31日(水)	海外クラブ 2週間・Jクラブ 1週間

(29) 公認A級コーチジェネラル養成講習会(3コース：6泊7日×2)

第1コース (30名)	前期	7月7日(火)～13日(月)	福島/Jヴィレッジ
	後期	12月5日(土)～11日(金)	静岡/Jステップ
第2コース (30名)	前期	7月21日(火)～7月27日(月)	新潟/十日町
	後期	11月28日(土)～12月4日(金)	静岡/時之栖
第3コース (31名)	前期	6月18日(木)～24日(水)	福島/Jヴィレッジ
	後期	12月4日(金)～10日(木)	静岡/時之栖

(30) 公認A級コーチU12養成講習会

第1コース (27名)	前期	6月15日(月)～20日(土)	福島/広野
	後期	11月11日(水)～15日(日)	福島/広野
第2コース (19名)	前期	6月30日(火)～7月5日(日)	熊本/宇城
	後期	11月27日(金)～12月1日(火)	熊本/宇城

(31) 公認B級コーチ養成コース(専門15コース：5泊6日×2、共通3コース：5泊6日×1)
(専門科目)

第1コース (26名)	前期	7月21日(火)～26日(日)	北海道/SSAP
	後期	10月5日(月)～10日(土)	北海道/SSAP
第2コース (33名)	前期	7月13日(月)～18日(土)	福島/Jヴィレッジ
	後期	11月28日(土)～12月3日(木)	福島/Jヴィレッジ
第3コース (33名)	前期	6月28日(日)～7月3日(金)	茨城/鹿嶋
	後期	12月8日(火)～13日(日)	茨城/鹿嶋
第4コース (32名)	前期	6月15日(月)～20日(土)	茨城/鹿嶋
	後期	12月5日(土)～12月10日(木)	茨城/鹿嶋
第5コース (31名)	前期	7月21日(火)～26日(日)	新潟/アルビレレッジ
	後期	11月30日(月)～12月5日(土)	新潟/アルビレレッジ
第6コース (31名)	前期	7月6日(月)～11日(土)	静岡/時之栖
	後期	12月14日(月)～12月19日(土)	静岡/時之栖
第7コース (33名)	前期	7月6日(月)～7月11日(土)	兵庫/淡路島
	後期	11月30日(月)～12月5日(土)	兵庫/淡路島
第8コース (31名)	前期	7月20日(月・祝)～25日(土)	広島/千代田
	後期	12月13日(日)～18日(金)	広島/広島スタジアム
第9コース (30名)	前期	6月29日(月)～7月4日(土)	高知/春野
	後期	11月9日(月)～11月14日(土)	高知/春野
第10コース (33名)	前期	6月8日(月)～13日(土)	鹿児島/IGR京セラ
	後期	11月30日(月)～12月5日(土)	鹿児島/IGR京セラ
第11コース (28名)	前期	6月12日(金)～17日(水)	静岡/時之栖
	後期	1月14日(木)～19日(火)	静岡/時之栖
第12コース (35名)	前期	12月20日(日)～25日(金)	静岡/時之栖
	後期	1月8日(金)～13日(水)	静岡/時之栖
第13コース	前期	8月24日(月)～29日(土)	東京/FC東京

(35名)	後期	1月18日(月)～23日(土)	東京/FC東京
第14コース	前期	7月6日(月)～11日(土)	新潟/アルビレツジ
(30名)	後期	11月24日(火)～29日(日)	新潟/アルビレツジ
第15コース	前期	10月9日(金)～14日(水)	沖縄/那覇
(27名)	後期	1月22日(金)～27日(水)	沖縄/那覇
(共通科目)			
Eラーニングコース		7月～11月/各自PCで受講	12月に実技試験(1泊2日)
集合講習コース		1コース(63名) 11月18日(水)～23日(月・祝)	静岡/時之栖
		2コース(68名) 12月14日(月)～19日(土)	静岡/時之栖

(32) 公認C級コーチ養成講習会

4月～2010年3月

47都道府県、Jリーグ

※女子：公認C級コーチ養成講習会（JFA主催、Lリーグ主管）(19名)

2010年2月3日(水)～7日(日)

静岡/磐田

(33) 公認D級コーチ養成講習会

4月～2010年3月

47都道府県

(34) 公認ゴールキーパーA級コーチ養成講習会(10名)

2010年1月12日(火)～17日(日)

静岡/Jステップ

(35) 公認ゴールキーパーB級コーチ養成講習会(26名)

2010年1月20日(水)～24日(日)

静岡/Jステップ

(36) 公認ゴールキーパーC級コーチ養成講習会

第1コース(30名) 7月3日(金)～5日(日)

福島/Jヴィレッジ

第2コース(31名) 7月24日(金)～26日(日)

静岡/時之栖

第3コース(29名) 9月19日(土)～21日(月・祝)

北海道/帯広

第4コース(31名) 10月2日(金)～4日(日)

茨城/鹿嶋

第5コース(28名) 2010年1月9日(土)～11日(日)

愛媛/南海放送サパーク運動広場

第6コース(32名) 2010年1月22日(金)～24日(日)

広島/安芸郡

(37) 公認キッズリーダー養成講習会

4月～2010年3月 47都道府県

(38) 公認フットサルC級コーチ養成講習会

第1コース(16名) 12月18日(金)～20日(日)

北海道/茅部郡

第2コース(18名) 2010年1月9日(土)～11日(月・祝)

高知/高知市

第3コース(24名) 2010年1月15日(金)～17日(日)

新潟/新潟市

第4コース(23名) 2010年1月22日(金)～24日(日)

兵庫/神戸市

第5コース(24名) 2010年2月5日(金)～7日(日)

神奈川/箱根町

第6コース(23名) 2010年2月26日(金)～28日(日)

広島/福山市

第7コース(23名) 2010年3月26日(金)～28日(日)

宮城/黒川郡

(39) 公認S級コーチリフレッシュ研修会

第1コース(19名) 4月27日(月)

福岡/福岡市

第2コース(98名) 11月30日(月)

JFA

第3コース(86名) 2010年1月29日(金)

JFA

(40) 公認A・B級コーチリフレッシュ研修会

4月～2010年3月 9地域

- (41) 公認ゴールキーパーコーチリフレッシュ研修会
 関東コース(19名) 11月28日(土)～29日(日) 千葉/日本エアロビクスセンター
 関西コース(30名) 11月28日(土)～29日(日) 大阪/関西医療大学
- (42) 公認指導者海外研修会
 プレミア研修(17名) 8月21日(金)～30日(日) イギリス/リバプール、ロンドン
- (43) 公認A級インストラクター研修会(9名)
 前期 5月12日(火)～14日(木) 新潟/JAPANサッカーカレッジ
 後期 10月19日(月) 東京/西が丘
- (44) 公認B級インストラクター研修会(49名)
 前期 5月9日(土)～10日(日) 静岡/時之栖
 後期 8月10日(月)～11日(火) 静岡/時之栖
- (45) 公認47FAチーフインストラクター研修会
 第1コース 前期 6月5日(金)～7日(日) 福島/Jヴィレッジ
 (40名) 後期 10月17日(土)～18日(日) 福島/Jヴィレッジ
 第2コース 前期 6月12日(金)～14日(日) 福島/Jヴィレッジ
 (51名) 後期 10月24日(土)～25日(日) 福島/Jヴィレッジ
- (46) 公認キッズリーダーインストラクター研修会
 第1コース(39名) 5月15日(金)～17日(日) 静岡/Jステップ
 第2コース(55名) 6月12日(金)～14日(日) 静岡/時之栖
- (47) JFAインターナショナル コーチングコース (AFC加盟協会向け) (28名)
 2010年2月27日(土)～3月5日(金) 福島/Jヴィレッジ
- (48) 公認指導者国内研修会
 全日本少年大会(149名) 8月7日(金) 東京/西が丘
 全日本女子ユース(U-15)選手権大会(20名) 8月9日(日) 福島/Jヴィレッジ
 仙台カップ(14名) 9月11日(金)～13日(日) 宮城/仙台市
 高円宮杯全日本ユース(U-18) (120名) 10月12日(月・祝) 埼玉/埼玉スタジアム
 高円宮杯全日本ユース(U-15) (109名) 12月29日(火) 東京/国立競技場
 ナショナルトレセンU-12・14・16・女子U-15 随時
 SBSカップ(17名) 8月21日(金)～23日(日) 静岡/静岡市
 フィジカルリフレッシュ研修(40名) 2010年3月14日(日) 東京/西が丘
 アカデミーリフレッシュ研修(福島) (40名) 11月26日(木)～28日(土) 福島/広野
 アカデミーリフレッシュ研修(宇城) (18名) 2010年2月2日(火)～4日(木) 熊本/宇城
 AFCチャンピオンズリーグ (125名) 11月7日(土) 東京/国立競技場
 新潟国際(19名) 7月19日(日)～20日(月・祝) 新潟/新潟市
 キッズコーチ研修(23名) 2010年3月19日(金)～22日(月・祝) 石川/金沢市
- (49) 育成コーチ養成プロジェクト
 スペインサッカー連盟との調印式 2010年1月22日(金) JFA
 海外研修 (52名) 2010年3月17日(水)～31日(水)
 ドイツ、フランス、アルゼンチン、メキシコ
- (50) 全国医学委員長会議
 期間: 2010年1月9日(土)～10日(日)
 場所: JFAハウス
 参加者: 46名

(51) 第45回・第46回サッカードクターセミナー

第45回 期 間：10月10日(土)～11日(日)
場 所：福島/Jヴィレッジ
参加者：89名

第46回 期 間：2010年2月27日(土)～28日(日)
場 所：神奈川/日産スタジアム
参加者：99名

(52) 日本代表メディカルチェック
各代表活動にて実施

(53) アスレティックトレーナー研修会

期 日：2010年1月8日(金)
場 所：JFAハウス
参加者：55名

(54) JFAメディカルセンター

スポーツ医療事業、研究・普及事業、地域医療事業を目的に、8月1日にJヴィレッジ内に開院した。福島県、檜葉町、Jヴィレッジ、JFAが協働しながら設置し、整備にはFIFAゴールプログラムによる補助金も利用。9月14日には、FIFAジョセフ・ブラッター会長を迎えセレモニーを実施した。

(55) 1級審判員研修会/1級審判員強化研修会

① 1級審判員研修会

第1回 7月4日(土)～5日(日)/7月11日(土)～12日(日) JFA
※2 グループに分けて実施

第2回 2010年1月29日(金)～31日(日) 神奈川/横浜市

② 1級審判員強化研修会

8月 (SBSカップ国際ユースサッカー) 静岡

11月21日(土)～23日(月・祝)、12月4日(金)～6日(日)
(第33回全国地域リーグ決勝大会)

福島、富山、鳥取、高知、長野

③ JFL担当審判員研修会

2009年3月7日(土)～8日(日) 神奈川/横浜市

5月4日(月・祝)～6日(水・振休) 神奈川/横浜市

7月4日(土)、11日(土) ※2 グループに分けて実施

9月21日(月・祝) JFA

11月3日(火・祝) 神奈川/横浜市

2010年3月 神奈川/横浜市

④ 新1級審判員研修会

8月23日(日)～26日(水) (出雲カップ) 島根/出雲市

⑤ 2010年新1級審判員研修会

12月26日(土)～29日(火) 埼玉/さいたま市

⑥ MAコース

10月30日(金)～11月3日(火・祝) 神奈川/横浜市

(56) 1級審判員候補者研修会

8月4日(火)～7日(金) (国士舘カップ) 長野/菅平

(57) 女子1級審判員研修会/女子1級審判員強化研修会

① 女子1級審判員研修会

第1回 7月4日(土)～5日(日)/7月11日(土)～12日(日) JFA

※2 グループに分けて実施

第2回 2010年2月19(金)～21日(日)

神奈川/横浜市

②女子1級審判員強化研修会

7月26日(日)～8月1日(土)(第18回全日本高等学校女子サッカー選手権大会)静岡/磐田市

2010年3月19日(金)～22日(月・振休)(マリーゼフェスタ) 福島/Jウエイジ

(58)1級審判員認定審査

第1次審査 (各地域社会人・大学リーグ)

各地域

4月～6月

第2次審査 (各地域のミニ国体レベルの試合)

各地域

第3次審査 (各地域の社会人・大学リーグ)

各地域

9月下旬～11月中旬

(59)女子1級審判員認定審査

第1次審査 (第24回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大阪予選)

大阪/大阪市

5月2日(土)、5日(火・祝)

第2次審査 (第40回全国中学校サッカー大会)

長崎/島原市

8月19日(水)～22日(土)

第3次審査 関東女子リーグ、関東大学女子リーグ

9月23日(水・祝)、27日(日)、10月3日(土)、4日(日)、11日(日)

関東、関西

(60)2級審判員指導育成講習会

8月15日(土)～17日(月)(第24回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会) 福島/Jウエイジ

10月31日(土)～11月4日(水)(第34回全国クラブチームサッカー選手権大会) 大分/大分市他

(61)2級審判員(女子)指導育成講習会

8月7日(金)～10日(月)(筑波フェスティバル)

茨城/つくば市

(62)S級・1級審判インストラクター研修会

第1回 7月19日(日)～20日(月・祝)

JFA

第2回 2010年1月22日(金)～24日(日)

福島/Jウエイジ

(63)JFA審判アセッサー研修会

第1回 4月5日(日)

JFA

第2回 11月3日(火・祝)

JFA

(64)S級審判インストラクター研修会

11月14日(土)～15日(日)

JFA

(65)1級審判インストラクター認定講習会

第1次審査 (書類審査)

第2次審査 7月11日(土)、12日(日)

関東、関西

第3次審査 11月21日(土)、22日(日)

東海、関西

S級審判インストラクター認定講習会

東京

2010年1月5日(火)、6日(水) (第58回全日本大学サッカー選手権大会)

(66)フットサル1級審判員研修会/フットサル1級審判員強化研修会

①フットサル1級審判員研修会

静岡

2010年1月9日(土)～11日(月・祝)

②フットサル1級審判員強化研修会

- 2010年3月4日(木)～7日(日)(第15回全日本フットサル選手権大会) 大阪、兵庫
 ③フットサル国際審判員強化研修会 東京
 2010年3月12日(金)～14日(日)(第15回全日本フットサル選手権大会 決勝トーナメント)
- (67)フットサル1級審判員認定審査
 第1次審査 7月16日(木)～19日(日)(第25回全国選抜フットサル大会) 石川
 第2次審査 10月～12月(関東・関西フットサルリーグ) 関東、関西
 第3次審査 2010年3月19日(金)～22日(月・祝)(第10回FUTSAL地域チャンピオンズリーグ) 大阪/大阪市
- (68)フットサル2級審判員研修会
 2010年1月8日(金)～10日(日)(第15回全日本ユース(U-15)フットサル大会) 福岡/北九州市
- (69)フットサル1級審判インストラクター更新講習会
 5月4日(月・祝)～5日(火・祝) 東京
- (70)フットサル1級審判インストラクター認定講習会
 5月3日(日・祝)～4日(月・祝) 東京
- (71)フットサル1級審判インストラクター認定審査
 第1次審査 (書類審査)
 第2次審査 9月12日(土)～13日(日) 東京
 第3次審査 12月12日(土)～2010年1月17日(日) 各会場
- (72)フットサル2級審判インストラクター更新講習会
 10月18日(日)～2010年2月20日(土) 各地域
- (73)フットサル2級審判インストラクター認定講習会
 第1回 8月29日(土)～30日(日)(全日本大学フットサル大会2009) 大阪
 第2回 10月17日(土)～18日(日) 東京
- (74)ビーチサッカー審判員研修会
 10月22日(木)～25日(日) (全国ビーチサッカー大会2009) 沖縄
- (75)全国審判委員長会議
 6月27日(土)～28日(日) J F A
- (76)2010年国際審判員候補者メディカルチェック
 8月28日(金) 3名 神奈川/横浜市
 8月29日(土) 9名 神奈川/横浜市
 9月10日(木) 11名 神奈川/横浜市
- (77)審判関係海外研修
 ①海外F Aとの審判交流 ポーランド
 派遣:8月7日(金)～9月2日(水)
 招聘:10月10日(土)～11月1日(日)
 ②A F C主催国際エリート審判員研修会 マレーシア
 2010年1月
 ③A F C主催審判エリートインストラクター・アセッサー研修会 マレーシア
 2010年1月
- (78)トップレフェリー育成プロジェクト
 ①プロフェッショナルレフェリー/トレーニングキャンプ 静岡/Jステップ 他
 通年(6泊7日/1回、1泊2日/17回、日帰り/3回)

- ② J F A レフェリーカレッジ 2009
 定期講習 (通年、各学年 2 週毎 1 泊 2 日または 2 泊 3 日で開催) J F A 他
 集中講習 7 月 (2 年生のみ: 総理大臣杯) 大阪
 7 月 (1 年生のみ: 高校総体) 埼玉
 8 月 (2 年生のみ) 石川
 8 月 (1 年生のみ) 静岡
 12 月 (1 年生のみ) 茨城

- ③ J F A レフェリーカレッジ 2010
 定期講習 (通年、各学年 2 週毎 1 泊 2 日または 2 泊 3 日で開催) J F A 他
 集中講習 2010 年 3 月 (1 年生のみ) 福岡
 2010 年 3 月 (2 年生のみ) 愛知

- (79) 審判トレーニングセンター
 中央審判トレーニングセンター 8 月、11 月、2010 年 3 月 J ヴァレッジ 他
 地域審判トレーニングセンター 4 月～7 月、9 月～12 月 各地域
 都道府県審判トレーニングセンター 通年 各都道府県

- (80) J F A インターナショナル レフェリーインストラクターコース 2009 (A F C 加盟協会向け)
 5 月 12 日 (火)～17 日 (日) 福島/J ヴァレッジ

- (81) J F A キッズ (U-6/U-8/U-10) サッカーフェスティバル 2009
 4 月～2010 年 3 月に 47 都道府県で開催

- (82) J F A キッズ (U-6) サッカーフェスティバル 2009 ユニクロサッカーキッズ!
 9 会場で開催

- (83) J F A レディース/ガールズサッカーフェスティバル 2009
 4 月～2010 年 3 月に 47 都道府県で開催

- (84) J F A ファミリーフットサルフェスティバル 2009 with K I R I N
 4 月～2010 年 3 月に 47 都道府県で開催

- (85) J F A ファミリーフットサルフェスティバル 2009 with K I R I N スペシャルステージ
 4 月～2010 年 3 月に 12 会場で開催

- (86) ポカリスエット (U-10/U-11/U-12) サッカーリーグ
 4 月～2010 年 3 月に 30 都道府県で開催

- (87) フットボールデー
 4 月～2010 年 3 月に 47 都道府県で開催

- (88) 「リスペクト」プログラム
 4 月～2010 年 3 月に 47 都道府県他で実施

- (89) 全国専務理事会議
 期 日: 7 月 25 日 (土)
 場 所: J F A ハウス
 参加者: 47 都道府県 F A 専務理事 47 名

- (90) アジア貢献事業
 指導普及事業に記載した「J F A インターナショナル コーチングコース (A F C 加盟協会向け)」と「J F A インターナショナル レフェリーインストラクターコース 2009 (A F C 加盟協会向け)」に加え、以下の事業を含んだアジア支援事業を実施した。

- ①公認指導者・審判インストラクターのAFC加盟国への派遣
JFAが指導者を直接派遣する案件と、独立行政法人国際協力機構（JICA）と連携して派遣する案件を実施した。
- ②アジアユース育成資金援助プログラム
AFC加盟協会で、継続的かつ計画的にユース年代の育成を行っている事業に、資金的な援助を実施した。
- ③海外の代表チーム／選手の日本でのキャンプ受け入れ
日本の素晴らしい施設・環境でトレーニングを行うため、日本での移動費や滞在費の一部を負担し、強化に貢献した。
- ④海外視察団の受け入れ
JFAやJリーグの活動や運営状況などを紹介し、発展に貢献した。
- ⑤アジアの子どもたちにサッカーボールを届けるプロジェクト
社団法人日本ユネスコ協会連盟と「ユネスコ寺子屋運動くるりんぱプロジェクト」を推進する電通グループと共同で、「Everyone Plays, Everyone Learns」をスローガンに2005年よりアジアの国々にボールを贈呈した。

IV 各種申請 (2009年度に申請のあったもの)

1. 海外遠征

(社)日本プロサッカーリーグ
チー ム U13 Jリーグ選抜 (第3種)
遠征期間 8月6日(木)～9日(日)
遠 征 先 韓国／仁川

(社)日本プロサッカーリーグ
チー ム U14 Jリーグ選抜 (第3種)
遠征期間 8月24日(月)～9月1日(火)
遠 征 先 オランダ／ティルブルグ

(社)日本プロサッカーリーグ
チー ム U15 Jリーグ選抜 (第3種)
遠征期間 8月23日(日)～9月2日(水)
遠 征 先 ブラジル／サンパウロ

全日本大学サッカー連盟
チー ム 全日本大学選抜チーム (第1種)
遠征期間 6月15日(月)～21日(日)
遠 征 先 オーストラリア／ブリスベン

全日本大学サッカー連盟
チー ム 全日本大学選抜チーム (第1種)
遠征期間 2010年3月20日(土)～26日(金)
遠 征 先 オーストラリア／ブリスベン

(財)北海道サッカー協会
チー ム 日韓姉妹都市交流サッカー派遣団(札幌) (第1種)
遠征期間 7月25日(土)～31日(金)
遠 征 先 韓国／ソウル

(財)北海道サッカー協会
チー ム アンフィニMAKI.FC (第3種)
遠征期間 3月27日(金)～4月3日(金)
遠 征 先 フランス／クレールフォンテーヌ

(財)北海道サッカー協会
チー ム 小樽地区サッカー協会U-12トレセン選抜 (第4種)
遠征期間 10月31日(土)～11月3日(火・祝)
遠 征 先 韓国／ソウル

(財)北海道サッカー協会
チー ム 北海道代表U-12 (第4種)
遠征期間 11月6日(金)～9日(月)
遠 征 先 韓国／ソウル

(財)北海道サッカー協会
チー ム コンサドーレ札幌 (第1種)
遠征期間 2010年1月19日(火)～2月10日(水)

遠 征 先 アメリカ／グアム

(財)北海道サッカー協会

チ ー ム プリマベラ函館U-15 (第3種)

遠征期間 2010年4月1日(木)～5日(月)

遠 征 先 韓国／高揚

(社)岩手県サッカー協会

チ ー ム 岩手県立盛岡商業高等学校サッカー部 (第2種)

遠征期間 2010年3月23日(火)～4月1日(木)

遠 征 先 ドイツ／ヘネフ

(社)宮城県サッカー協会

チ ー ム ベガルタ仙台ジュニア (第4種)

遠征期間 11月1日(日)～7日(土)

遠 征 先 韓国／水原

(社)宮城県サッカー協会

チ ー ム ベガルタ仙台ユース (第2種)

遠征期間 2010年3月27日(土)～4月3日(土)

遠 征 先 韓国／ソウル

(社)宮城県サッカー協会

チ ー ム ベガルタ仙台ジュニア (第4種)

遠征期間 2010年4月19日(月)～26日(月)

遠 征 先 韓国／水原

(社)宮城県サッカー協会

チ ー ム ベガルタ仙台ジュニアユース (第3種)

遠征期間 12月24日(木)～29日(火)

遠 征 先 韓国／釜山

(NPO)山形県サッカー協会

チ ー ム モンテディオ山形 (第1種)

遠征期間 2010年1月25日(月)～2月4日(木)

遠 征 先 アメリカ／グアム

(財)福島県サッカー協会

チ ー ム JFAアカデミー福島 (女子)

遠征期間 12月29日(火)～2010年1月11日(月・祝)

遠 征 先 アメリカ／オランダ、タラハシー

(財)福島県サッカー協会

チ ー ム FCプリメーロ福島レジェンド (第1種)

遠征期間 11月26日(木)～29日(日)

遠 征 先 中国／上海

(財)福島県サッカー協会

チ ー ム 東京電力女子サッカー部マリーゼ (女子)

遠征期間 2010年3月5日(金)～15日(月)

遠 征 先 アメリカ／サンフランシスコ、ロサンゼルス

(財)福島県サッカー協会

チー ム 福島県トレセンU-14 (第3種)
遠征期間 2010年3月21日(日・祝)～30日(火)
遠 征 先 フランス/ボルドー、パリ

(財)福島県サッカー協会
チー ム JFAアカデミー福島 (第3種)
遠征期間 2010年3月20日(土)～4月1日(木)
遠 征 先 フランス/パリ

(財)茨城県サッカー協会
チー ム 常総アイデンティティU-15 (第3種)
遠征期間 2010年3月25日(木)～4月5日(月)
遠 征 先 ブラジル/サンパウロ

(財)茨城県サッカー協会
チー ム 鹿島アントラーズユースチーム (第2種)
遠征期間 2010年3月3日(水)～11日(木)
遠 征 先 イタリア/トリノ、ミラノ

(財)茨城県サッカー協会
チー ム 鹿島アントラーズジュニア (第4種)
遠征期間 2010年3月7日(日)～10日(水)
遠 征 先 韓国/順天、全州、ソウル

(財)茨城県サッカー協会
チー ム F.C. LIBERTAD (第3種)
遠征期間 2010年3月25日(木)～4月2日(金)
遠 征 先 ドイツ/ミュンヘン

(財)茨城県サッカー協会
チー ム 茨城県トレセンU-14 (第1種)
遠征期間 8月15日(土)～24日(月)
遠 征 先 オランダ/フンデロー、イタリア/イモラ

(財)茨城県サッカー協会
チー ム 鹿島アントラーズジュニアユース (第3種)
遠征期間 8月24日(月)～9月2日(水)
遠 征 先 ブラジル/リオデジャネイロ

(財)茨城県サッカー協会
チー ム 鹿島アントラーズノルテジュニアユース (第3種)
遠征期間 8月24日(月)～9月2日(水)
遠 征 先 ブラジル/リオデジャネイロ

(財)茨城県サッカー協会
チー ム 鹿島アントラーズジュニア (第4種)
遠征期間 5月14日(木)～19日(火)
遠 征 先 オランダ/アムステルダム

(社)栃木県サッカー協会
チー ム 栃木県選抜 (第4種)
遠征期間 8月16日(日)～19日(水)
遠 征 先 韓国/ソウル

(社)栃木県サッカー協会

チー ム 栃木県立小山南高等学校サッカー部 (第4種)

遠征期間 7月20日(月・祝)～25日(土)

遠 征 先 韓国/ソウル

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 武蔵丘短期大学シエンシア (女子)

遠征期間 8月6日(木)～18日(火)

遠 征 先 イギリス/ロンドン

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 浦和レッドダイヤモンズユース (第2種)

遠征期間 8月24日(月)～9月1日(火)

遠 征 先 スペイン/バルセロナ、タラゴナ

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 浦和レッドダイヤモンズジュニアユース (第3種)

遠征期間 8月24日(月)～9月1日(火)

遠 征 先 ドイツ/ミュンヘン

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 平成国際大学サッカー部 (第1種)

遠征期間 8月14日(金)～20日(木)

遠 征 先 韓国/ソウル

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 大宮アルディージャ (第2種)

遠征期間 8月24日(月)～28日(金)

遠 征 先 韓国/ヨンジン

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 大宮アルディージャ (第3種)

遠征期間 8月20日(木)～29日(土)

遠 征 先 オランダ/ドゥーンラーデ

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 与野シニアFC (第1種)

遠征期間 8月21日(金)～24日(月)

遠 征 先 マレーシア/クアラルンプール

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 坂戸ディプロマッツ (第3種)

遠征期間 11月27日(金)～12月6日(日)

遠 征 先 シンガポール

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 大宮アルディージャ (第3種)

遠征期間 2010年1月8日(金)～11日(月・祝)

遠 征 先 韓国/昌原

(財)埼玉県サッカー協会

チー ム 大宮アルディージャ (第3種)

遠征期間 2010年1月27日(水)～2月10日(水)
遠征先 アメリカ/グアム

(財)埼玉県サッカー協会
チーム 埼玉県U-16 高体連選抜 (第2種)
遠征期間 2010年3月26日(金)～29日(月)
遠征先 韓国/ソウル

(財)埼玉県サッカー協会
チーム 浦和レッドダイヤモンドジュニアユース (第3種)
遠征期間 2010年4月1日(木)～6日(火)
遠征先 韓国/昌原

(財)埼玉県サッカー協会
チーム 浦和東高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2010年3月25日(木)～4月3日(土)
遠征先 イギリス/マンチェスター

(社)千葉県サッカー協会
チーム ジェフユナイテッド市原・千葉U-15 (第3種)
遠征期間 2010年3月27日(土)～4月7日(水)
遠征先 イタリア/ボルデノーネ

(社)千葉県サッカー協会
チーム 船橋市立船橋高等学校 (第2種)
遠征期間 8月27日(木)～9月8日(火)
遠征先 デンマーク/オーデンセ、イタリア/スピリンベルゴ

(社)千葉県サッカー協会
チーム 柏レイソルU-15 (第3種)
遠征期間 8月25日(火)～9月6日(日)
遠征先 ドイツ/デュッセルドルフ

(社)千葉県サッカー協会
チーム 松戸MACS (女子)
遠征期間 9月19日(土)～22日(火・祝)
遠征先 韓国/ソウル

(社)千葉県サッカー協会
チーム 柏レイソル (第1種)
遠征期間 2010年1月31日(日)～2月13日(土)
遠征先 アメリカ/グアム

(財)東京都サッカー協会
チーム FC東京U-18 (第2種)
遠征期間 2010年1月20日(水)～2月1日(月)
遠征先 メキシコ/グアダラハラ

(財)東京都サッカー協会
チーム 東京都専門学校サッカー連盟選抜チーム (第1種)
遠征期間 11月13日(金)～16日(月)
遠征先 韓国/ソウル

(財)東京都サッカー協会
チー ム 関東大学選抜チーム (第1種)
遠征期間 8月8日(土)～14日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)東京都サッカー協会
チー ム 三菱養和サッカークラブ (第2種)
遠征期間 8月23日(日)～28日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)東京都サッカー協会
チー ム 東京ヴェルディジュニアユース (第3種)
遠征期間 7月22日(水)～8月9日(日)
遠 征 先 ブラジル/サンパウロ、ポルトガル/リスボン、ポルト

(財)東京都サッカー協会
チー ム 東京ヴェルディジュニアユース (第3種)
遠征期間 8月3日(月)～15日(土)
遠 征 先 ブラジル/サンパウロ

(財)東京都サッカー協会
チー ム 東京都選抜(U-13) (第3種)
遠征期間 8月23日(日)～29日(土)
遠 征 先 ロシア/モスクワ

(財)東京都サッカー協会
チー ム トヨペットクラブ (第1種)
遠征期間 12月5日(土)～7日(月)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)東京都サッカー協会
チー ム 明治大学体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2010年3月8日(月)～16日(火)
遠 征 先 バルセロナ/スペイン

(財)東京都サッカー協会
チー ム 修徳高等学校 (第2種)
遠征期間 2010年3月22日(月・振休)～31日(水)
遠 征 先 オランダ/ナイメーヘン

(財)東京都サッカー協会
チー ム FCトッカーノU-15 (第3種)
遠征期間 2010年3月26日(金)～4月4日(日)
遠 征 先 ブラジル/サンパウロ

(財)東京都サッカー協会
チー ム 東京都中体連選抜U-14 (第3種)
遠征期間 2010年3月28日(日)～31日(水)
遠 征 先 韓国/西帰浦

(財)東京都サッカー協会
チー ム 慶應義塾体育会サッカー部 (第1種)
遠征期間 2010年2月17日(水)～21日(日)

遠 征 先 韓国／ソウル

(財)東京都サッカー協会

チ ー ム 慶應義塾体育会サッカー部 (第1種)

遠征期間 2010年2月27日(土)～3月10日(水)

遠 征 先 オランダ／フォーレンダム

(財)東京都サッカー協会

チ ー ム FCトリプレッタ (第3種)

遠征期間 2010年3月27日(土)～4月6日(火)

遠 征 先 スペイン／バルセロナ

(財)東京都サッカー協会

チ ー ム FUNフットサルクラブ Ladies (フットサル)

遠征期間 2010年5月12日(水)～18日(火)

遠 征 先 ポルトガル／ラゴア

(社)神奈川県サッカー協会

チ ー ム S.C.相模原ジュニアユース (第3種)

遠征期間 2010年3月29日(月)～4月1日(木)

遠 征 先 韓国／揚州

(社)神奈川県サッカー協会

チ ー ム 横浜市立東高等学校サッカー部 (第2種)

遠征期間 2010年3月26日(金)～4月4日(日)

遠 征 先 スペイン／パレンシア

(社)神奈川県サッカー協会

チ ー ム 川崎フロンターレU-15 (第3種)

遠征期間 2010年3月26日(金)～4月3日(土)

遠 征 先 オーストラリア／ゴールドコースト

(社)神奈川県サッカー協会

チ ー ム 桐光学園高等学校 (第2種)

遠征期間 2010年3月24日(水)～4月4日(日)

遠 征 先 イタリア／ローマ、ビテルボ

(社)神奈川県サッカー協会

チ ー ム 神奈川県トレセンセントラルU-14 (第3種)

遠征期間 2010年3月26日(金)～30日(火)

遠 征 先 韓国／ソウル

(社)神奈川県サッカー協会

チ ー ム 横浜F.マリノスユース (第2種)

遠征期間 11月4日(水)～11日(水)

遠 征 先 韓国／水原、坡州

(社)神奈川県サッカー協会

チ ー ム 横浜FC鶴見ジュニアユース (第3種)

遠征期間 7月31日(金)～8月6日(木)

遠 征 先 中国／上海

(社)神奈川県サッカー協会

チー ム 横浜 FC ジュニアユース (第 2 種)
遠征期間 5 月 28 日(木)～6 月 3 日(水)
遠 征 先 フランス/パリ

(社)神奈川県サッカー協会
チー ム 東海大学体育会サッカー部 (第 1 種)
遠征期間 8 月 13 日(木)～19 日(水)
遠 征 先 韓国/ソウル

(社)神奈川県サッカー協会
チー ム 川崎フロンターレ U-12 (第 4 種)
遠征期間 10 月 6 日(火)～14 日(水)
遠 征 先 ブラジル/サンパウロ

(社)神奈川県サッカー協会
チー ム 横浜市立東高等学校サッカー部 (第 2 種)
遠征期間 2010 年 3 月 26 日(金)～4 月 4 日(日)
遠 征 先 スペイン/マドリード、バレンシア

(社)神奈川県サッカー協会
チー ム 横浜少年選抜 (第 3 種)
遠征期間 8 月 17 日(月)～20 日(木)
遠 征 先 韓国/仁川広域市

(社)長野県サッカー協会
チー ム 長野県中学選抜(U-14) (第 3 種)
遠征期間 8 月 24 日(月)～9 月 2 日(水)
遠 征 先 フランス/シャトール、マコン

(社)長野県サッカー協会
チー ム 創造学園大学附属高校サッカー部 (第 2 種)
遠征期間 2010 年 3 月 22 日(月・振休)～27 日(土)
遠 征 先 韓国/ソウル

(社)新潟県サッカー協会
チー ム アルビレックス新潟ジュニアユース (第 3 種)
遠征期間 8 月 18 日(火)～21 日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(社)新潟県サッカー協会
チー ム アルビレックス新潟ユース (第 2 種)
遠征期間 10 月 16 日(金)～20 日(火)
遠 征 先 シンガポール

(社)富山県サッカー協会
チー ム 富山県立伏木高等学校 (第 2 種)
遠征期間 2010 年 3 月 14 日(日)～19 日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(社)石川県サッカー協会
チー ム F.C. TON ジュニアユース (第 3 種)
遠征期間 2010 年 3 月 25 日(木)～28 日(日)
遠 征 先 中国/上海

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 掛川高校選抜チーム (第2種)
遠征期間 7月28日(火)～31日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 静岡トレーニングセンターU-12 (第4種)
遠征期間 8月6日(木)～10日(月)
遠 征 先 韓国/扶余

(財)静岡県サッカー協会
チー ム NPO 藤枝東 FC ジュニアユース (第3種)
遠征期間 8月20日(木)～22日(土)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)静岡県サッカー協会
チー ム INOMIYA FC 93' (第4種)
遠征期間 8月23日(日)～26日(水)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 静岡県西部支部 袋井サッカー協会高校選抜 (第2種)
遠征期間 8月20日(木)～24日(月)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 静岡県立吉田高等学校 (第2種)
遠征期間 8月26日(水)～30日(日)
遠 征 先 中国/上海

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 藤枝東高校 (第2種)
遠征期間 8月4日(火)～7日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 静岡県クラブユース (U-15) 選抜 (第3種)
遠征期間 8月19日(水)～28日(金)
遠 征 先 スペイン/マドリード、バルセロナ、イタリア/ミラノ

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 静岡県サッカー協会中西部支部 静岡県立藤枝北高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2010年3月21日(日・祝)～31日(水)
遠 征 先 オーストラリア/ラナウエイ、ベイ

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 静岡県立浜松南高等学校サッカー部 (第2種)
遠征期間 12月23日(水・祝)～28日(月)
遠 征 先 トルコ/イスタンブール

(財)静岡県サッカー協会
チー ム 静岡県西部高校選抜 (第2種)

遠征期間 2010年3月23日(火)～30日(火)
遠征先 スペイン/マドリード

(財)静岡県サッカー協会
チーム 静岡県立清水東高校 (第2種)
遠征期間 2010年3月31日(水)～4月3日(土)
遠征先 韓国/ソウル

(財)静岡県サッカー協会
チーム 東海大学付属翔洋高等学校 (第2種)
遠征期間 2010年3月12日(金)～15日(月)
遠征先 韓国/城南

(財)静岡県サッカー協会
チーム 沼津トレーニングセンターU-12 (第4種)
遠征期間 2010年3月20日(土)～27日(土)
遠征先 スペイン/バルセロナ

(財)静岡県サッカー協会
チーム ロブタ静岡 (第3種)
遠征期間 2010年3月21日(日・祝)～30日(火)
遠征先 ウクライナ/キエフ

(財)静岡県サッカー協会
チーム 静岡県女子ユースU-18 選抜チーム (女子)
遠征期間 2010年3月19日(金)～23日(火)
遠征先 韓国/ソウル、水原

(財)静岡県サッカー協会
チーム U-16 静岡県選抜 (第2種)
遠征期間 2010年3月23日(火)～31日(水)
遠征先 トルコ/イスタンブール

(財)静岡県サッカー協会
チーム U-14 静岡県選抜 (第3種)
遠征期間 2010年3月24日(水)～27日(土)
遠征先 韓国/ソウル

(財)静岡県サッカー協会
チーム 藤枝明誠高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2010年3月25日(木)～29日(月)
遠征先 韓国/蔚山

(財)静岡県サッカー協会
チーム 藤枝明誠高校サッカー部 (第2種)
遠征期間 2010年3月23日(火)～26日(金)
遠征先 韓国/ソウル

(財)静岡県サッカー協会
チーム 静産大磐田レディース (女子)
遠征期間 2010年3月11日(木)～18日(木)
遠征先 アメリカ/ロサンゼルス

(財)愛知県サッカー協会
チー ム 愛知フットボールクラブ (第3種)
遠征期間 8月17日(月)～22日(土)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)愛知県サッカー協会
チー ム 愛知フットボールクラブ (第3種)
遠征期間 8月23日(日)～28日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)愛知県サッカー協会
チー ム 名古屋グランパスU-15 (第3種)
遠征期間 2010年3月19日(金)～28日(日)
遠 征 先 ドイツ/フランクフルト

(財)愛知県サッカー協会
チー ム シルフィード・セントラル豊橋・モノリスFC (第3種)
遠征期間 2010年3月25日(木)～4月2日(金)
遠 征 先 オランダ/ロッテルダム

(財)愛知県サッカー協会
チー ム 名古屋オーシャンズ・サテライト (フットサル)
遠征期間 2010年4月12日(月)～23日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(財)岐阜県サッカー協会
チー ム 岐阜県サッカー協会 ジュニアユーストレーニングセンターU-14 (第3種)
遠征期間 8月23日(日)～28日(金)
遠 征 先 韓国/ソウル

(社)滋賀県サッカー協会
チー ム 鹿深サッカー協会 (第2種)
遠征期間 2010年3月22日(月・振休)～30日(火)
遠 征 先 ドイツ/ブルクハウゼン、ミュンヘン

(社)滋賀県サッカー協会
チー ム 滋賀県トレーニングセンターU-12 (第4種)
遠征期間 2010年3月21日(日・祝)～24日(水)
遠 征 先 韓国/ソウル

(社)滋賀県サッカー協会
チー ム 滋賀県トレーニングセンターU-14 (第3種)
遠征期間 2010年3月19日(金)～29日(月)
遠 征 先 ブラジル/サンパウロ

(社)滋賀県サッカー協会
チー ム びわこ成蹊スポーツ大学 (第1種)
遠征期間 2010年2月20日(土)～28日(日)
遠 征 先 アメリカ/フロリダ

(社)京都府サッカー協会
チー ム 京都サンガF.C. U-15 (第3種)
遠征期間 2010年3月28日(日)～4月6日(火)

遠 征 先 スペイン／バルセロナ

(社)京都府サッカー協会

チ ー ム U-13 京都府選抜チーム (第3種)

遠征期間 2010年3月27日(土)～4月4日(日)

遠 征 先 フランス／パリ、リヨン

(社)京都府サッカー協会

チ ー ム 京都少年団選抜チーム (第4種)

遠征期間 2010年4月2日(金)～5日(月)

遠 征 先 韓国／ソウル、龍仁

(社)大阪府サッカー協会

チ ー ム セレッソ大阪 U-15/西 U-15 (第3種)

遠征期間 8月27日(木)～9月1日(火)

遠 征 先 韓国／全羅南道唐津郡

(社)大阪府サッカー協会

チ ー ム 大阪府女子選抜U-18 (女子)

遠征期間 7月19日(日)～24日(金)

遠 征 先 中国／上海

(社)大阪府サッカー協会

チ ー ム ガンバ大阪 (第1種)

遠征期間 6月1日(月)～9日(火)

遠 征 先 アメリカ／グアム

(社)大阪府サッカー協会

チ ー ム ガンバ大阪ジュニアユース (第4種)

遠征期間 8月1日(土)～10日(月)

遠 征 先 イギリス／マンチェスター

(社)大阪府サッカー協会

チ ー ム ガンバ大阪ユース (第3種)

遠征期間 8月6日(木)～18日(火)

遠 征 先 スペイン／ビジャレアル、バレンシア

(社)大阪府サッカー協会

チ ー ム 河内長野選抜チーム (第4種)

遠征期間 12月25日(金)～28日(月)

遠 征 先 韓国／ソウル

(社)大阪府サッカー協会

チ ー ム ガンバ大阪 (第1種)

遠征期間 2010年2月2日(火)～13日(土)

遠 征 先 アメリカ／グアム

(社)大阪府サッカー協会

チ ー ム ガンバ大阪ジュニアユース (第3種)

遠征期間 2010年3月27日(土)～4月6日(火)

遠 征 先 スペイン／バルセロナ

(社)大阪府サッカー協会

チー ム ガンバ大阪ユース (第2種)
遠征期間 2010年3月27日(土)～4月6日(火)
遠 征 先 スペイン/バルセロナ

(社)大阪府サッカー協会
チー ム 同志社香里高等学校 (第2種)
遠征期間 2010年3月21日(日・祝)～31日(水)
遠 征 先 イギリス/ロンドン

(社)兵庫県サッカー協会
チー ム 姫路獨協大学 (第1種)
遠征期間 8月9日(日)～13日(木)
遠 征 先 中国/上海

(社)兵庫県サッカー協会
チー ム ヴィッセル神戸伊丹ジュニアユース (第3種)
遠征期間 8月19日(水)～22日(土)
遠 征 先 韓国/竜仁

(社)兵庫県サッカー協会
チー ム 神戸市U-13選抜チーム (第4種)
遠征期間 2010年3月26日(金)～30日(火)
遠 征 先 中国/上海

(社)奈良県サッカー協会
チー ム 奈良県トレーニングセンターU-14 (第3種)
遠征期間 2010年3月19日(金)～4月1日(木)
遠 征 先 ブラジル/サンパウロ

(社)奈良県サッカー協会
チー ム YF奈良クラブ (第3種)
遠征期間 2010年4月10日(土)～19日(月)
遠 征 先 フランス/パリ、ナント

(社)和歌山県サッカー協会
チー ム 和歌山県U-16選抜 (第2・3種)
遠征期間 6月19日(金)～22日(月)
遠 征 先 韓国/蔚山

(財)広島県サッカー協会
チー ム 広島県高等学校女子ユース選抜 (女子)
遠征期間 8月10日(月)～12日(水)
遠 征 先 韓国/大邱

(財)広島県サッカー協会
チー ム サンフレッチェ広島 (第1種)
遠征期間 2010年1月30日(土)～2月12日(金)
遠 征 先 トルコ/アンタルヤ

(社)山口県サッカー協会
チー ム 岩国市サッカー協会トレセン (第3・4種)
遠征期間 9月19日(土)～21日(月・祝)
遠 征 先 韓国/蔚山

(社)山口県サッカー協会
チー ム 周南ジュニアユーストレセン U-15, U-14 (第 3 種)
遠征期間 8 月 17 日(月)～19 日(水)
遠 征 先 韓国／馬山

(社)徳島県サッカー協会
チー ム 徳島県トレセンサッカー (第 4 種)
遠征期間 2010 年 3 月 26 日(金)～30 日(火)
遠 征 先 韓国／ソウル

(社)福岡県サッカー協会
チー ム 筑後トレセン (第 3 種)
遠征期間 8 月 18 日(火)～20 日(木)
遠 征 先 韓国／釜山

(社)福岡県サッカー協会
チー ム 那珂川南中学校サッカー部 (第 2 種)
遠征期間 8 月 28 日(金)～30 日(日)
遠 征 先 韓国／イムシル郡

(社)福岡県サッカー協会
チー ム 福岡市中学校サッカー部選抜 (第 3 種)
遠征期間 2010 年 3 月 28 日(日)～30 日(火)
遠 征 先 韓国／釜山

(社)大分県サッカー協会
チー ム 大分トリニータ U-12 (第 4 種)
遠征期間 8 月 8 日(土)～11 日(火)
遠 征 先 韓国／南海

(社)大分県サッカー協会
チー ム 大分トリニータ U-15 (第 2 種)
遠征期間 2010 年 3 月 27 日(土)～4 月 1 日(木)
遠 征 先 韓国／慶南

(社)大分県サッカー協会
チー ム 大分トリニータ U-18 (第 3 種)
遠征期間 2010 年 3 月 23 日(火)～30 日(火)
遠 征 先 韓国／慶南

(社)宮崎県サッカー協会
チー ム 鵬翔高等学校 (第 2 種)
遠征期間 8 月 23 日(日)～28 日(金)
遠 征 先 韓国／ソウル

(社)宮崎県サッカー協会
チー ム ベガルタ仙台ジュニア (第 4 種)
遠征期間 10 月 12 日(月・祝)～18 日(日)
遠 征 先 韓国／水原

(社)鹿児島県サッカー協会
チー ム 鹿屋体育大学体育会サッカー部 (第 1 種)

遠征期間 8月5日(水)～12日(水)
遠征先 韓国／太田

(社)鹿児島県サッカー協会
チーム 鹿児島元老FC (第1種)
遠征期間 5月15日(金)～17日(日)
遠征先 韓国／ソウル

2. 国際競技会 (有料・無料)・名義使用あり

日本女子サッカーリーグ
大会名: 日韓女子リーグチャンピオンシップ
主催: (財)日本サッカー協会、日本女子サッカーリーグ
主管: (財)埼玉県サッカー協会、日本女子サッカーリーグ
期日: 2010年3月27日(土)
会場: さいたま市駒場スタジアム
参加チーム: 浦和レッドダイヤモンズレディース、大教カンガルーズ
入場料:

	前売り	当日
大人	1,000円	1,000円
小中高	500円	500円

九州サッカー協会
大会名: 2010 サニックス杯国際ユースサッカー大会
主催: 九州サッカー協会、(財)サニックススポーツ振興財団
共催: (財)日本サッカー協会
主管: (社)福岡県サッカー協会 宗像市サッカー協会 他
後援: 福岡県、福岡県教育委員会、宗像市、宗像市教育委員会 他
期日: 2010年3月19日(金)～22日(月・振休)
協賛: (株)サニックス、(株)グローバルアリーナ、他2社
会場: グローバルアリーナ
参加チーム: U-16 日本代表、U-16 韓国代表、南オーストラリア選抜 他13チーム
試合の種類: 無料試合

(財)北海道サッカー協会
大会名: 日韓交流U-16 ユースサッカー大会 2009
Japan-Korea Interchange Youth (U-16) Football Championship 2009
主催: (財)北海道サッカー協会
主管: (財)北海道サッカー協会 国際マッチプロジェクト委員会
後援: (財)日本サッカー協会、北海道、北海道教育委員会、(財)北海道体育協会、札幌市、札幌市教育委員会
協賛: 無
期日: 8月14日(金)～16日(日)
会場: 札幌サッカーアミューズメントパーク
参加チーム: (国外)韓国・ソウル特別市U-16
(国内)JFAアカデミー福島U-16、北海道代表U-16、北海道選抜U-16
入場料: 無料

(社)宮城県サッカー協会
大会名: 第7回仙台カップ国際ユースサッカー大会 (略称: 2009 仙台カップ)
Sendai Cup International Youth Football Tournament 2009
主催: (財)日本サッカー協会、(社)宮城県サッカー協会、仙台市 他
主管: 仙台市カップ国際ユースサッカー大会実行委員会

後援 外務省、文部科学省、ブラジル大使館、フランス大使館、韓国大使館 他
協賛 河北新報社 他
期日 9月9日(水)～13日(日)
会場 仙台スタジアム (ユアテックスタジアム仙台)
参加チーム (国外)U-18 ブラジル代表、U-18 フランス代表、U-18 韓国代表
(国内)U-18 日本代表
入場料 有料

(財)埼玉県サッカー協会

大会名 埼玉国際ジュニアサッカー大会 2009
2009 Saitama International Junior Football Tournament
主催 埼玉県、さいたま市、(財)埼玉県サッカー協会、(財)埼玉県公園緑地協会
主管 (財)埼玉県サッカー協会
協賛 ポラス(株)、(財)埼玉県公園緑地協会、さいたまコープ、赤城乳業(株)、
プーマアパレル(株)、プーマジャパン(株)、三国コカ・コーラボトリング(株)、
ウエルシア関東(株)、(株)NTT東日本埼玉支社、埼玉トヨペット(株)、
JA埼玉県中央会、(株)セブン&アイHLDGS.、(株)コントレビュート、
(株)共同写真企画、サイサン(株)、埼玉高速鉄道(株)、(株)埼玉シミズ、
(株)埼玉りそな銀行、(株)しまむら、(株)大進興業、太平ビル管理(株)、東京ガス(株)、
中村電設工業(株)、(株)ハイディ日高、(株)フォトクリエイト、
本田技研工業(株)埼玉製作所、(株)武蔵野銀行、(株)SPDセキュリA、
(株)シェリエ、東京電力(株)埼玉支店、日本マクドナルド(株)、マルキュー(株)、
(株)与野フードセンター
特別協力 浦和レッドダイヤモンドズ、レッドダイヤモンドズ後援会、
大宮アルディージャ、アルディージャ後援会
協力 東武鉄道(株)、西武鉄道(株)、秩父鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、
埼玉新都市交通(株)
後援 (財)日本サッカー協会、外務省、文部科学省、メキシコ合衆国大使館、
マレーシア大使館、シンガポール大使館、タイ王国大使館、バーレーン王国大使館、
韓国文化院、ニュージーランド大使館、埼玉県教育委員会、(財)埼玉県国際交流協会、
熊谷市、朝霞市、幸手市、小鹿野市、宮代町、朝日新聞社さいたま総局、
共同通信社さいたま支局、埼玉新聞社、産経新聞社さいたま総局、
時事通信社さいたま支局、東京新聞さいたま支局、日刊工業新聞社さいたま総局、
日本経済新聞社さいたま支局、フジサンケイビジネスアイ関東総局、
毎日新聞社さいたま支局、読売新聞さいたま支局、テレビ埼玉、
NHKさいたま放送局、FM NACK5
期日 7月24日(金)～26日(日)
会場 さいたまスタジアム 2002、さいたま市駒場運動公園、さいたま市八王子スポーツ施設
参加チーム 24 チーム
海外 8 チーム：メキシコ合衆国・メキシコ州選抜、マレーシア選抜、タイ王国選抜、
シンガポール共和国選抜、バーレーン王国選抜、
大韓民国・仁川広域市選抜、ニュージーランド・ハミルトン市選抜、
メキシコ合衆国・トルーカ市選抜
国内 (埼玉県外) 10 チーム：青森県選抜、群馬県選抜、栃木県選抜、茨城県選抜、
千葉県選抜、愛知県選抜、高知県選抜、佐賀県選抜、
熊本県選抜、沖縄県選抜
県内 (埼玉県内) 6 チーム：埼玉県東部選抜、埼玉県西部選抜、埼玉県南部選抜、
埼玉県北部選抜、埼玉県さいたま市選抜、
埼玉県川口市選抜
入場料 無料

(財)東京都サッカー協会

大会名 Fリーグ 2009 プレシーズンマッチ

主催 (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟、(財)東京都サッカー協会、東京都フットサル連盟
主管 日本フットサルリーグ、町田サッカー協会、(株)CASCAVEL FUTSAL CLUBE
期日 6月19日(金)
会場 町田市立総合体育館(東京都町田市南成瀬5-12)
参加チーム ペスカドーラ町田(東京都)、AABB(ブラジル)
入場料 (前売・当日) スタンド大人2千円、アリーナ大人3千円、スタンド子供500円、アリーナ子供1千円

(社)神奈川県サッカー協会

大会名 横浜開港150周年記念-国際少年サッカー大会
主催 (社)神奈川県サッカー協会
主管 (社)横浜サッカー協会
後援 (財)日本サッカー協会、横浜市市民活力推進局、(財)横浜市体育協会、(財)横浜開港150周年協会、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)
協賛 日本発条(株)、テイ・ジイ・エス(株)、コカ・コーラセントラルジャパン(株)他
期日 8月19日(水)~23日(日)
会場 ニッパツ三ツ沢球技場及び三ツ沢公園陸上競技場
参加チーム (国外)上海市、釜山市
(国内)新潟市、横浜市神奈川区、横浜市金沢区、横浜市泉区選抜チーム
入場料 無料

(社)神奈川県サッカー協会

大会名 平成21年度三県省道スポーツ交流事業
主催 三県省道スポーツ交流事業実行委員会
主管 三県省道スポーツ交流事業実行委員会、(社)神奈川県サッカー協会
後援 (財)日本サッカー協会
協賛 有
期日 8月24日(月)~28日(金)
会場 平塚市総合公園平塚競技場、県立保土ヶ谷公園サッカー場、県立体育センター球技場
参加チーム 3チーム
入場料 無料

(社)新潟県サッカー協会

大会名 第13回国際ユースサッカーin新潟
13th International Youth Soccer in Niigata
主催 (財)日本サッカー協会、北信越サッカー協会、(社)新潟県サッカー協会
共催 新潟県、新潟市、新発田市、聖籠町、新潟日報社、(株)アルビレックス新潟
主管 国際ユースサッカーin新潟 実行委員会
後援 開催地教育委員会、開催地体育協会
協賛 キリンビバレッジ(株)、(株)モルテン
期日 7月18日(土)~20日(月・祝)
会場 東北電力ビックスワンスタジアム 他開催地 計3会場
参加チーム (国外)U-17メキシコ代表、U-17スロバキア代表
(国内)U-17日本代表、U-17新潟選抜
入場料 (前売)大人800円、中高校生400円、(当日)大人1,000円、中高校生500円

(財)静岡県サッカー協会

大会名 2009SBSカップ 国際ユースサッカー大会
2009 SBS CUP International Youth Soccer
主催 (財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、静岡新聞社、静岡放送、
主管 (財)静岡県サッカー協会 2種委員会
後援 外務省、文部科学省、メキシコ大使館、フランス大使館、静岡県、静岡県教育委員会、

(財)静岡県国際交流協会、開催各市、開催各市教育委員会、開催各市国際交流協会、TBS、(社)静岡県サッカーを愛する会
協賛 (株)アディダスジャパン、キリンビバレッジ(株)
期日 8月22日(土)～25日(火)
会場 草薙陸上競技場、藤枝総合運動公園サッカー場、エコパスタジアム
参加チーム (国外)U-18 メキシコ代表、U-18 フランス代表
(国内)静岡ユース、U-18 日本代表
入場料 (前売)一般 1,300 円、高校生 600 円、中学生 300 円、小学生 200 円
(当日)一般 1,500 円、高校生 800 円、中学生 500 円、小学生 300 円

(財)愛知県サッカー協会

大会名 第10回豊田国際ユース(U-16)サッカー大会
The 10th TOYOTA International Youth (U-16) Football Championship
主催 (財)日本サッカー協会、(財)愛知県サッカー協会、豊田市、豊田市教育委員会、中日新聞社、東海テレビ放送、名古屋グランパスエイト、(株)豊田スタジアム、(財)豊田市体育協会
主管 西三河サッカー協会、豊田市サッカー協会
後援 外務省、メキシコ大使館、駐日韓国大使館、韓国文化院、(社)日本プロサッカーリーグ、愛知県、愛知県教育委員会、豊橋市、岡崎市、豊川市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、新城市、知立市、高浜市、田原市、三好町の各教育委員会、名古屋鉄道、愛知環状鉄道
協賛 有
期日 8月6日(木)～9日(日)
会場 豊田スタジアム
参加チーム (国外) メキシコ代表、韓国代表
(国内) 日本代表、名古屋グランパス・愛知県豊田市選抜
入場料 (前売) 通し券 1,200 円、1日券 高校生以上 500 円
(当日) 1日券 高校生以上 700 円

(財)岐阜県サッカー協会

大会名 第6回ぎふ国際ユースサッカー大会
The 6th International Youth Football Match
主催 (財)岐阜県サッカー協会、中日新聞社、東海テレビ放送
主管 (財)岐阜県サッカー協会2種委員会
後援 (財)日本サッカー協会、岐阜県、岐阜県教育委員会、(財)岐阜県体育協会、(財)岐阜県イベントスポーツ振興事業団、岐阜市、岐阜教育委員会、岐阜市体育協会
協賛 西濃運輸、田口福寿会
期日 8月4日(火)
会場 岐阜長良川球技メドウ(岐阜市長良福光青襖)
参加チーム (国外) U-16 メキシコ代表
(国内) U-16 岐阜選抜
入場料 (前売) 高校生以上 800 円
(当日) 高校生以上 1,000 円

(財)広島県サッカー協会

大会名 Balcom BMW CUP 平和祈念 広島国際ユースサッカー2009
Prayer for Peace; Hiroshima International Youth Soccer Games 2009
主催 (財)広島県サッカー協会、中国放送、中国新聞社、FMちゅーピー
主管 (財)広島県サッカー協会2種委員会
後援 (財)日本サッカー協会、広島市、広島市教育委員会、広島県教育委員会、(財)広島県体育協会、(財)広島市スポーツ協会
特別協賛 (株)バルコムモーターズ
協賛 (株)アシックス 他

期 日 8月9日(日)～12日(水)
会 場 広島広域公園第一球技場(8/9～8/12)
参加チーム (国外)チーバスU-18(メキシコ)、アヤックスケープタウンU-18(南アフリカ)
(国内)サンフレッチェ広島FCユース、広島県高校選抜
入場料 (前売)大人 1,000円、高校生 700円、中学生 500円、小学生 300円
(当日)大人 1,200円、高校生 1,000円、中学生 800円、小学生 400円

3. 国際競技会(有料・無料)・名義使用なし

(財)北海道サッカー協会

大会名 第9回北海道シニアサッカー大会
主 催 (財)北海道サッカー協会、北海道シニアサッカー連盟
主 管 空知地区サッカー協会、北海道シニアサッカー連盟
後 援 夕張市、夕張教育委員会
協 賛 (株)モルテン
期 日 8月22日(土)～23日(日)
会 場 夕張市夕張平和運動公園内各競技場
参加チーム 韓国(ソウル)シニア50・60の各1チーム
入場料 無

(財)北海道サッカー協会

大会名 日韓親善少年サッカー交流事業(旭川市・水原市姉妹都市交流)
ASAHIKAWA Suwon Junior Soccer Game for Friendship
主 催 日韓親善少年サッカー交流事業委員会
主 管 旭川地区サッカー協会
後 援 旭川市、旭川市教育委員会、(財)旭川市体育協会、旭川日韓友好親善協会、
在日本大韓国民団旭川支部、(財)北海道サッカー協会
協 賛 無
期 日 9月4日(金)～7日(月)
会 場 旭川市忠和公園多目的広場
参加チーム (国外)水原市U-12、水原市U-15、水原市U-18
(国内)旭川地区選抜U-12、旭川地区選抜U-15、旭川地区選抜U-18
入場料 無

(財)茨城県サッカー協会

大会名 ソウル大学・筑波大学 交流試合
主 催 (財)茨城県サッカー協会
主 管 (財)茨城県サッカー協会第1種委員会、筑波大学蹴球部
後 援 無
協 賛 無
期 日 7月29日(水)～8月4日(火)
会 場 筑波大学第一サッカー場
参加チーム (国外)ソウル大学
(国内)筑波大学
入場料 無

(社)千葉県サッカー協会

大会名 第19回コミュニティワールドカップサッカーin八千代
主 催 八千代市サッカー協会、八千代市、八千代市教育委員会
主 管 第19回コミュニティワールドカップサッカーin八千代実行委員会
後 援 八千代市体育協会
期 日 12月23日(水・祝)～26日(土)

会 場：八千代市総合運動公園多目的広場 他

参加チーム：(国外)大韓民国 仁川市選抜

(国内)とちぎ・帯広トレセンU-14(北海道)、青森県トレセンU-14(青森県)、
新潟県選抜(新潟県)、東京朝鮮選抜(東京都)、暁星中学校(東京都)、
桐蔭中学校(神奈川県)、開誠館中学校(静岡県)、宮崎県選抜(宮崎県)、
沖縄県島尻U-15(沖縄県)、ジェフ千葉U-14(千葉県)、習志野市選抜(千葉県)、
南総選抜(千葉県)、船橋市選抜(千葉県)、
八千代市トレセンU-14(A/B)(八千代市)

入場料：無料

(財)東京都サッカー協会

大会名 東京-ソウル親善サッカー定期戦 2009

主 催 (財)東京都サッカー協会

後 援 東京新聞、東京中日スポーツ

協 力 (株)モルテン

期 日 8月25日(火)、27日(木)

会 場 駒沢オリンピック公園総合運動場、陸上競技場

参加チーム (国外)ソウル特別市中学校選抜、ソウル特別市高校選抜

(国内)東京都選抜U-15、東京都中体連選抜、帝京高校、クラブユース連盟代表チーム

入場料 一般 1,000円、中高生 500円、小学生以下 無料

(財)東京都サッカー協会

大 会 名：第20回イギョラ杯国際親善ユースサッカー

主 催：(財)東京都サッカー協会

主 管：第20回イギョラ杯実行委員会、東京朝鮮中高級学校サッカー部OB会

後 援：東京都、北区サッカー協会 他

期 日：2010年3月20日(土)～22日(月・振休)

協 賛：(株)ヤナガワ、大都販売(株)、(株)叙々苑、ミズノ(株) 他

会 場：西が丘サッカー場、東京朝鮮高校グラウンド 他

参加チーム：東京朝鮮高校、FC東京U-18 他14チーム

試合の種類：無料試合

(社)神奈川県サッカー協会

大 会 名：小田原・済州友好親善サッカー大会

主 催：小田原・済州友好交流協会、(社)神奈川県サッカー協会

主 管：小田原サッカー協会

後 援：小田原市、小田原市教育委員会 他6団体

期 日：2010年2月20日(土)

会 場：小田原城山競技場

参加チーム：小田原市内の6年生選抜チーム、済州道の6年生選抜チーム

(財)静岡県サッカー協会

大 会 名：家康公記念杯第7回スーパーシニアサッカー大会

主 催：(財)静岡県サッカー協会、NPO法人清水サッカー協会

主 管：中東部支部シニア委員会、NPO法人清水サッカー協会シニア委員会

後 援：静岡市、静岡市教育委員会、静岡市国際交流協会

期 日：2010年3月20日(土)～21日(日・祝)

協 賛：JAしみず、(株)ミカサ

会 場：清水ナショナルトレーニングセンター、清水運動公園 ほか

参加チーム：韓国西帰浦市シニアチーム ほか33チーム

試合の種類：無料試合

(社)京都府サッカー協会

大会名 第26回日韓親善少年サッカー大会
The 26th Japan-キックオフ rea Primary School Boys Soccer Game
主催 (社)京都府サッカー協会
主管 京都サッカースポーツ少年団連盟
後援 京都府、京都市、京都新聞社、KBS 京都
協賛 JCI キックオフ REA 韓国京都
期日 7月20日(月・祝)
会場 京都市西京極総合運動公園 陸上競技場(芝)
参加チーム (国外)韓国ソウル新亭初等学校
(国内)京都少年団選抜
入場料 無

(社)大阪府サッカー協会

大会名 第36回河内長野市招待少年サッカー大会
主催 (社)大阪府サッカー協会、河内長野市サッカー連盟
主管 河内長野市サッカー連盟ジュニア委員会
後援 河内長野市、河内長野市教育委員会、河内長野市体育協会、
河内長野市国際交流協会、読売新聞社
協賛 無
期日 7月18日(土)~19日(日)
会場 河内長野市立赤峰市民運動広場、大師総合運動場
参加チーム 小学生36チーム(韓国2チーム)
入場料 無料

(社)大阪府サッカー協会

大会名 C E R E Z O C U P 第23回大阪招待国際ユース(U-16)サッカー大会2009
<第10回日・中・韓国国際ユースサッカー大会>
主催 (社)大阪府サッカー協会、(財)日本体育協会、(財)大阪体育協会
主管 (社)大阪府サッカー協会・事業委員会
後援 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会
協賛 大阪サッカークラブ(株)
期日 8月7日(金)~9日(日)
会場 長居スタジアム、長居第2陸上競技場
参加チーム (国外)上海選抜U-16(中国)、蔚山選抜U-16(韓国)
(国内)神奈川県選抜U-16、大阪府選抜U-16
入場料 (前売)一般1,000円、高校生500円、小・中学生200円
(当日)一般1,200円、高校生700円、小・中学生300円

(社)兵庫県サッカー協会

大会名 FUTSAL キックオフ KOBE FESTA 2009
主催 日本フットサル連盟、NPO兵庫県フットサル連盟、デウソン神戸、
シュライカー大阪
主管 FUTSAL キックオフ KOBE FESTA 実行委員会、日本フットサルリーグ、
後援 神戸市、神戸市教育委員会、神戸市体育協会、
(社)兵庫県サッカー協会、関西フットサル連盟、神戸新聞社、デイリースポーツ
協賛 (株)ミカサ、(株)ala 他
期日 6月13日(土)~14日(日)
会場 グリーンアリーナ神戸(兵庫県神戸市須磨区緑台)
参加チーム (国内)デウソン神戸、シュライカー大阪、フットサル兵庫県選抜
(国外)AABB(ブラジルサンパウロ州)
入場料 (前売・当日)プレミアムシート5,000円、カテゴリー1 2,000千円、
カテゴリー2 一般1,000円、小中500円

(社)長崎県サッカー協会

大会名 青少年日蘭交流事業(少年サッカー)
The boy of Japan and Holland Exchange Project(Boy's soccer)
主催 平戸市、(社)長崎県サッカー協会
主管 青少年日蘭交流事業(少年サッカー)実行委員会
後援 オランダ大使館、オランダ総領事館、長崎県、ノールトワイケルハウト市
協賛 無
期日 8月23日(日)
会場 平戸市総合運動公園(ライフカントリー)
参加チーム (国外)オランダ:VWSB、(国内)平戸市:市内6中学校選抜サッカーチーム
入場料 無料

4. 国内競技会(有料・無料)・名義使用あり

日本女子サッカーリーグ

大会名: チャレンジリーグ参入チーム決定戦2009
主催: (財)日本サッカー協会、日本女子サッカーリーグ
主管: 日本女子サッカーリーグ
期日: 11月21日(土)~23日(月・祝)
試合の種類: 無料試合

日本クラブユースサッカー連盟

大会名: 第2回JCYインターシティカップU-15サッカー北日本大会
主催: 日本クラブユースサッカー連盟、東北クラブユースサッカー連盟、
関東クラブユースサッカー連盟、北海道クラブユースサッカー連盟、
北信越クラブユースサッカー連盟
主管: 岩手県クラブユースサッカー連盟
後援: (財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、東北サッカー協会、
(社)岩手県サッカー協会
協賛: (株)モルテン
期日: 8月2日(日)~5日(水)
会場: 岩手県八幡平市 ASPA サッカー場
参加チーム: 20チーム(東北12、北海道2、北信越2、関東2、全年度優勝1、開催地1)
試合の種類: 無料試合

日本クラブユースサッカー連盟

大会名: 第6回中日本インターシティカップ(U-15)
主催: 日本クラブユースサッカー連盟
共催: 岐阜県飛騨市、(財)岐阜県サッカー協会
主管: 関西クラブユースサッカー連盟、東海クラブユースサッカー連盟、
北信越クラブユースサッカー連盟、JCYインターシティカップ大会実行委員会
後援: (財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ
協力: (株)ジャパン・スポーツ・プロモーション、JAPANサッカーカレッジ
協賛: (株)モルテン
期日: 8月6日(木)~9日(日)
会場: 飛騨市古川町ふれあい広場、杉崎公園グラウンド
参加チーム: 16チーム(関西8、東海5、北信越3)
試合の種類: 無料試合

日本クラブユースサッカー連盟

大会名: 第5回JCYインターシティカップサッカー(U-15)西日本大会
主催: 日本クラブユースサッカー連盟、中国クラブユースサッカー連盟、

四国クラブユースサッカー連盟、九州クラブユースサッカー連盟
主 管： 熊本県クラブユースサッカー連盟
後 援： (財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、九州サッカー協会、
(社)熊本県サッカー協会、阿蘇市教育委員会、阿蘇市体育協会
協 賛： (株)モルテン、(株)共同写真企画、司ビラパークホテル、ハヤカワスポーツ
期 日： 8月5日(水)～7日(金)
会 場： 司ビラパークホテル人工芝グラウンド、阿蘇市阿蘇町農村公園あびかグラウンド
参加チーム： 16チーム(中国5、四国3、九州8)
試合の種類： 無料試合

日本フットサル連盟

大 会 名： サンアリーナカップフットサルドリームマッチ(Fリーグ2009プレシーズンマッチ)
主 催： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟
主 管： 日本フットサルリーグ、(社)三重県サッカー協会、(株)スコルチャ三重、
(株)ジャパン・スポーツ・プロモーション、大洋薬品フットサルクラブ(株)
後 援： NPO法人伊勢市サッカー協会
協 賛： (株)赤福
期 日： 6月6日(土)
会 場： 三重県営サンアリーナ
参加チーム： 名古屋オーシャンズ、湘南ベルマーレ
試合の種類： 前売 大人1,000円 子供・シルバー500円
当日 大人1,200円 子供・シルバー700円

日本フットサル連盟

大 会 名： Fリーグ2009プレシーズンマッチ バサジィ大分 対 バルドラール浦安
主 催： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟、(社)鹿児島県サッカー協会
主 管： 日本フットサルリーグ、鹿児島県フットサル連盟
協 賛： 平成21年度スポーツ振興くじ助成事業
期 日： 6月28日(日)
会 場： 鹿児島県総合体育センター体育館
参加チーム： バサジィ大分、バルドラール浦安
試合の種類： 有料試合

日本フットサル連盟

大 会 名： Fリーグ2009プレシーズンマッチ ペスカドーラ町田 対 名古屋オーシャンズ
主 催： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟、(財)東京都サッカー協会、
東京都フットサル連盟
主 管： 日本フットサルリーグ、町田サッカー協会、(株)CASCAVEL FUTSAL CLUBE
期 日： 7月20日(月・祝)
会 場： 町田市立総合体育館
参加チーム： ペスカドーラ町田、名古屋オーシャンズ
試合の種類： スタンド大人2,000円 アリーナ大人2,500円
スタンド子供 500円 アリーナ子供1,000円 ※前売当日同一

日本フットサル連盟

大 会 名： 朝日新聞マッチDAY (Fリーグ2009プレシーズンマッチ)
主 催： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟
主 管： 日本フットサルリーグ、(財)北海道サッカー協会、北海道フットサル連盟、
旭川地区サッカー協会、旭川フットサル連盟
特 別 協 賛： 朝日新聞社
協 賛： (株)ファースト・フード・サービス、SFIDA
期 日： 7月20日(月・祝)
会 場： 旭川市総合体育館

参加チーム： エスポラーダ北海道、P. S. T. C. LONDRINA
試合の種類： 有料試合
入 場 料：前売大人 1,000 円、前売小人 500 円（6 歳未満無料）
当日大人 1,100 円、当日小人 600 円（6 歳未満無料）

日本フットサル連盟

大 会 名： Fリーグ 2009 プレシーズンマッチ
主 催： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟、(社)神奈川県サッカー協会
主 管： 日本フットサルリーグ、神奈川県フットサル連盟、
特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ
期 日： 7月31日(金)
会 場： 小田原アリーナ
参加チーム： 湘南ベルマーレ、UFC JAZZYSPORT 新横浜
試合の種類： 無料試合

日本フットサル連盟

大 会 名： Fリーグ 2009 プレシーズンマッチ 府中アスレティック FC vs バルドラール浦安
主 催： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟
主 管： 日本フットサルリーグ、(財)東京都サッカー協会、東京都フットサル連盟、
特定非営利活動法人府中アスレティックフットボールクラブ
期 日： 7月10日(金)
会 場： 駒沢体育館
参加チーム： 府中アスレティック FC、バルドラール浦安
試合の種類： 有料試合
入 場 料：大人 1,000 円、小中学生 500 円

日本フットサル連盟

大 会 名： Fリーグ 2009 プレシーズンマッチ 府中アスレティック FC vs FUGA TOKYO
主 催： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟
主 管： 日本フットサルリーグ、(財)東京都サッカー協会、東京都フットサル連盟、
特定非営利活動法人府中アスレティックフットボールクラブ
期 日： 7月27日(月)
会 場： 駒沢屋内球技場
参加チーム： 府中アスレティック FC、FUGA TOKYO
試合の種類： 有料試合
入 場 料：大人 1,000 円、小中学生 500 円

日本フットサル連盟

大 会 名： Fリーグ 2009 プレシーズンマッチ
主 催： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟
主 管： 日本フットサルリーグ、浦安スポーツネットワーク(株)、(社)千葉県サッカー協会
協 賛： (株)永谷園、(株)ダイニチ
期 日： 7月31日(金)
会 場： 浦安市運動公園総合体育館
参加チーム： バルドラール浦安、名古屋オーシャンズ
試合の種類： 有料試合
入 場 料：ホーム・ビジターサポーター席 2,000 円
アリーナ席（指定） 3,000 円 小人（15 歳以下） 全席 1,000 円

(社)岩手県サッカー協会

大 会 名： 2009 F U T S A L A P P I C U P
主 催： (社)岩手県サッカー協会
主 管： (社)岩手県サッカー協会フットサル委員会

後 援： (財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟、(社)青森県サッカー協会、
(社)秋田県サッカー協会、岩手県、岩手県教育委員会、(財)岩手県体育協会、
八幡平市、八幡平市教育委員会、(社)八幡平市体育協会、滝沢村、
滝沢村教育委員会、(財)滝沢村体育協会、岩手日報社、テレビ岩手、エフエム岩手
特別 協賛： (株)岩手ホテルアンドリゾート
期 日： 9月12日(土)～12月6日(日)
会 場： 安比高原テニスクラブ特別ピッチ、サンビレッジ紫波、滝沢村総合公園体育館
参加チーム： 82 チーム
試合の種類： 無料試合

(財)福島県サッカー協会
大 会 名： 第6回全国ガールズ8サッカーフェスティバル
主 催： (財)福島県電源地域振興財団、(株)日本フットボールヴィレッジ
主 管： (財)福島県サッカー協会
後 援： (財)日本サッカー協会、福島県
期 日： 2010年2月12日(金)～14日(日)
会 場： Jヴィレッジ
参加チーム： 各地域協会より選出された31チーム
試合の種類： 無料試合

(財)埼玉県サッカー協会
大 会 名： 第16回熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ“2010”」
主 催： (財)日本サッカー協会、(財)埼玉県サッカー協会、熊谷市、熊谷市教育委員会
主 管： 熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ」実行委員会
後 援： 埼玉県、埼玉県教育委員会、(財)埼玉県体育協会、全日本大学女子サッカー連盟
関東サッカー協会女子委員会、毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社
NHKさいたま放送局他
協 賛： (株)モルテン、(株)ウインスポーツ、本庄第一高等学校
期 日： 2010年3月25日(木)～29日(月)
会 場： 埼玉県熊谷市利根川総合運動公園サッカー場、熊谷市妻沼運動公園
参加チーム： 48 チーム
試合の種類： 無料試合

(社)神奈川県サッカー協会
大 会 名： ザ・ビーチ2009
主 催： ザ・ビーチ実行委員会、(財)藤沢市スポーツ振興財団、NPO ザ・ビーチ
主 管： ザ・ビーチ実行委員会
後 援： (財)日本サッカー協会、(社)神奈川県サッカー協会
協 力： (株)資生堂
期 日： 7月25日(土)～26日(日)
会 場： 鶴沼海岸
参加チーム： 28 チーム
試合の種類： 無料試合

(社)神奈川県サッカー協会
大 会 名： 第2回夏の高校生フットサル大会
主 催： フジテレビジョン
主 管： (社)神奈川県サッカー協会
後 援： (財)日本サッカー協会
協 賛： 大塚製薬(株)、(株)ラウンドワン、日本シグマックス(株)
協 力： プーマジャパン(株)
期 日： 8月21日(金)
会 場： 川崎市とどろきアリーナ

参加チーム：12チーム（6地区から各2チーム）

試合の種類：無料試合

(社)長野県サッカー協会

大会名：第36回北信越フットボールリーグ AC長野パルセイロホームゲーム

主催：北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー連盟

主管：第36回北信越フットボールリーグ運営委員会 AC長野パルセイロ

期日：2010年4月～9月

会場：南長野運動公園総合球技場

参加チーム：グランセナ新潟、FC上田ジェンシャン 他5チーム

試合の種類：500円（高校生以上） 200円（中学生以下）

(財)静岡県サッカー協会

大会名：第23回全国少年少女草サッカー大会

主催：(財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、朝日新聞社、静岡市、
全国少年少女草サッカー大会組織委員会

主管：全国少年少女草サッカー大会実行委員会

後援：文部科学省、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市議会 他

期日：8月14日(金)～18日(火)

会場：アウトソーシングスタジアム日本平、静岡市内小・中学校グラウンド 他

参加チーム：男子 256、女子 48

入場料：無料

(財)静岡県サッカー協会

大会名：第24回全国少年少女草サッカー大会

主催：(財)日本サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、朝日新聞社

主管：全国少年少女草サッカー大会実行委員会

後援：文部科学省、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市議会 他

期日：2010年8月12日(木)～16日(月)

協賛：未定

会場：アウトソーシングスタジアム日本平、静岡市内グラウンド 他

参加チーム：男子：256チーム、女子：32チーム

試合の種類：無料試合

(財)愛知県サッカー協会

大会名：Fリーグ2009 プレシーズンマッチ

主催：(財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟

主管：日本フットサルリーグ、(財)愛知県サッカー協会、大洋薬品フットサルクラブ(株)

期日：6月17日(水)

会場：大洋薬品オーシャンアリーナ

参加チーム：名古屋オーシャンズ、AABB(ブラジル)

入場料：有料

(財)愛知県サッカー協会

大会名：Fリーグ2009 プレシーズンマッチ

主催：(財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟

主管：日本フットサルリーグ、(財)愛知県サッカー協会、大洋薬品フットサルクラブ(株)

期日：6月28日(日)

会場：大洋薬品オーシャンアリーナ

参加チーム：名古屋オーシャンズ、ペスカドーラ町田

試合の種類：有料試合

(財)愛知県サッカー協会

大会名：Fリーグ 2009 プレシーズンマッチ
主催：(財)日本サッカー協会、日本フットサル連盟
主管：日本フットサルリーグ、(財)愛知県サッカー協会、大洋薬品フットサルクラブ(株)
期日：7月26日(日)
会場：大洋薬品オーシャンアリーナ
参加チーム：名古屋オーシャンズ、バルドラール浦安
試合の種類：有料試合

(社)三重県サッカー協会

大会名：第9回伊賀市長杯女子サッカー大会・忍びの里レディーストーナメント
主催：伊賀市、伊賀市教育委員会、他
主管：(社)三重県サッカー協会、三重県サッカー協会女子委員会
後援：(財)日本サッカー協会、日本女子サッカーリーグ 他
期日：2010年3月20日(土)～21日(日・祝)
協賛：北伊勢上野信用金庫、JAいがほくぶ
会場：上野運動公園競技場・野球場
参加チーム：8チーム
試合の種類：無料試合

(社)沖縄県サッカー協会

大会名：第3回金武町長杯地域環境スポーツビーチサッカーフェスティバル
主催：金武町長杯ビーチサッカーフェスティバル実行委員会
共催：金武町、金武商工会、(社)沖縄県サッカー協会
主管：(社)沖縄県サッカー協会ビーチサッカー委員会
後援：(財)日本サッカー協会、沖縄県内新聞各社、放送局各社
協力：(株)モルテン、NPO法人ジャパンビーチサッカーネットワーク、
NPO法人グローバルスポーツアライアンス
期日：2010年3月6日(土)～7日(日)
会場：伊芸ビーチ
参加チーム：チャンピオンクラス15チーム、フレンドリークラス12チーム、
ジュニアクラス9チーム
試合の種類：無料試合

5. 国内競技会（有料・無料）・名義使用なし

(社)宮城県サッカー協会

大会名：J1昇格記念 ベガルタ仙台ドリームマッチ 2010
主催：(社)宮城県サッカー協会
主管：(社)宮城県サッカー協会
後援：仙台市、ベガルタ仙台ホームタウン協議会、ベガルタ仙台市民後援会、
河北新報、宮城テレビ
協賛：アイリスオーヤマ
期日：2010年1月30日(土)
会場：ユアテックスタジアム
参加チーム：ベガルタ仙台、宮城県出身Jリーグ選手
入場料：

	前売り	当日売り
SS 指定席	4,000 円	4,500 円
S 指定席	3,000 円	3,500 円
自由席大人	2,300 円	2,800 円
自由席小中	800 円	800 円
車椅子指定席	4,500 円	

(財)東京都サッカー協会

大会名：第60回早慶サッカー定期戦
主催：(財)東京都サッカー協会
主管：早稲田大学ア式蹴球部、慶應義塾体育会サッカー部
後援：朝日新聞社
期日：6月28日(日)
会場：国立競技場
参加チーム：早稲田大学ア式蹴球部、慶應義塾体育会サッカー部
入場料：前売 900円 当日 1,000円 小学生以下無料

(社)神奈川県サッカー協会

大会名：J1昇格記念試合 ベルマーレOB vs TAKE ACTION F.C.
主催：(社)神奈川県サッカー協会、(株)湘南ベルマーレ
主管：(株)湘南ベルマーレ
期日：2010年2月20日(土)13:00 キックオフ
会場：平塚競技場
参加チーム：ベルマーレOB vs TAKE ACTION F.C.
入場料：

	前売り	当日売り
一般指定	2,500円	3,500円
小中高指定	1,200円	2,500円
自由席大人	1,500円	2,000円
自由席小中高	800円	1,000円

(社)神奈川県サッカー協会

大会名：さがみはらサッカーフェスタ2010
主催：さがみはらサッカーフェスタ実行委員会、(社)神奈川県サッカー協会
主管：S.C.相模原
後援：相模原市、相模原市教育委員会、相模原市体育協会、相模原市商工会議所
協賛：味の素(株)、相模ガス(株) 他
期日：2010年1月31日(日)
会場：相模原麻溝公園競技場
参加チーム：S.C.相模原、JAPAN ドリームチーム
試合の種類：無料試合

(社)神奈川サッカー協会

大会名：2010第3回横浜F・マリノスカップU-17
主催：横浜マリノス(株)
主管：横浜マリノス(株)
後援：(社)神奈川県サッカー協会、神奈川新聞社、スポーツニッポン新聞社
協賛：NIKE JAPAN、安藤スポーツ(株)、スポーツニッポン新聞社 他
期日：2010年3月20日(土)~23日(火)
会場：保土ヶ谷公園サッカー場、マリノスタウン、みなとみらいスポーツパーク、しんよこフットボールパーク、日産フィールド小机
参加チーム：作陽高校、星稜高校、香川西高校、桐光学園高校、FC東京U-18、東京ヴェルディユース、ヴィッセル神戸U-18、横浜F・マリノスユース
試合の種類：無料試合

(社)山梨県サッカー協会

競技会名称：TAKE ACTION!甲府
主催：(社)山梨県サッカー協会
共催：一般財団 TAKE ACTION FOUNDATION
主管：(社)山梨県サッカー協会
開催日：4月12日(日)13:00 キックオフ

会 場 : 小瀬スポーツ公園陸上競技場
参加チーム : TAKE ACTION F.C、ヴァンフォーレ甲府
後 援 : 甲府市ほか山梨県市町村
協 力 : (株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
協 賛 : (株)はくばく、他
入 場 料 : S 席 3,000 円 A 席 (大人 2,500 円 小中高 1,000 円)、*65 歳以上は無料

(社)石川県サッカー協会

大 会 名 : 第 35 回北信越フットボールリーグ ツエーゲン金沢ホームゲーム
主 催 : 北信越サッカー協会、北信越社会人サッカー連盟
主 管 : 第 35 回北信越フットボールリーグ運営委員会、
有限責任中間法人石川フットボールクラブ
期 日 : 4 月 12 日(日)~7 月 12 日(日)
会 場 : 西部緑地公園陸上競技場、金沢市民サッカー場、津幡運動公園陸上競技場、
物見山陸上競技場
参加チーム : FC 上田ジェンシャン、JAPAN. S. C、グランセナ新潟、AC 長野パルセイロ、
松本山雅 FC、サウルコス福井、ヴァリエンテ富山
入 場 料 : 前売 大学生以上 800 円 小中高校生 200 円 園児以下無料
当日 大学生以上 1,000 円 小中高校生以上 300 円 園児以下無料

(財)静岡県サッカー協会

名 称 : 新春!チャリティ「藤枝初蹴り大祭 2010」
主 催 : (財)静岡県サッカー協会、(株)藤枝 MYFC、静岡新聞、静岡放送、(株)J プレイヤーズ
主 管 : (株)藤枝 MYFC
開催日 : 2010 年 1 月 3 日(日)11 時
会 場 : 藤枝総合運動公園サッカー場
参加チーム : 藤枝 MYFC、藤枝ドリームズ (藤枝地域出身 J リーグ選手)
後 援 : 藤枝市、(財)静岡県サッカー協会中西部支部、各種公共団体
協 賛 : 有
入場料 : スタンド席 2,000 円 芝生席 1,500 円
収益寄付先 : 利益を 100%寄付。
「藤枝市内福祉施設」「藤枝/焼津/島田/牧之原の各市役所・各サッカー協会」

(財)静岡県サッカー協会

大 会 名 : 第 17 回 静岡新春ジュニア U-11 サッカー大会
主 催 : (財)静岡県サッカー協会
主 管 : (財)静岡県サッカー協会中部支部、中部支部 4 種少年委員会
後 援 : (財)静岡観光コンベンション協会、静岡市体育協会、静岡市教育委員会
期 日 : 2010 年 1 月 9 日(土)~11 日(月・祝)
会 場 : 静岡県草薙陸上競技場・球技場 ほか
参加チーム : 男子 24 チーム、女子 12 チーム
試合の種類 : 無料試合

(財)静岡県サッカー協会

大 会 名 : 第 25 回記念大会 静岡県ヤングサッカーフェスティバル
主 催 : (財)静岡県サッカー協会
主 管 : (財)静岡県サッカー協会中部支部
後 援 : 静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、他
期 日 : 2010 年 3 月 7 日(日)
協 賛 : ヤマハ発動機(株)、(株)ヤマハフットボールクラブ、(株)エスパルス
会 場 : 静岡県草薙総合運動場 球技場
参加チーム : 日本高校選抜、静岡県高校選抜、ジュビロ磐田ユース、他 1 チーム
入 場 料 : 前売り 当日

一般	1,000 円	1,200 円
中高生	600 円	800 円
小学生	300 円	500 円

(社)兵庫県サッカー協会

大会名：FUTSAL キックオフ BE FESTA 2009
 主催：日本フットサル連盟、NPO兵庫県フットサル連盟、デウソン神戸、シュライカー大阪
 主管：FUTSAL キックオフ BE FESTA 実行委員会、日本フットサルリーグ、
 後援：神戸市、神戸市教育委員会、神戸市体育協会、(社)兵庫県サッカー協会、
 関西フットサル連盟、神戸新聞社、デイリースポーツ
 協賛：(株)ミカサ、(株)ala 他
 期日：6月13日(土)～14日(日)
 会場：グリーンアリーナ神戸(兵庫県神戸市須磨区緑台)
 参加チーム：(国内)デウソン神戸、シュライカー大阪、フットサル兵庫県選抜
 (国外)AABB(ブラジルサンパウロ州)
 入場料：(前売・当日)プレミアムシート5千円、カテゴリー12千円、
 カテゴリー2 一般千円、小中500円

(社)山口県サッカー協会

大会名：第5回中国フットサルリーグ柳井大会
 主催：中国サッカー協会
 共催：(社)山口県サッカー協会、柳井サッカー協会
 主管：中国フットサル連盟、中国フットサルリーグ運営委員会、
 山口県フットサル連盟、柳井サッカー協会
 後援：柳井市、柳井市教育委員会、柳井市体育協会、SAスポーツクラブ、
 NPO法人YANAI スポーツ振興
 期日：11月8日(日)
 会場：柳井市体育館
 参加チーム：8チーム
 入場料：前売 高校生以上1,000円 中学生以下500円 小学生未満無料
 当日 高校生以上1,500円 中学生以下800円 小学生未満無料

(社)鹿児島県サッカー協会

大会名：2009年度南日本招待ユースサッカー大会
 主催：(社)鹿児島県サッカー協会
 主管：鹿児島県サッカー協会高校連盟
 後援：鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、鹿児島県体育協会、
 南日本新聞社
 期日：12月13日(日)
 会場：鹿児島県立鴨池陸上競技場
 参加チーム：鹿児島県および他県の第88回全国高等学校サッカー選手権大会出場チーム、
 県トレセンユースチーム
 入場料：当日 一般1,000円 中高生500円 小学生・敬老パス持参者無料

6. 名義使用

(財)日本体育協会

事業名：第13回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流
 主催：(財)日本体育協会
 共催：(財)宮崎県体育協会、(財)富山県体育協会、(財)日本陸上競技連盟、
(財)日本サッカー協会、(財)日本テニス協会、(財)日本バレーボール協会、

(財)日本ソフトテニス連盟、(財)日本卓球協会、(財)日本バドミントン協会、
(財)全日本ボウリング協会、(財)日本ゲートボール連合、(社)日本綱引連盟、
(社)日本エアロビック連盟、宮崎県教育委員会、富山県教育委員会

期 間：派遣－5月21日(木)～27日(水)

受入－10月16日(金)～22日(木)

会 場：派遣－大韓民国/全羅北道 全州市

受入－宮崎県各地

事業内容：日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式。2002年サッカーワールドカップ大会の日韓両国の共同開催を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好を一層深め、更には両国のスポーツ振興を図ることを目的とする。

(財)日本体育協会

事業名：第13回日韓青少年夏季スポーツ交流事業

主 催：(財)日本体育協会

共 催：(社)和歌山県体育協会、(財)茨城県体育協会、(財)日本サッカー協会、
(財)日本バレーボール協会、(財)日本バスケットボール協会、(財)日本卓球協会、
(財)日本バドミントン協会

後 援：和歌山県教育委員会、茨城県教育委員会

期 間：派遣－8月16日(日)～22日(土)

受入－8月16日(日)～22日(土)

会 場：派遣－大韓民国/忠清北道 忠州市(予定)

受入－和歌山県各地

事業内容：日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式。2002年サッカーワールドカップ大会の日韓両国の共同開催を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好を一層深め、更には両国のスポーツ振興を図ることを目的とする。

(財)日本体育協会

事業名：第14回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流

主 催：(財)日本体育協会

共 催：(財)富山県体育協会、(財)栃木県体育協会、(財)日本陸上競技連盟、
(財)日本サッカー協会、(財)日本テニス協会、(財)日本バレーボール協会、
(財)日本ソフトテニス連盟、(財)日本卓球協会、(財)日本バドミントン協会、
(財)全日本ボウリング協会、(財)日本ゲートボール連合、(社)日本綱引連盟、
(社)日本エアロビック連盟、富山県教育委員会、栃木県教育委員会

期 間：派遣(大韓民国/釜山広域市)－2010年4月22日(木)～28日(水)

受入(富山県各地)－2010年10月15日(金)～21日(木)

事業内容：日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式。2002年サッカーワールドカップ大会の日韓両国の共同開催を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好を一層深め、更には両国のスポーツ振興を図ることを目的とする。

(財)日本体育協会

事業名：第14回日韓青少年夏季スポーツ交流事業

主 催：(財)日本体育協会

共 催：(社)茨城県体育協会、(財)岩手県体育協会、(財)日本サッカー協会、
(財)日本バレーボール協会、(財)日本バスケットボール協会、
(財)日本卓球協会、(財)日本バドミントン協会

後 援：茨城県教育委員会、岩手県教育委員会

期 間：派遣(大韓民国/済州道)－2010年8月16日(月)～22日(日)

受入(茨城県・岩手県)－2010年8月16日(月)～22日(日)

事業内容：日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式。2002年サ

サッカーワールドカップ大会の日韓両国の共同開催を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好を一層深め、更には両国のスポーツ振興を図ることを目的とする。

キリンホールディングス(株)

協力対象：キリンサッカーフィールド 2010

主催：キリンホールディングス(株)

協力：(財)日本サッカー協会、開催地都道府県サッカー協会

実施期間：2010年5月～11月の土日祝日

(6月11日～7月11日のW杯期間並びに7月及び8月は実施しない)

会場：秋田、福島、群馬、千葉、富山、愛知、奈良、岡山、島根、愛媛、佐賀、宮崎
屋外の天然芝・人工芝グラウンドを予定

内容：メイン講師・城彰二氏によるサッカー教室を実施。どなたでも応募可能なオープンキャンペーン方式。1会場約100名にて実施。

サッカーの技術を教えるだけでなく、知育・徳育・食育といった、青少年の成長過程において必要な他の要素を盛り込んで実施。

備考：2011年以降に実施する都道府県は、以下の通り。

<2011年>

北海道、岩手、茨城、東京、長野、福井、三重、兵庫、山口、香川、大分、沖縄

<2012年>

青森、山形、新潟、栃木、神奈川、岐阜、京都、和歌山、鳥取、高知、福岡、熊本

<2013年>

北海道、宮城、埼玉、山梨、石川、静岡、滋賀、大阪、広島、徳島、長崎、鹿児島

アディダスジャパン(株)

事業名：アディダスフットボールクリニック (U-12)

主催：アディダスジャパン(株)

共催：各販売店

協力：各開催都道府県サッカー協会

後援：(財)日本サッカー協会

開催期間：5月～11月

会場：北海道、宮城、埼玉、東京、神奈川、愛知、静岡、大阪、兵庫、鳥取、広島、熊本、宮崎、沖縄

事業内容：サッカーの次世代育成活動の一環として、アドバイザーにトム・バイヤー氏、小倉隆史氏、名波浩氏を迎え各地にてサッカークリニックを開催。各会場150名～300名で実施予定。各会場で選抜された3名が年末に行われる強化合宿に参加、さらに選抜された6名が中村俊輔クリニックに参加。

(株)朝日新聞社

事業名：朝日新聞ファミリーサッカースクール

主催：(株)朝日新聞社

特別協賛：(株)ファミリーマート

後援：(財)日本サッカー協会

期間：6月～12月

実施内容：小学校1～3年生の児童とその保護者を対象とした親子参加型のサッカースクールで、2009年6月から2010年3月までの期間に、全国21会場を実施予定。サッカーの楽しさ・技術を、講師(元日本代表選手)に教えてもらい、親子で一緒に楽しむ約2時間のプログラムを想定。

告知方法：朝日サッカーサポーターズクラブHP、ファミリーマート保有媒体における告知(店頭ポスター、WEB、店内放送、レジ液晶)等。

(財)日本スポーツクラブ協会

事業名：第2回全国スポーツクラブサミット

主催：(財)日本スポーツクラブ協会、全国スポーツクラブ連絡協議会
後援：(財)日本サッカー協会、文部科学省、厚生労働省、(財)日本体育協会、
(財)日本レクリエーション協会、(社)全国体育指導委員連合会
開催日：11月14日(土)・15日(日)
会場：独立行政法人国立青少年教育振興機構、国立オリンピック記念青少年総合センター
定員：200名
趣旨：東京オリンピック(1964年開催)以降、都市部を中心とした商業スポーツクラブも社会に溶け込み、その後2000年にスタートした「国のスポーツ振興基本計画」に基づく“総合型地域スポーツクラブ”も年々増加してまいりました。第2回の全国スポーツクラブサミットでは、我が国の生涯スポーツの施策と展望、我が国の生涯健康の施策と展望、スポーツ振興くじ(toto)とスポーツクラブの財源、の3つの特別講演に加え、さらに具体化したスポーツ振興くじ(toto)助成金申請のポイントの解説、また各種スポーツクラブが抱える諸課題に焦点を当て、そのクラブの継続的発展のための健康運動プログラムの導入を図るなど経営戦略的な領域にもメスを入れる多彩で斬新な取り組みとして企画した。

キヤノンカップ ジュニアサッカー実行委員会

行事名：キヤノンカップ ジュニアサッカー2010

開催日/会場：1次選考会 2010年5月/神奈川・愛知・兵庫

2次選考会 2010年6月/神奈川

国内遠征 2010年7月

主催：キヤノンカップ ジュニアサッカー実行委員会、(株)ニッポン放送プロジェクト

後援：文部科学省、(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ

主管：(社)横浜サッカー協会、(財)愛知県サッカー協会、(社)兵庫県サッカー協会

特別協賛：キヤノン(株)

参加チーム：216チーム

目的：様々なサッカープログラムを通して、21世紀を担う全国の少年・少女達の健全な育成とサッカーの普及・技術の向上、さらに、参加者同士の交流を深め、親善を図る。

(財)日韓文化交流基金

事業名：「21世紀東アジア青少年大交流計画」日韓姉妹都市交流ユースカップ

主催：(財)日韓文化交流基金

後援：(財)日本サッカー協会

開催日：7月20日(月・祝)～8月10日(月)

会場：アミノバイタルフィールド(サッカー大会会場)他、日本国内および韓国

参加団体：札幌市(札幌市内高校生・ソウル市内高校生)

山梨県(県立甲府城西高等学校・忠清北道内高等学校)

山梨県(県立甲府工業高等学校・近畿道抱川市内高等学校)

雲仙市(県立小浜高等学校・求礼高等学校・求礼農業高等学校)

鹿児島県(鹿児島県内高校生・全羅北道内高校生)

趣旨：今夏、韓国の地方自治体との間で姉妹交流提携を結んでいる、又は韓国への直行便が就航している日本の自治体5団体の参加のもと、両国高校生の強い絆と協力関係の構築を目的とした「日韓姉妹都市交流ユースカップ」を実施する。

概要：参加地方団体がそれぞれ、韓国の交流先での派遣事業と招へい事業を実施後、日韓交流都市ごとの混成チームによるサッカー大会及びプレゼンテーション・コンテストを開催。両方の評価に基づき総合優勝チームを決定する。

スポーツサイエンス・テクノロジー実行委員会

行事名：スポーツサイエンス・テクノロジー2009

主催：スポーツサイエンス・テクノロジー実行委員会

委員長/福永哲夫(鹿屋体育大学学長)、副委員長/宇治橋貞幸(東京工業大学教授)他

後援：文部科学省、経済産業省、東京都、(財)日本体育協会、

(財)日本オリンピック委員会、(独)日本スポーツ振興センター、

(財)日本サッカー協会 他

協 賛：(社)日本体育学会、(社)日本機械学会、日本臨床スポーツ医学会他
事 務 局：日本イージェイケイ株式会社
期 日：10月2日(金)～4日(日)
会 場：東京ビックサイト(西3ホール&会議棟)
来場対象：指導者、トレーナー、医療関係者、民間スポーツ施設関係者、教育関係者、
各種スポーツ協会関係者、選手他
開催趣旨：スポーツとサイエンス&テクノロジーの融合にフォーカスを当て、さまざまな研究機
関、企業に散在する最高度の研究成果を一堂に会することにより、スポーツサイエン
ス・テクノロジーのよりいっそうの発展に貢献することを目的とする。
内 容：基調講演、セミナー、体験コーナー、企業出展
入 場 料：無料(セミナーは有料)

(財)日本スポーツクラブ協会

事 業 名：第2回全国スポーツクラブサミット
主 催：(財)日本スポーツクラブ協会、全国スポーツクラブ連絡協議会
後 援：(財)日本サッカー協会、文部科学省、厚生労働省、(財)日本体育協会、
(財)日本レクリエーション協会、(社)全国体育指導委員連合他
開 催 日：11月14日(土)・15日(日)
会 場：独立行政法人国立青少年教育振興機構、国立オリンピック記念青少年総合センター
定 員：200名
趣 旨：東京オリンピック(1964年開催)以降、都市部を中心とした商業スポーツクラブも社
会に溶け込み、その後2000年にスタートした「国のスポーツ振興基本計画」に基づく
“総合型地域スポーツクラブ”も年々増加してまいりました。第2回の全国スポーツ
クラブサミットでは、我が国の生涯スポーツの施策と展望、我が国の生涯健康の施策
と展望、スポーツ振興くじ(toto)とスポーツクラブの財源、の3つの特別講演に加
え、さらに具体化したスポーツ振興くじ(toto)助成金申請のポイントの解説、また
各種スポーツクラブが抱える諸課題に焦点を当て、そのクラブの継続的発展のための
健康運動プログラムの導入を図るなど経営戦略的な領域にもメスを入れる多彩で斬新
な取り組みとして企画した。

第24回国民文化祭袋井市実行委員会

事 業 名：第24回国民文化祭・しずおか2009 スポーツ文化フェスティバル in FUKUROI
主 催：文化庁、静岡県、静岡県教育委員会、袋井市、袋井市教育委員会、
第24回国民文化祭静岡県実行委員会、第24回国民文化祭袋井市実行委員会
後 援：(財)日本サッカー協会、(財)日本オリンピック委員会、(財)静岡県体育協会、
(財)静岡県サッカー協会、(財)日本体育協会、全国体育指導委員連合他
開 催 日：10月31日(土)・11月1日(日)
会 場：小笠山総合運動公園 エコパアリーナ
対 象 者：県民(県外からの参加も可)
目 的：国民文化祭において“スポーツ文化フェスティバル”を実施することにより、「スポー
ツ」が市民生活の中に浸透し、実践することで市民の健康と活力の維持・増進を図る
ことを目的とする。

第23回全国健康福祉祭いしかわ大会実行委員会

第23回全国健康福祉祭いしかわ大会金沢市実行委員会

第23回全国健康福祉祭いしかわ大会七尾市実行委員会

事 業 名：ねんりんピック石川2010サッカー交流大会

主 催：厚生労働省、石川県、(財)長寿社会開発センター、
第23回全国健康福祉祭いしかわ大会実行委員会、
第23回全国健康福祉祭いしかわ大会七尾市実行委員会

主 管：(社)石川県サッカー協会

後 援：(財)日本サッカー協会

開催日：2010年10月9日(土)～11日(月・祝)

会場：金沢市 石川県西部緑地公園陸上競技場及び補助競技場、金沢市民サッカー場、
金沢市営球技場、七尾市、七尾市城山陸上競技場、七尾市田鶴浜多目的グラウンド、
能登島マリナーパーク海族公園多目的芝生広場

参加予定人員：延べ50万人(観客含む)

趣旨：「光る汗！輝くいしかわ 笑顔の輪」をテーマに開催する第23回全国健康福祉祭いしかわ大会(ねんりんピック石川2010)の総合開会式は、大会を象徴するオープニングイベントであり、石川らしさにあふれた演出をするとともに、全国から参加する選手が石川県の魅力に触れ、心から楽しみ、県民との幅広い交流の輪が生まれる式典とする

日本青年団協議会

行事名：第58回全国青年大会

趣旨：この大会は、地域を舞台にスポーツや文化活動といった様々な活動に取り組んでいる青年たちが都道府県の代表として全国各地から集まり、日ごろの地域活動の成果を仲間たちとともに発表し、また、その技術を競い合うことによって、青年同士の友好親善を深めるとともに、スポーツや文化活動が豊かに取り込まれる健康で文化的な生活を自らの手づくり出し、さらには、青年がその中心となりながら、子どもたちやお年寄りといった多様な世代が手を取り合って暮らせるような、真に豊かな地域社会の創造を目指し開催する。

主催：日本青年団協議会、(財)日本青年館、東京都

後援：文部科学省、(財)日本体育協会、NHK

協賛：内閣府、厚生労働省、各道府県又は道府県教育委員会、(社)中央青少年団体連絡協議会、(独)日本スポーツ振興センター、(財)日本バレーボール協会、(財)日本バスケットボール協会、(財)日本バドミントン協会、(財)全日本軟式野球連盟、(財)日本ソフトボール協会、(財)日本卓球協会、(財)全日本柔道連盟、(財)全日本剣道連盟、(財)全日本ボウリング協会、(財)日本サッカー協会、NPO法人日本アマチュア演劇連盟、(社)全日本合唱連盟、(社)日本将棋連盟、日本体育大学、(財)日本レクリエーション協会、(財)あしたの日本を創る協会、江戸川区、特定非営利活動法人テレビ日本美術家協会

期日：11月13日(金)～16日(月)

会場：東京体育館を中心にして行う

第58回大会の実施種目一覧：

体育の部

バレーボール(男・女)、バスケットボール(男・女)、バドミントン(男女混合)、軟式野球、ソフトボール(男)、卓球(男女混合) 柔道、剣道(男・女)、ボウリング、フットサル

芸能文化の部

演劇、人形劇、合唱、郷土芸能、写真展、生活文化展、将棋

意見発表の部

意見発表

熊野三山協議会、筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ、

日本サッカー史研究会、スポーツ文化研究会サロン2002

行事名：サッカー史シンポジウム「日本サッカーの始祖・熊野の中村覚之助」

開催日：2010年2月6日(土)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホール

主催：熊野三山協議会

共催：筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ、日本サッカー史研究会、
スポーツ文化研究会サロン2002

後援：(財)日本サッカー協会、日本サッカーミュージアム、
ビバ！サッカー研究会、中村覚之助を顕彰する会

入場料：無料

<趣旨>

明治時代に日本サッカーの黎明期の礎を築き、その後の発展に寄与した業績を検証し、日本サッカー史上での位置づけを明らかにする。

<基調講演者・パネリスト>

山本 殖生 (熊野三山協議会幹事)、中村統太郎 (中村覚之助氏の子孫)

真田 久 (筑波大学人間総合科学研究科教授)、加藤 弘 (和歌山大学教育学部教授)

EXILE CUP 実行委員会

行事名: EXILE CUP 2010～日本代表応援ソング誕生記念～

開催日: 予選大会 7～9月、決勝大会 10～11月

会場: 予選大会 10会場

(東京・神奈川・静岡・新潟・宮城・愛知・兵庫・大阪・広島・大分)

主催: EXILE CUP 実行委員会 ((株)LDH、アディダスジャパン(株))

後援: (財)日本サッカー協会

主管: (財)東京都サッカー協会、(社)神奈川県サッカー協会、(財)静岡県サッカー協会、(社)新潟県サッカー協会、(社)宮城県サッカー協会、(財)愛知県サッカー協会、(社)兵庫県サッカー協会、(社)大阪府サッカー協会、(財)広島県サッカー協会、(社)大分県サッカー協会

特別協賛: (株)LDH

協力: アディダスジャパン(株) 他

参加チーム: 480 チーム (48 チーム×10 会場)

目的: 日本代表応援ソング誕生を記念して、2010年FIFAワールドカップの盛り上げと、21世紀を担う全国の子供達達の健全な育成とサッカーの普及・技術の向上を図る。また歌を通じ様々な人達にメッセージを送り続ける EXILE が、サッカーを愛する子供達に夢と希望を与え、本イベントから得るかけがえのない貴重な体験を未来への財産とし、世界を舞台として活躍する豊かな人間形成に貢献する。

株式会社 Jリーグエンタープライズ

施設名称: SAMURAI BLUE Café (サムライ・ブルー・カフェ)

主催: 株式会社 Jリーグエンタープライズ

協力: (財)日本サッカー協会

後援: サンケイスポーツ、日刊スポーツ、スポーツ報知、スポーツニッポン、デイリースポーツ、東京中日スポーツ

協賛: キリンビール株式会社、キリンビバレッジ株式会社、アディダスジャパン株式会社、ソニー株式会社

場所: 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5JPR 千駄ヶ谷ビル 1F

期間: 2010年4月26日(月)～7月14日(水)

※日本代表が敗退時点で終了予定 ※期間無休、営業時間 11:30～23:00

収容: 80席 (約70坪)

展開内容: 2010ワールドカップに出場する SAMURAI BLUE (日本代表チーム) を応援するサポーター、ファンに対し、情報、イベント、交流を通じ「集まる」、「応援する輪・力」を大きくすることを目的とし、カフェ (飲食、アルコール提供)、グッズショップ、イベントなどを実施すると共にスポンサーアクティビティスペースの提供を行う。また、本協会が企画運営する「SAMURAI BLUE PARK」サテライト機能を有する。

Jリーグ選手協会

事業名: 第一三共(株)共催 Jリーグ選手協会ファミリーサッカークリニック

主催: 第一三共(株)、Jリーグ選手協会

後援: (財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ

期間: 9月、10月の日曜日

会場: 関東

事業内容: 一般募集で選ばれた親子100組(小学校4～6年生)が参加。

子供は、Jリーガーとサッカー教室に参加し、保護者の方は、チームドクターから「成長期におけるスポーツ障害」などのテーマで講演に参加する。

参加者：親子 …100組 200名
選手・講師 …10名程度
スタッフ・ボランティア …40名程度

Jリーグ選手協会

事業名：Jリーグ選手協会 サッカースクール

主催：Jリーグ選手協会

後援：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ

協賛：三井物産(株)、三井住友海上火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、九州電力(株)(九州開催のみ)

期間：関東 6月14日(日)

九州 9月13日(日)

関西 10月25日(日)

広島 9月、10月

会場：関東 東京都西東京市／三菱東京UFJ銀行武蔵野クラブ

九州 福岡県福岡市／和白青松園

関西 兵庫県伊丹市／住友総合グラウンド

広島

事業内容：現役選手の社会性向上とサッカー文化の普及を図る目的で、養護施設の子供を対象とした社会貢献活動の一環として行っているもの。

参加者：各地区 養護施設児童 …70～100名

選手 …10名程度

スタッフ・ボランティア …40名程度

Jリーグ選手協会

事業名：「Jリーグ選手協会 3on3 サッカーフェスティバル」

主催：Jリーグ選手協会、中日新聞社

後援：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ

開催日：8月30日(日)

会場：ナゴヤドーム(愛知県名古屋市)

参加者：全国の小中学生 約1,000名

現役選手 5名程度

OB選手 5名程度

概要：現役選手及びOB選手の社会性の向上とサッカー文化の普及を図る目的で、誰でも簡単に参加できる3on3のサッカーフェスティバルを、民間企業の協力を得て選手協会主催で今年より開催する。

※3on3とは、3人一組で行うミニサッカーゲーム

※ルールは、ゴールキーパーなし、キックイン、オフサイドなし、他はサッカーと同じ。

(社)日本プロサッカーリーグ

事業名：名波浩氏引退試合

主催：(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ

主管：(株)ヤマハフットボールクラブ

開催日：2010年1月10日(日)15:00 KICキックオフFF

会場：静岡エコパスタジアム

テレビ放送：SBS・TBS-B S

対戦カード：STELLA JUBILO (ステッロ・ジュビロ) VS

AZZURRI GIAPPONE (アズーリ・ジャポーネ)

(財)静岡県サッカー協会

事業名：静岡ゴールデンサッカーアカデミー2009

主催：静岡ゴールデンサッカーアカデミー大会実行委員会

主管：(財)静岡県サッカー協会技術委員会、

(財)静岡県サッカー協会 東部・中東・中部・中西・西部支部
後援：(財)日本サッカー協会、静岡県教育委員会、駐日アルゼンチン大使館
期間：7月1日(水)～8月31日(月)
会場：県内各支部、各地区会場
目的：

- ・県内の広範囲で、長期間にわたる指導者講習を実施することによって、各地域でリーダーシップを発揮できる指導者を育成する。
- ・海外コーチによる新たな視点に立った指導を体験することによって、県内指導者の意識改革を図るとともに資質の向上を図る。
- ・指導者講習を継続していくことによって、サッカー先進県として全国をリードする指導体制を構築し、静岡県のサッカーレベルアップに繋げる。

講師：Miguel Angel Mico (アルゼンチンサッカー協会推薦)
対象者：指導者、小中学生、女子選手、保護者等

(社)沖縄県サッカー協会
事業名：サッカースタジアム建設推進ウマンチュ総決起大会 (目標：1万人)
主催：(社)沖縄県サッカー協会
後援：(財)日本サッカー協会
開催日：8月8日(土)
会場：奥武山陸上競技場 (在那覇市：サッカースタジアム建設希望地)
趣旨：「様々なサッカーシーンを通じて県民が幸福を感じることができる環境を作り上げる」ことをビジョンとして掲げ、サッカーファミリーのための環境作りやサッカーの普及発展等に日々努力奮闘しているが、フットボールセンターやサッカー専用スタジアムが無く、子どもたちの夢に応えられていない現状を変えていきたい。
概要：サッカーファミリーの熱い思いを行政にアピールする為、来場者1万人を目標に「サッカースタジアム建設推進ウマンチュ総決起大会」を開催する。

7. 標章使用

近畿大学世耕弘一先生建学史料室

使用目的：近畿大学の創設者である世耕弘一先生の記念史料館展示室開設にあたり、先生の生立ちの紹介として故郷である熊野の模型(ジオラマ)を作成。その解説用のスライドに、本宮大社の八咫鳥に続き、本協会の標章を使用。

グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

使用目的：2009年7月14日付にて署名・参加団体となった国連グローバル・コンパクトに関する件。日本国内の活動推進プラットフォームであるグローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークより、年内を目途に国内参加団体数が100を迎えるとのことから、各団体向けに啓発用のポスターを作成。そのポスターに、各企業・団体の標章をデザインするもの。尚、デザイン案として、チームスピリットをイメージしてサッカーのユニフォームを採用している。

東京新聞出版部

使用目的：書籍の表紙カバー及び本文

関西サッカー協会

使用目的：関西学生サッカー連盟(1種)設立の「関西学生サッカー未来・夢会員証」への掲示のため

(社)宮城県サッカー協会

使用目的：フットボールセンター標識

NPO法人 山形県サッカー協会

使用目的：名刺作成、10名分・各100枚

(社)千葉県サッカー協会

使用目的：協会旗4枚

(社)福井県サッカー協会

使用目的：看板

(財)静岡県サッカー協会

使用目的：全国高等学校サッカー選手権大会 静岡大会用 優勝旗

(社)三重県サッカー協会

使用目的：PUMA CUP 2010 三重県大会のパンフレット

(財)岐阜県サッカー協会

使用目的：IDカード200枚

(社)滋賀県サッカー協会

使用目的：名刺作成、34名分・各100枚

(社)京都府サッカー協会

使用目的：ADカード 50枚

(財)広島県サッカー協会

使用目的：広島サッカー85年史発刊

(社)高知県サッカー協会

使用目的：名刺作成、29名分・各100枚

(社)徳島県サッカー協会

使用目的：「TOKUSHIMA フットボールセンター」表看板

(社)長崎県サッカー協会

使用目的：会旗1枚

(社)大分県サッカー協会

使用目的：スポーツ外傷・障害防止プロジェクト推進 ステッカー200枚作成

(社)大分県サッカー協会

使用目的：表彰状1,000枚作成

V 社会貢献事業

1. J F A こころのプロジェクト

2007年度からスタートしたJ F A こころのプロジェクト“夢の教室”は着実に成長して3年目を終えた。サッカー選手だけでなく、他競技のアスリートやその他ジャンルの方も夢先生としてこのプロジェクトに参加している。教育関係者からの評価も高く、クラス単位での開催にもかかわらず、既に3年間通算で約55,000人の児童が受講している。

- ①全国各地及び海外3カ国で“夢の教室”を展開
- ②2009年度は792回(378校)実施し、24,937人が受講。また、12の自治体が「夢の教室」実施について予算措置を講じる。
- ③2010年3月31日現在、394人の夢先生を登録。
- ④この3年間で28のJクラブをはじめ全部で60ものサッカー、フットサルのクラブが“夢の教室”を実施。
- ⑤担任の先生が自ら夢を語る「担任ユメセン」と中学校の生徒を対象とした「中学校ユメセン」(いずれも仮称)をトライアル実施。

2. 環境プロジェクト

- ①地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」への継続参加
※2010年1月より、「チャレンジ25キャンペーン」へと変更
- ②スタジアムでの環境活動(クリーンサポーター活動、リサイクル活動)
- ③スタジアム環境調査活動
海外諸国のスタジアムの環境設備調査、競技会開催における二酸化炭素排出量調査

VI 検定球リスト

検定社	商標名	製造方法	材質	枚数	号球
1 (株)モルテン	① モルテン	縫い	人工皮革	32	5
	② モルテン	貼り	人工皮革	32	5
	③ モルテン	縫い	人工皮革	32	4
	④ モルテン	貼り	人工皮革	32	4
	⑤ モルテン	縫い	人工皮革	32	4
	⑥ アディダス	縫い	人工皮革	32	5
	⑦ アディダス	貼り	人工皮革	32	5
	⑧ アディダス	貼り	人工皮革	14	5
	⑨ アディダス	縫い	人工皮革	32	4
	⑩ アディダス	貼り	人工皮革	32	4
	⑪ アディダス	縫い	人工皮革	32	4
	⑫ アディダス	貼り	人工皮革	32	4
2 プーマジャパン(株)	① プーマ	縫い	人工皮革	32	5
	② プーマ	縫い	人工皮革	32	4
	③ プーマ	縫い	人工皮革	32	4
	④ プーマ	縫い	人工皮革	24	5
	⑤ プーマ	縫い	人工皮革	28	5
	⑥ プーマ	縫い	人工皮革	28	4
3 (株)ミカサ	① MIKASA	縫い	人工皮革	32	5
	② MIKASA	縫い	人工皮革	32	4
	③ MIKASA	縫い	人工皮革	32	4
4 (株)ナイキジャパン	① ナイキ(NIKE)	縫い	人工皮革	32	5
	② ナイキ(NIKE)	縫い	人工皮革	32	4
	③ ナイキ(NIKE)	縫い	人工皮革	32	4
5 ミズノ(株)	① ミズノ	縫い	人工皮革	32	5
	② ミズノ	縫い	人工皮革	32	4
	③ ミズノ	縫い	人工皮革	32	4
6 (株)イミオ	① SFIDA	縫い	ポリウレタン合成皮革	32	4
7 (株)ロイヤル	① shadow	縫い	人工皮革	18	5
	② shadow サッカーボール4号	縫い	人工皮革	18	4
	③ mitreサッカーボール (Santos)	縫い	人工皮革	18	5
	④ mitreサッカーボール4号(Santos)	縫い	人工皮革	18	4
8 (株)グローバル	① グローバル フットサル	縫い	人工皮革	32	4
9 (株)デサント	① UJS6501(UMBRO)	縫い	人工皮革	32	
	② UJS6502(UMBRO)	縫い	人工皮革	32	5
	③ UJS6701(UMBRO)	縫い	人工皮革	32	5
	④ QA-9511 TRIATOM	縫い	人工皮革	32	
10 (株)ディアドラ・ジャパン	① FA8702サッカーボール(GAMMA)	縫い	人工皮革	32	4
	② FA8701サッカーボール(GAMMA)	縫い	人工皮革	32	5
	③ SA8703フットサルボール(GAMMA)	縫い	人工皮革	32	4
11 (株)ウインスポーツ	① サッカーボール ポーラ・カンポ	縫い	人工皮革	32	5
	② フットサルボール フットサルMAX	縫い	人工皮革	32	4
12 (株)セプター	① セプター	縫い	人工皮革	32	5
13 カメイ・プロアクト(株)	① FBL-003	縫い	人工皮革	32	4

Ⅶ 加盟登録チーム・選手数

1 加盟登録チーム・選手数（準加盟含む）

	第1種	第2種	第3種	第4種	女子	シニア	合計
チーム	7,206	4,178	7,154	8,367	1,224	689	28,818
選手	172,700	154,559	237,964	280,380	25,268	18,045	888,916

2 フットサル個人登録選手数

	15歳未満			一般			合計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
選手	63,875	4,587	68,462	47,909	7,597	55,506	123,968

VIII プレジデント・ミッション

2009年度 業務総括

業務全般

- ▶ 「JFAメンバーシップ基本還元金」および「プレジデント・ミッション支援制度」の2011年度以降の運用に関して、JFAが行っている事業の中で、都道府県協会で管理できるものは可能な限り運営の裁量権を都道府県協会へ移譲することを今後推進するため、地域性や独自性を発揮した取り組みが行えるような計画を立案した。
- ▶ 新たに設立した協会を含め48の都道府県協会支部協会が設置されており、105の地区協会、455の市区郡町村協会が都道府県協会と正式関係を構築するなど組織整備が進んでいる。
- ▶ サッカーファミリー500万人に向け、都道府県別の目標数を提示した。また、都道府県協会と協力し登録せずにサッカーを楽しむプレーヤーの実態調査を行い、約21万人存在することが把握できた。
- ▶ 支援制度対象事業の活動視察・ヒアリングを通じて、事業継続・拡大のための受益者負担を含む自主財源確保の重要性を訴えた結果、2010年度の企画内容に盛り込まれるなど、意識の変化がみられた。
- ▶ 全国から集まるジョイントミーティングに加え、キッズプログラムに関する地域単位の自主的なジョイントミーティングを実施した。より多くの担当者が出席でき、活発に意見・情報を交換するなど、新しいコミュニケーションの場を創出することができた。
- ▶ 「ポット苗方式芝生化モデル事業」では、前年度の3倍以上の面積となる157,000㎡（サッカー場22個分相当）の芝生化を実施するとともに、全国に苗づくりの拠点を10ヶ所設けることができた。
- ▶ 小学生年代の、生活圏内でのリーグ実施に対する支援制度を立ち上げ、推進した結果、31の都道府県で活用され、2010年度には41の都道府県で活用が予定されるなど、リーグ文化の醸成が進みつつある。
- ▶ 指導者不足から活動が制限されてしまう中学生年代や女子の活動を支援するために、行政や学校と連携して外部指導者を派遣する取り組みを推進した。成功事例をJFA公式ホームページで紹介するとともに、問い合わせ窓口を設置し、個々の案件に対応した。
- ▶ JFAスポーツマネジャーズカレッジ（SMC）サテライト講座は新たな5県を含む10都府県で実施することができた。

M1：「JFAメンバーシップ制度」の推進

- ▶ サッカーファミリーカテゴリーについて検討した結果、コアファミリーとなる選手数（非登録者含む）の把握を優先事項と位置づけ、選手数把握に関して他団体との連携や調査会社の利用を検討した。
- ▶ 都道府県協会のタスクフォース担当者と連携し、各都道府県の地区／市区郡町村内のキッズやJFA登録せずに不定期にサッカーを楽しむプレーヤーに関する調査を実施。結果、29都道府県において約21万人が存在することが判明した。

M2：「JFAグリーンプロジェクト」の推進

- ▶ 「ポット苗方式芝生化モデル事業」を推進し、全国50ヶ所を対象に、157,000㎡（サッカー場22個分相当）の芝生化を実施した。また、各地の都道府県サッカー協会やJクラブ、まちクラブ等の協力を得ることで、全国10ヶ所の苗づくり拠点で計66万株の芝生の苗を生産することができた。
- ▶ 2009年度の都道府県フットボールセンター整備事業として、宮城県、奈良県、山口県の計3ヶ所に新たなフットボールセンターの整備のための助成を行った。また、2010年度の都道府県フットボールセンター整備事業として、岩手県、秋田県、長野県、和歌山県、大分県の計5ヶ所に助成金の交付決定を行った。

- 芝生化をより一層推進するためのDVDを制作した。

M 3：「JFAキッズプログラム」の推進

- 9地域にてジョイントミーティングを開催することにより、キッズ担当者が多数参加することができた。各地域における担当者同士のコミュニケーションや情報共有が可能となり、また現状理解や課題等が明確になるなど、有意義なものとなった。
- 6月兵庫にて開催したジョイントミーティングにおいて、キッズリーダーインストラクターの研修を行い、指導者の質的向上を図った。
- 各都道府県における巡回指導の回数や参加人数等の調査を行った。キッズ年代においてサッカーを経験した子供たちの数等を把握できたことにより、巡回指導の重要性を再認識した。

M 4：中学生年代の環境充実

- 2009年度の支援制度対象FA数が、前年度の28FAに対し30FAに増加した。
- 「他年代との連携」について積極的に取り組んでいる先進好事例2件をJFA newsにて紹介し、全国での同様の取り組みを推進した。
- C級指導者講座を開設している地域の大学・専門学校をジョイントミーティングで紹介し、連携を促すことで、指導者不足対応・外部指導者登用に対する全国での取り組みを推進した。
- 2010年度の支援制度の対象FAについて、ジョイントミーティングのオブザーバー出席FAを含む新規の3FAを加えた32FAを選定した。

M 5：エリート養成システムの確立

- 6月の兵庫でのジョイントミーティングでは、指導者のあり方に関する情報展開を行い、1月の富山でのジョイントミーティングでは、キッズエリートの指導ガイドラインの概要展開による、育成・強化における一貫性指導の指針を提示した。
- 各都道府県の実状に応じた生活圏内におけるキッズエリート活動が定期的に行われる様、また活動基盤がより充実する様、活動視察やヒアリングを行い、情報収集と情報発信を行った。
- 2010年度支援制度の募集及びヒアリングを通じて、活動基盤（組織）作り・受益者負担/自主財源確保・事業継続の重要性を訴え、協力を促進した。
- 未着手の都道府県協会に対してアプローチし、前年度より6多い42都道府県協会に対して支援制度を行った。

M 6：女子サッカーの活動推進

- 1地域/42都道府県協会にて85件の支援制度を行った。
- 外部指導者派遣のテストケースとして、東京都江東区・文京区においては教育委員会・中学校・大学と、千葉県ではなでしこリーグのクラブと連携して、中学校を拠点とする活動に対して指導者派遣を継続的に実施した。
- ジョイントミーティングにおいて、フットサルとの連携をディスカッションテーマとして議論し、また「M7、フットサルの普及推進」のジョイントミーティングでも女子を取り上げ、相互の担当者に連携を促した。
- 「女子チーム活動サポート窓口」を設置し、個々の案件への対応や情報収集を行った。また、JFAホームページ上で成功事例を発信することにより、チーム創出にむけた活動を促進した。

M 7：フットサルの普及推進

- 4地域協会/41都道府県協会87企画の支援制度を行った。
- 「M6、女子サッカーの活動推進」のジョイントミーティングにて、フットサルとの連携を促した。
- 民間施設の利用について、都道府県協会の取り組みを行う際の費用負担を安価にってもらう代わりに、施設の告知に協力するなど、双方のメリットを模索した取組が行われた。

M 8：リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

- 高校生年代は40都道府県協会、中学生年代については6地域協会/40都道府県協会にて「地域/都道府県リーグ」が支援制度を活用して実施された。また他部署・ユースダイレクター等と連携を図り、2010年度には全9地域で中学生年代地域リーグが実施されることとなった。
- リーグ戦を推進し各年代でのプレー機会を確保してきた結果、登録数が高校生年代では1,512人

増加、中学生年代では1,450人増加した。

- 「小学生年代における日常の生活圏内でのリーグ戦」を新たに支援制度として立ち上げ、31の都道府県で5,000チーム以上が参加し、30,000試合以上が行われた。また本支援制度を活用し、2010年度には41都道府県でリーグ戦が実施されることとなり、小学生年代のリーグ環境が整備されつつある。

M 9：地域／都道府県協会の活動推進

- 前年に引き続き、JFA各部長をリーダーに同日で複数の都道府県協会を訪問、効率良く会議を実施することができた。理事長やチーム指導者をはじめとする地区・市区郡町村協会の関係者も多く出席、「生活圏内における小学生年代のリーグ」や「審判の育成と強化」といった主要テーマからグラスルーツ活動に関する貴重な意見交換の場とすることができた。
- スポーツ振興助成をはじめ各種補助金制度を積極的に活用、事業規模拡大や新規事業を実施する等、地域性や独自性を発揮し、グラスルーツ活動の環境充実に多くの都道府県協会が取り組んだ。
- 支援制度（タスクフォース）を通じ、訪問会議や事業委託等を多くの都道府県協会が実施し、積極的な関係構築や交流機会が増え続けている。JFA-都道府県協会-地区／市区郡町村協会との連携が生まれ、新たな人材の登用や発掘も行われた。
- 5地域協会／46都道府県協会が支援制度の対象FAとなり、リーグ戦の導入やフェスティバルの開催など、シニア年代がプレーできる環境や機会が増加した。

M10：中長期展望に立った方針策定と提言

- JFA/Jリーグ将来構想委員会の幹事として、日本のサッカーリーグの全体的な在り方について取りまとめるとともに、特に社会人のリーグについては1種大会部会/JFLのメンバーと協働して将来像についての検討を開始した。

M11：スポーツマネジメントの強化

- JFAスポーツマネジャーカレッジ（SMC）本講座を実施し、27名が修了した。
- SMC サテライト講座を、埼玉／東京／神奈川／静岡／愛知／大阪／兵庫／島根／山口／沖縄の計10ヶ所で実施し、計188名の方々に受講してもらった。
- SMC 入門（仮称）の運用開始に向けたスキームを検討し、指定副読本の制作に着手した。
- SMC リフレッシュ講座を堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター（NTC）で実施した。

IX 日本サッカーミュージアム事業

(2009年4月1日～2010年3月31日)

〈入場者数〉ピッチ（地下2階）有料フロア入場者を対象

- 開館（2003年12月12日）から2010年3月31日（水）まで1,957営業日、286,759人の総入場者。
- 有料入場者256,540人（89.5%）、招待者30,219人（10.5%）にご来館いただいた。
- 一日最高入場者数は2006年2月25日（土）の3,110人。
- 一日最低入場者数は2008年7月18日（金）の7人。
- 招待者を含めた平均単価は390.9円（前売り入場券含む）。
- 2009（平成21）年度は314営業日、30,486人（1日平均97.0人）の総入場者。
- 有料入場者25,275人（82.9%）、招待者5,211人（17.1%）。
- 一日最高入場者数は2009年5月5日（祝/火）の719人。
- 一日最低入場者数は2009年5月7日（木）の10人。
- 招待者を含めた平均単価は322.2円（前売り入場券含む）。
- 5月5日（火・祝）入場者26万人達成。渡辺操さん（50歳・宮城県柴田郡）。
- 8月18日（火）入場者27万人達成。岡本隆志さん（10歳・神奈川県相模原市）。
- 1月2日（土）入場者28万人達成。中川かよこさん（40歳・長崎県雲仙市）。

〈特別来客〉

- 4月2日（木）シャムスカ大分トリニータ監督。
- 4月21日（火）韓国サッカー協会協会長一行。
- 5月17日（日）JFAインターナショナルレフリーインストラクターコース27名。
- 6月6日（土）日メコンサッカー交流団150名。
- 8月18日（火）杭州绿城足球クラブ副社長一行17名。
- 8月25日（火）中国サッカー協会デレゲーション6名。
- 8月28日（金）東京ソウル親善試合参加ソウル市選抜51名。
- 9月7日（月）タイ政府訪日団15名。
- 10月7日（水）香港サッカー協会会長一行。
- 10月20日（火）ブラジル・パラナ州友好経済使節団20名。
- 12月24日（木）ダンスヴォーカルユニット「EXILE」HIROさん、ATSUSHIさん。
- 2月6日（土）文京区第三期英語観光ボランティア育成講座14名。
- 2月9日（火）東アジア選手権2009審判員一行25名。
- 2月23日（火）東京都体育施設協会34名。
- 2月28日（日）台湾高校生訪日団29名。
- 3月5日（金）JFAインターナショナルコーチングコース30名。
- 3月12日（金）タイ デヴィジョン1視察団36名。

〈運営〉

- 4月11日（土）より6月30日（火）までKIRIN CUP2009入場券持参者招待を実施。504名が利用。
- 5月5日（火・祝）こどもの日、小中学生無料を実施。411名が来館。
- 5月22日（金）各入場口に消毒液を設置し、消毒協力をよびかけ。
- 6月1日（月）1階階段上エントランスアーチ清掃。
- 6月21日（日）、22日（月）レファレンスルーム空調設備入替え工事。
- 7月12日（日）、13日（月）1階情報コーナー、テレビモニター入替工事。
- 9月8日（火）より9月13日（日）までミュージアムスタッフ「JFAフットボールデー2009」Tシャツを着用。
- 9月10日（木）よりJFAフットボールデーとして9月13日（日）まで、有料ゾーンを無料に。

- 10月8日(木)台風18号の影響により、予約の小中学校二校49名キャンセル。また、地下二階で雨漏り二箇所。
- 10月29日(木)ヴァーチャルスタジアム映像装置保守点検。
- 11月3日(火・祝)文京区「区民ふれあいのつどい」に協賛。「ぶらりクイズDEさんぽ」参加者3組7名が来館。
- 11月7日(土)AFCチャンピオンズリーグ決勝入場券持参者招待を実施。
- 11月9日(月)地下2階プロジェクターランプ交換工事。
- 11月10日(火)階段照明取替え。
- 11月12日(木)来場者アンケートを開始。
- 11月30日(月)地下2階など映像機器ランプ交換保守点検。
- 12月7日(月)自動券売機システム保守点検。
- 12月9日(水)シビックセンターにて開催された文京ミュージズフェスタに参加。
- 12月22日(火)開館記念、無料開放を実施。
- 1月12日(火)～18日(月)冬季メンテナンス休館。
- 2月6日(土)文京アカデミー主催の文京・英語観光ガイドツアー一行14名が立ち寄り。
- 2月27日(土)FUJI XEROX CUP2010(国立)にて3月末迄有効招待券を配付。
- 3月2日(火)サッカー通りにて3名が拡声器による抗議パフォーマンス。
- 3月4日(木)1階男子トイレに落書き。確認後除去。
- 3月9日(火)1階男子トイレに落書き。確認後除去。
- 3月25日(木)地下2階で雨漏り。

〈展示等〉

- 4月4日(土)より6月28日(日)までTBSの協力を得て、ピッチ(地下2階)特別企画展「スーパーサッカーミュージアム」を開始。
- 4月5日(日)まで、春季特別営業期間。
- 4月8日(水)特別企画展「スーパーサッカーミュージアム」ヴァージョンの写真付きシールを開始。
- 4月29日(水・祝)より6月13日(土)まで全館にて「キリンカップ30回記念スタンプラリー」を実施。
- 5月2日(土)より6日(水・振休)まで3階食堂、5月7日(木)より20日(水)よりヴァーチャルスタジアム前室を「MATCH FLAG PROJECT 2009」のスタジオとする。
- 5月2日(土)から6日(水・振休)までヴァーチャルスタジアムにて「JFAフットボールパーク」を開催。併行して4日(月・祝)～6日(水・振休)に「JFAチャレンジゲーム」を実施し、プレ検定などに156名参加。
- 5月13日(水)ヴァーチャルスタジアム上映2コンテンツを従前より上映していた2コンテンツを追加して上映。
- 6月2日(火)有料ゾーン入場者にKIRIN CUP2009レジャーシート配付開始。
- 7月27日(月)より8月30日(日)まで「Jリーグスタンプラリー2009」を全館にて開催。Jリーグ全36クラブ(当時)のスタンプラリー。
- 8月18日(火)高円宮杯U-18ドローボードをヴァーチャルスタジアムに設置。
- 9月12日(土)、13日(日)ヴァーチャルスタジアムにて「JFAフットボールデー2009フットボールパーク&チャレンジゲーム」を開催。
- 9月15日(火)より2月28日(日)までピッチ(地下2階)特別企画展「サッカートレカ展」を開始。
- 10月15日(木)有料ゾーン入場者にキリンチャレンジカップ2009会場配付のミニタオル(2,500枚)を配付開始。
- 10月24日(土)ヴァーチャルスタジアムにて「JFAチャレンジゲーム」検定会を開催。
- 10月27日(火)天皇杯を1階エントランスに展示。
- 11月10日(火)日本代表新ユニフォーム発表会に歴代ユニフォームを貸出。
- 11月17日(火)1階エントランスに過去3年の天皇杯優勝チーム(G大阪、浦和、鹿島)ユニフォームを展示。

- 11月28日(土) ヴァーチャルスタジアムにて「J F Aチャレンジゲーム」第2回検定会を開催。
- 11月29日(日)1階エントランス階段上にて金花商店会長、なでしこリーグ MVP 安藤選手を招いて、ウインターイルミネーション点灯式を開催。サッカー通り側植栽で点灯。年明け1月17日(日)まで。
- 12月24日(木)ミュージアム内日本代表新エンブレム変更対応終了。
- 12月26日(土) ヴァーチャルスタジアムにて「J F Aチャレンジゲーム」第3回検定会を開催。
- 1月1日(金・祝)より6日(水)まで1階エントランスにてSAMURAI BLUE CROW プロジェクト折紙コーナーを実施。
- 1月18日(月)柱巻き日本代表エンブレムを新エンブレムに変更。
- 1月23日(土) ヴァーチャルスタジアムにて「J F Aチャレンジゲーム」第4回検定会を開催。
- 2月2日(火) ヴァーチャルスタジアム前室にてSAMURAI BLUE CROW プロジェクト折紙コーナーを設置。
- 2月19日(金)児童むけ案内表示、展示説明板を設置。
- 2月27日(土) ヴァーチャルスタジアムにて「J F Aチャレンジゲーム」第5回検定会を開催。
- 3月1日(月)地下1階Jリーグコーナーを2010シーズンヴァージョンに変更。新シーズンクラブ分、追加。
- 3月8日(月)シール付き写真機を新規機械に入替え。
- 3月27日(土) ヴァーチャルスタジアムにて「J F Aチャレンジゲーム」第6回検定会を開催。

〈イベント等〉

- 4月21日(火)～24日(金) ヴァーチャルスタジアムにて「adidas 2010 F I F A World Cup Exhibition」を開催。
- 7月6日(月) ヴァーチャルスタジアムにて「JOMO CUP 2009 出場選手発表記者会見」を開催。
- 7月23日(木) ヴァーチャルスタジアムにて「Fリーグ2009 プレスカンファレンス」を実施。
- 9月6日(日) ヴァーチャルスタジアムにて「アジア レフェリーズデー パネルディスカッション」を実施。
- 9月7日(月) ヴァーチャルスタジアムにて「A F Cチャンピオンズリーグ2009 準々決勝」および「A F Cチャンピオンズリーグ2010 開催要旨」記者会見を開催。
- 9月10日(木) ヴァーチャルスタジアムにて「第6回日本サッカー殿堂掲額式典」を開催。
- 9月16日(水) ヴァーチャルスタジアムにて「第89回天皇杯全日本サッカー選手権大会記者発表会」開催。
- 10月8日(木) ヴァーチャルスタジアムにて「2018/2022 F I F Aワールドカップ招致委員会記者会見」を実施。
- 10月26日(月) ヴァーチャルスタジアムにて「ぴあトークバトル『どうなるヤマザキナビスコカップ2009Final』」を開催。
- 11月22日(日) ヴァーチャルスタジアムにて5組目となるミュージアムウエディングを実施。
- 11月29日(日) ヴァーチャルスタジアムにて「なでしこリーグ2009表彰式」を開催。
- 12月14日(月) ヴァーチャルスタジアムにて、日本スポーツプレス協会後援「2010 ワールドカップ 南アフリカを楽しもう」パネルディスカッションを開催。
- 12月24日(木) ヴァーチャルスタジアムにてEXILEによる「日本代表応援ソング制作発表記者会見」を実施。
- 1月12日(火) ヴァーチャルスタジアムにて「東アジア選手権2009 記者発表会」を実施。
- 1月13日(水) ヴァーチャルスタジアムにて「キリンチャレンジカップ vs ベネズエラ代表戦日本代表選手発表記者会見」を実施。
- 1月22日(金) ヴァーチャルスタジアムにて「スペイン連盟とのパートナーシップ協定締結・調印式記者会見」を実施。
- 1月29日(金) ヴァーチャルスタジアムにて「S級リフレッシュ講座」を実施。
- 2月22日(月) ヴァーチャルスタジアムにて「2010 日本代表活動記者発表会」を開催。
- 3月2日(火) ヴァーチャルスタジアムにて「Jリーグ特命 PR 部長記者発表」を実施。
- 3月15日(月) ヴァーチャルスタジアムにて「Fリーグ2009表彰式」を開催。
- 3月23日(火) ヴァーチャルスタジアムにて「なでしこリーグ2010 記者会見」を実施。

〈パブリシティ等〉

- 4月3日(金)東京新聞「どんぶらこ」取材。
- 4月23日(水)BS-TBS「Jリーグ中継」取材収録。4月26日(日)神戸 vsG 大阪中継のハーフタイム時に放映。
- 4月24日(金)日刊スポーツ新聞東京本社版終面に表札広告を出稿。
- 4月29日(水・祝)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 4月30日(木)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 5月2日(土)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 5月4日(月・祝)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 5月5日(火・祝)日刊スポーツ新聞東京本社版終面に表札広告を出稿。
- 5月22日(金)BS-TBS「ロック⑥オン」取材収録。
- 5月27日(水)NTV「Newsリアルタイム天気情報」事前収録。
- 5月29日(金)地下2階よりNTV「Newsリアルタイム天気情報」生中継。
- 6月6日(土)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 6月7日(日)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 6月8日(月)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 6月9日(火)日刊スポーツ新聞東京本社版終面に表札広告を出稿。
- 6月14日(日)学習院新聞取材。
- 6月20日(土)「セタサポ!net」取材。
- 7月8日(水)テレビ東京「モヤモヤさまぁ〜ず」取材収録。8月20日(木)放映。
- 7月9日(木)地下2階にてNHK-BS日本代表特別番組収録。
- 7月13日(月)ヴァーチャルスタジアムにてJFA-NEWS「相根塾」撮影。
- 7月22日(水)～26日(日)JR中央線、青梅線に窓上広告掲出。
- 7月22日(水)～8月21日(金)東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄大江戸線に窓上広告掲出。
- 7月23日(木)テレビ朝日「やべっちF.C.」取材収録。
- 7月23日(木)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 7月25日(土)日刊スポーツ新聞東京本社版スポーツ面に五段広告を出稿。
- 7月30日(木)スカパー「アフターゲームショー」取材収録。
- 8月31日(月)NHK「天皇杯への道～関東・代表決定戦ハイライト」収録。9月6日(日)放映。
- 9月7日(月)地下2階にて「AFCアジアカップ予選プログラム」堀池巧氏インタビュー、撮影。
- 9月8日(火)「au styleチャンネル」取材収録。
- 9月14日(月)地下2階にて「AFCアジアカップ予選プログラム」岡田日本代表監督インタビュー、撮影。
- 9月28日(月)地下2階にて「名波浩引退試合プログラム」名波浩、中山雅史、藤田俊哉座談会、撮影。
- 9月28日(月)日刊スポーツ新聞にPR記事掲載。
- 10月1日(木)ヴァーチャルスタジアムにてTBS「S★1スパサカ」岡田日本代表監督インタビュー収録。10月3日(土)放送。
- 11月10日(火)SONY「inter-bee SONY booth」用取材撮影。
- 11月16日(月)ヴァーチャルスタジアムにてJFA-NEWS「相根塾」撮影。
- 11月18日(水)NHK-BS1「2010ワールドカップスペシャル」取材収録。19日(木)放映。
- 11月26日(木)読売新聞都内版「ふらっと東京リラックス」取材撮影。12月16日(水)掲載。
- 11月30日(月)麒麟ビール日本代表缶参考1995年、1997年日本代表ユニフォーム撮影。
- 12月18日(金)上毛新聞「東京情報ぶらり博物館」取材撮影。12月23日(水・祝)掲載。
- 12月19日(土)NHK-BS1「新BSディベート」来館者へのインタビュー取材収録。
- 12月25日(金)テレビ東京「Jナビ」取材収録。
- 1月21日(木)IPCワールド取材収録。
- 1月31日(日)J WAVE「TIME FOR BURNCH」収録取材。
- 2月1日(月)フジテレビ「百識王」収録取材。2月9日(火)放映。

- 2月9日(火)東アジア選手権(2月14日)国立競技場内ビジョン「バレンタインデー告白」収録。
- 2月15日(月)ベースボール・マガジン社「Jリーグ名鑑ポケット版」表3に広告出稿。
- 2月22日(月)テレビ東京ユニフォーム撮影収録。
- 2月22日(月)キリン社内報、加藤キリン社長、岡田日本代表監督他撮影。
- 3月4日(木)地下2階にてテレビ東京「KIRIN サッカースペシャル日本中が泣いた!愛と奇跡の感動物語」撮影収録。3月11日(木)放映。
- 3月8日(月)ヴァーチャルスタジアムにてPHQ芝生VTR収録。
- 3月24日(水)NHK-BS1「証言ドキュメント日本サッカー強国への道」撮影収録。

〈その他〉

- 4月15日(水)～6月25日(木)鳥取市歴史博物館「ガイナレー鳥取応援展覧会」に歴代日本代表ユニフォーム等を貸出。
- 5月17日(日)～6月17日(水)大阪ソニースタイルに日本代表ユニフォーム、キリンカップ関連収蔵品を貸出。
- 5月22日(金)～6月2日(火)キリンカップ2009試合会場審判ブースに上川氏関連審判物品の貸出。
- 7月30日(木)文の京ミュージアムネットワーク全体会議に出席。
- 8月1日(土)よりJFAメディカルセンターに写真パネルを貸出。
- 9月1日(火)静岡サッカーミュージアムに日本代表ユニフォームなど貸出延長。
- 9月7日(月)～10月2日(金)ソニーディーラーコンベンション2009に日本代表ユニフォームを貸出。
- 9月30日(水)文の京ミュージアムネットワーク全体会議に出席。
- 10月3日(土)～10月4日(日)ソニーフェスタ2009in大阪に日本代表ユニフォームを貸出。
- 10月20日(火)～10月31日(土)筑波大学「東京高師体育・スポーツ展」に写真の貸出。
- 11月4日(水)～11月10日(火)日本代表新ユニフォーム発表会イベントに歴代日本代表ユニフォームを貸出。
- 11月13日(金)～11月21日(土)InterBee2009ソニーブースに日本代表ユニフォームなど貸出。
- 11月20日(金)～4月30日(金)東京都北区桐ヶ丘体育館に日本代表ユニフォームなどを貸出。
- 11月22日(日)～12月2日(水)ソニーハイビジョンフェアに日本代表ユニフォームなど貸出。
- 2月6日(土)文京区「第3期英語観光ボランティア育成講座」に協力。
- 3月5日(金)～3月10日(水)フジテレビドラマ「絶対零度」に日本代表ユニフォームを貸出。

〈総括〉

- 開館から6年を迎え、運営上の大きなトラブルも無く6年目の運営をすることができた。
- 入場者に関しては、50,000人を目標数としたが、これまで最小の約30,000人とどまった。春秋の平日には修学旅行、校外学習などの児童、生徒404校3,859人の来館があったが、8月の入場者、土曜日、日曜日の一般入場者が大幅に減少したことが響いた。
- 特別展は、昨年に引き続き「S★1スーパーサッカーミュージアム」を実施し、メディアとのタイアップでテレビへの露出を図った。また、後半は「サッカートレカ展」を実施し、ミュージアムショップでのサッカートレーディングカードの販売促進を図った。
- 9月10日に第6回日本サッカー殿堂掲額式典を開催し、殿堂スペースに掲額を行った。
- 12月に文京区、文京アカデミー主催の「文京ミュージアムフェスタ2009」に参加した。